

三重県の文化財保護

— 平成 20 年度 —



2009.9

三重県教育委員会

例 言

- 1 本書は、三重県教育委員会事務局社会教育・スポーツ分野社会教育・文化財保護室が、平成20年度に実施した文化財保護事業をまとめたものである。
- 2 国史跡斎宮跡及び埋蔵文化財の発掘調査の詳細については、斎宮歴史博物館及び三重県埋蔵文化財センターが、各々年報として報告しているので、別途参照されたい。
- 3 市町指定文化財の指定・解除及び文化財保護強調週間行事などは、市町教育委員会からの報告をもとに記載した。
- 4 本書記載の市町名・組織名は、各申請書等の記載名称を基本としている。

目 次

I 文化財の指定・登録	(3) 指定文化財等活用・保存事業	47
1 国指定文化財の指定	4 民間団体による助成	51
2 国登録有形文化財の登録	IV 世界遺産の保存管理	
3 三重県文化財保護審議会	1 世界遺産熊野古道保存管理事業	51
4 三重県指定文化財の指定等	(1) 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」	
5 市町指定文化財の指定	三県協議会	51
II 県実施の調査・保護事業	(2) 県内の世界遺産保存管理	52
1 特別天然記念物カモシカ	(3) 活用事業	53
(1) 紀伊山地カモシカ保護地域第4回特別調査	2 他部局との連携事業ほか	54
(2) 鈴鹿山地カモシカ保護地域通常調査	(1) 学びのステージ創造推進事業	54
(3) 特別天然記念物カモシカ保護指導委員	(2) 三重県立熊野古道センター	54
並びに保護行政担当者会議	(3) 第33回全国高等学校総合文化祭	54
2 ふるさと文化再興事業	(4) 文化庁事業への協力	55
3 埋蔵文化財緊急発掘調査等	V 文化財の管理・普及	
(1) 斎宮跡発掘調査	1 登録審査	55
(2) 県営ほ場整備事業地内遺跡発掘調査	(1) 銃砲刀剣類登録審査会	55
(3) 埋蔵文化財出土遺物保存処理事業	(2) 三重県天然記念物紀州犬登録審査会	55
III 文化財補助事業等	(3) 三重県天然記念物日本鶏登録審査会	56
1 国庫補助事業	2 文化財の管理	56
(1) 建造物保存修理事業	(1) 文化財パトロール	56
(2) 重要伝統的建造物群保存事業	(2) 文化財保護にかかる会議	59
(3) 美術工芸品保存修理事業	(3) 発掘調査届・通知等	61
(4) 美術工芸品調査事業	(4) 埋蔵文化財の発見(法第100条関係)	62
(5) 重要無形文化財保持団体補助事業	(5) 埋蔵物の文化財認定(法第102条関係)	63
(6) 民俗文化財伝承・活用事業	(6) 出土文化財の譲与	66
(7) 史跡等保存整備事業	3 国・県指定文化財の現状変更等	68
(8) 史跡等買上げ事業	(1) 国指定文化財現状変更等	68
(9) 天然記念物食害対策事業	(2) 県指定文化財現状変更等	75
(10) 天然記念物再生事業	4 文化財の公開・普及	80
(11) 市町遺跡発掘調査等	(1) 文化財関係の受賞	80
2 県費単独補助事業	(2) 三重県文化財講習会(第26回)	80
(1) 建造物保存修理事業	(3) 第50回近畿・東海・北陸ブロック	
(2) 有形文化財保存修理事業	民俗芸能大会	80
(3) 有形民俗文化財保存修理事業	(4) 文化財保護強調週間行事	81
(4) 国登録文化財保存修理事業	(5) 文化財防火デー関連防火運動実施状況	81
(5) 史跡等保存整備事業	(6) 文化財保護の組織	81
(6) 天然記念物再生事業	[表紙 文化財防火デー消防訓練(於:専修寺)]	
3 活かそう地域文化提案事業	[裏表紙 三重県内 国・県指定等文化財数]	
(1) 事業概要		
(2) 認証委員会		

I 文化財の指定・登録

1 国指定文化財の指定

木造阿弥陀如来立像

種 別 重要文化財（美術工芸品 彫刻）
員 数 1 軀
所 在 地 津市一身田町 2819 番地
年 代 鎌倉時代
所 有 者 宗教法人専修寺
指 定 基 準 絵画、彫刻の部 (一) 各時代の遺品のうち勢作優秀で我が国の文化史上貴重なもの
(二) 我が国の絵画・彫刻史上特に意義のある資料となるもの
(三) 題材、品質、形状又は技法等の点で顕著な特異性を示すもの

指 定 番 号 彫 第 3551 号

指 定 年 月 日 平成 20 年 7 月 10 日

(平成 20 年 7 月 10 日付文部科学省告示第 115 号)

特 徴 ・ 評 価 真宗高田派の本山専修寺如来堂の本尊。衣全体に繊細な切金(きりがね)文様が施された美作で、快慶の作風を濃厚に伝える。足裏に仏足文(ぶつそくもん)を表し、手足の指の爪や蓮華座の蕊(しべ)に金属を用い、本体を銅柱で台座に固定するなど特色ある造法を示す。類似する阿弥陀像は 13 世紀から 14 世紀にかけてしばしば造立されたが、本像はその典型作として位置付けられる。光背、台座には一部後補が認められるが、保存状態は極めて良好である。



木造諸尊仏龕

種 別 重要文化財（美術工芸品 彫刻）
員 数 1 基
所 在 地 伊勢市中之町 101
年 代 中国・唐時代
所 有 者 宗教法人寂照寺
指 定 基 準 絵画、彫刻の部（三）題材、品質、形状又は技法等の点で顕著な特異性を示すもの
（五）渡来品で我が国の文化にとって特に意義あるもの

指 定 番 号 彫 第 3552 号

指 定 年 月 日 平成 20 年 7 月 10 日

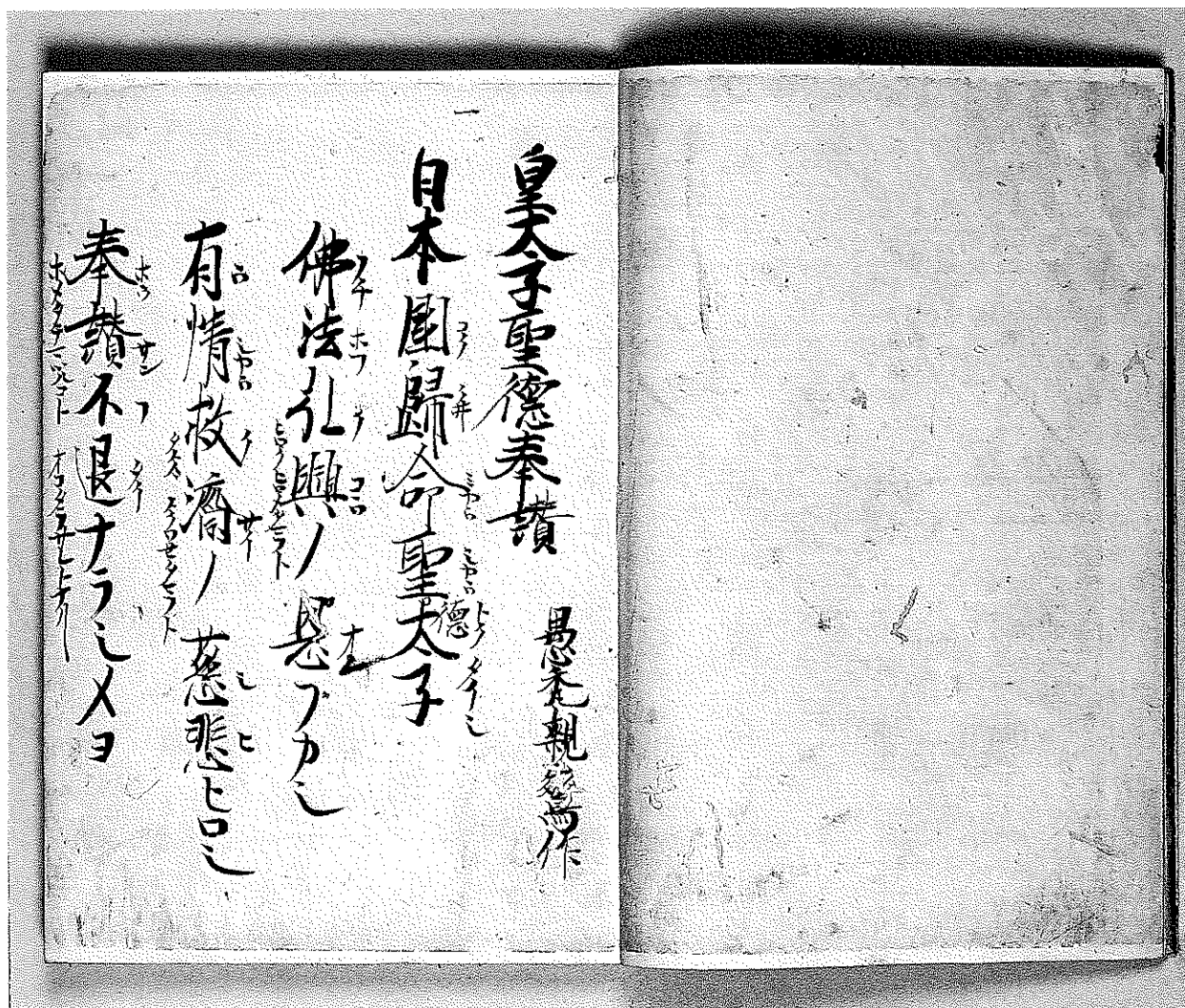
（平成 20 年 7 月 10 日付文部科学省告示第 115 号）

特 徴 ・ 評 価 密な材に厨子(ずし)とともに諸尊を細やかに彫出した龕像(がんぞう)で、近年発見された。中国・唐時代の作例と考えられるが、諸尊の姿に中央アジアの仏像と共通する要素が多く、類例の少ない作例として注目される。仏龕背面に寛文(1661～1673)の年号を持つ朱書銘があり、本像はその頃弘法大師作と伝えられ、高野山と関係するものであったことが知られる。



専修寺聖教

種別 重要文化財（美術工芸品 書跡、典籍）
員数 82点
所在地 津市一身田町 2819番地
年代 平安時代～室町時代
所有者 宗教法人専修寺
指定基準 書跡、典籍の部（四）書跡類、典籍類で歴史的又は系統的にまとまって伝存し、学術的価値の高いもの
指定番号 書 第2550号
指定年月日 平成20年7月10日
(平成20年7月10日付文部科学省告示第115号)
特徴・評価 親鸞の直弟子で真宗高田派を率いた真仏(1209～1258)および顕智(1226～1310)の撰述書と鎌倉時代の古写本とが中心となる聖教のまとまりで、専修寺の伝来になる。真宗の祖師である親鸞の思想や門弟らによる教説の受容のあり方などを明らかにする上での基本文献である。



専修寺文書 (三百六通)

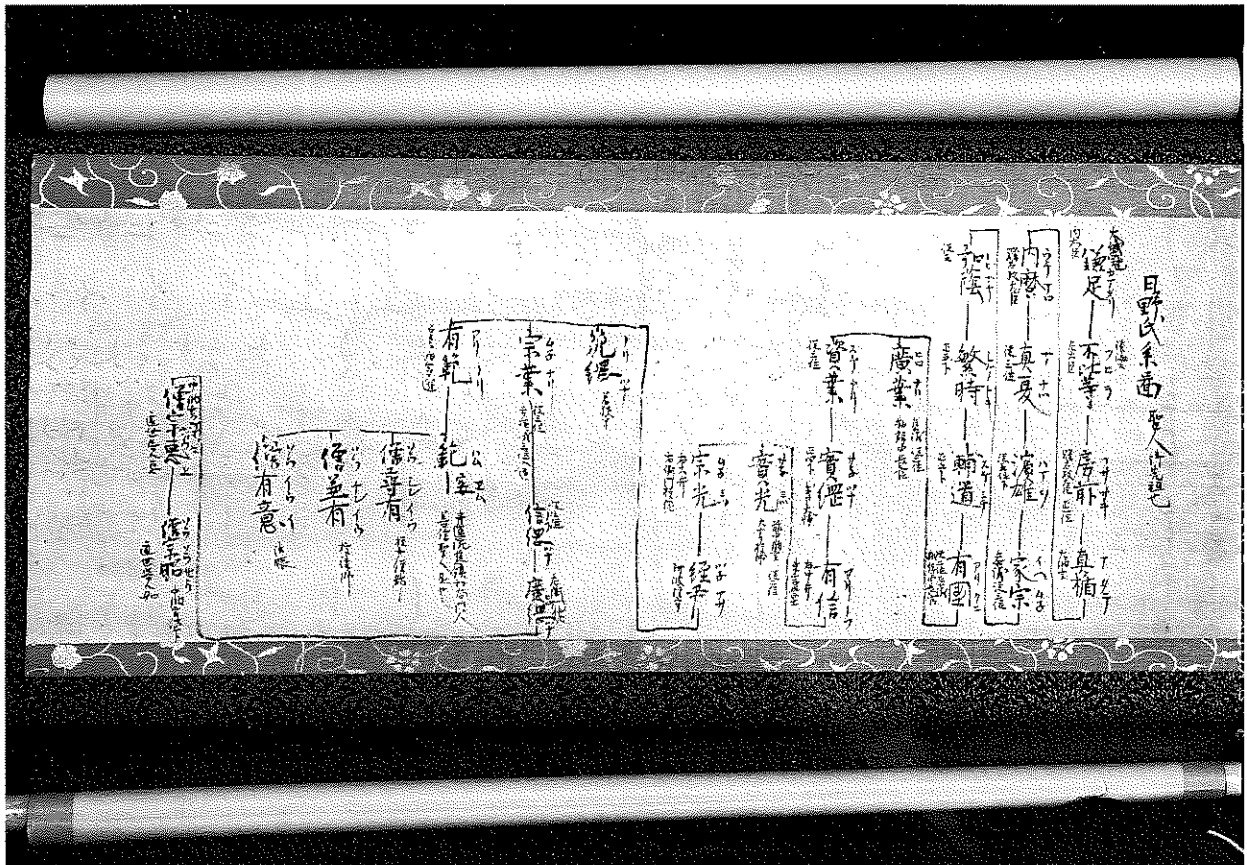
種 別 重要文化財 (美術工芸品 古文書)
 員 数 11 卷、1 幅、7 帖、284 通
 所 在 地 津市一身田町 2819 番地
 年 代 鎌倉時代～江戸時代
 所 有 者 宗教法人専修寺
 指 定 基 準 古文書の部 (四) 古文書類、日記、記録類等で歴史的又は系統的にまとまって伝存し、
 学術的価値の高いもの

指 定 番 号 文 第 672 号

指 定 年 月 日 平成 20 年 7 月 10 日

(平成 20 年 7 月 10 日付文部科学省告示第 115 号)

特 徴 ・ 評 価 下野国高田を發祥地とする真宗高田派の本山である専修寺に伝来した寺院文書のま
 まり。親鸞の廟堂に関する鎌倉時代の文書や室町幕府、朝廷、延暦寺との往復文書など、
 教団の確立過程を示す文書が多い。また、親鸞の俗姓系図である日野系図の最古写本も
 伝えられている。



松浦武四郎関係資料

- 種 別 重要文化財（美術工芸品 歴史資料）
- 員 数 著述稿本類 511点 地図・絵図類 59点 書籍類 287点
文書・記録類 372点 書画・器物類 274点
- 所在地 松阪市小野江町383
- 年 代 江戸時代～明治時代
- 所有者 松阪市（松浦武四郎記念館保管）
- 指定基準 歴史資料の部（三）我が国の歴史上重要な事象又は人物に関する遺品で歴史的又は系統的にまとまって伝存し、学術的価値の高いもの
- 指定番号 歴 第153号
- 指定年月日 平成20年7月10日
（平成20年7月10日付文部科学省告示第115号）
- 特徴・評価 松浦武四郎(1818～1888)は江戸時代後期に6次にわたり、蝦夷地、北蝦夷地、千島を探查し、詳細な記録を残した。特に地誌やアイヌの人々の風俗の記録が充実しており、その成果を紀行文や地図として出版し、世に紹介した。明治2年(1869)には開拓判官として北海道の道名、郡名を撰定した。本資料群は松浦武四郎の生涯の事績を伝えるもので、幕末から明治初年の北海道の歴史、地誌やアイヌ史研究等に重要である。



2 国登録有形文化財の登録

楽翁公百年祭記念宝物館

員 数 1 棟
構 造 鉄筋コンクリート造 2 階建、寄棟造、棧瓦葺 建築面積 86 m²
所 在 地 桑名市吉之丸 9
年 代 昭和 9 年 / 昭和 33 年改修
登録基準 (二) 造形の規範となっているもの
登録日 平成 20 年 4 月 18 日
(平成 20 年 5 月 7 日付文部科学省告示第 62 号)

登録番号 24 - 0071

特徴・評価 神社境内の一隅に建つ。松平定信(楽翁)を顕彰する記念宝物館。建築面積 86 平方メートル、鉄筋コンクリート造 2 階建。寄棟造棧瓦葺、正面に切妻破風を飾る。外壁は洗出し仕上げで、1 階を石積風とし、2 階は柱や長押型を表現するなど、和風意匠を加味する。



蔵前祭車庫

員 数 1 棟
構 造 鉄筋コンクリート造平屋建・切妻造・鉄板葺 建築面積 34 m²
所 在 地 桑名市船馬町 7
年 代 大正 15 年
登 録 基 準 (二) 造形の規範となっているもの
登 録 日 平成 20 年 4 月 18 日
(平成 20 年 5 月 7 日付文部科学省告示第 62 号)
登 録 番 号 24 - 0072

特徴・評価 河岸屈曲部の橋のたもとに建つ。建築面積 34 平方メートル、鉄筋コンクリート造平屋建切妻造、鉄板瓦葺。妻面両端にパラペットを立ち上げ、外壁は柱型とスタッコ塗壁で構成し、小屋はハウトラスを組む。県内における初期の鉄筋コンクリート造建築である。



川地写真館

員 数 1 棟

構 造 木造 2 階一部 3 階建、瓦葺及び鉄板葺、建築面積 102 m²

所 在 地 名張市新町 218-1

年 代 大正 10 年 / 昭和 35 年頃・昭和 45 年改修

登録基準 (一) 国土の歴史的景観に寄与しているもの

登録日 平成 20 年 7 月 8 日

(平成 20 年 7 月 23 日付文部科学省告示第 120 号)

登録番号 24 - 0073

特徴・評価 南西角地に建つ木造 2 階一部 3 階建である。東側道路を正面に、北東の 3 階建屋根に三角の妻壁を立ち上げ、パラペット隅に小塔形飾りを付ける。外壁はモルタル塗で、1、2 階外壁のタイル貼は後の改修。当初の写場は 2 階西側で、屋根を一部ガラス張としていた。



旧細川家住宅主屋

員 数 1棟
構 造 木造2階建、瓦葺、建築面積119㎡
所 在 地 名張市新町136
年 代 明治前期／平成20年改修
登 録 基 準 (二)造形の規範となっているもの
登 録 日 平成21年1月8日
(平成21年1月22日付文部科学省告示第4号)
登 録 番 号 24-0074

特徴・評価 奈良県宇陀の薬商細川家の二代目当主の次男が分家として建て、名張支店とし機能したものである。分家初代は明治期に伊賀の経済人として活躍し、3代目は名張郵便局長となり、同建物を郵便局舎として使ったこともある。平成20年に改修され、現在は地域交流施設として活用されている。

主屋は、初瀬街道沿いに北面して建つ。間口9.7m、奥行13m、木造2階建、切妻造棧瓦葺。1階正面は、意匠の異なる格子で構成し、2階は塗籠で虫籠窓を設け、両袖に卯建を付ける。内部は通り土間沿いに3室を並べる。もと宿場の風情を伝える平入り町屋建築である。



旧細川家住宅中蔵

員 数 1 棟
構 造 土蔵造平屋建、瓦葺、建築面積 23 m²
所 在 地 名張市新町 136
年 代 明治前期／平成 20 年改修
登 録 基 準 (一) 国土の歴史的景観に寄与しているもの
登 録 日 平成 21 年 1 月 8 日
(平成 21 年 1 月 22 日付文部科学省告示第 4 号)
登 録 番 号 24 - 0075

特徴・評価 宇陀の薬商細川家の二代目当主の次男が分家として建てたものである。分家初代は明治期に伊賀の経済人として活躍し、3 代目は名張郵便局長となり、同建物を郵便局舎として使ったこともある。平成 20 年に改修され、現在は地域交流施設として活用されている。

中蔵は主屋の南後方、中庭を挟んで北面して建つ。桁行 5.9m、梁間 3.9m、土蔵造平屋建、切妻造棧瓦葺。腰は海鼠壁で、正面西寄りを出入り口とし両開き戸を吊り、庇を掛ける。窓を上下階でずらして配置し、軒を置屋根風形式に塗り込めるなど特徴的な外観をもつ。活用の都合から、当初の 2 階の床板を東西端を残して取り外し、吹き抜けとしている。



旧細川家住宅川蔵

員 数 1 棟
構 造 土蔵造 2 階建・鉄板葺、建築面積 21 m²
所 在 地 名張市新町 136
年 代 明治前期／平成 20 年改修
登 録 基 準 (一) 国土の歴史的景観に寄与しているもの
登 録 日 平成 21 年 1 月 8 日
(平成 21 年 1 月 22 日付文部科学省告示第 4 号)
登 録 番 号 24 - 0076

特徴・評価 宇陀の薬商細川家の二代目当主の次男が分家として建てたものである。分家初代は明治期に伊賀の経済人として活躍し、3 代目は名張郵便局長となり、同建物を郵便局舎として使ったこともある。平成 20 年に改修され、現在は地域交流施設として活用されている。

敷地の南奥に北面して建つ。桁行 4.9m、梁間 4.4m、土蔵造 2 階建、切妻造妻入鉄板葺。正面東寄りを出入口とし、掛子塗の両開戸を吊り、その両脇を海鼠壁とする。2 階の正背妻面には庇付の窓を開ける。敷地後背を流れる名張川沿いの河岸景観に趣を添える。



旧細川家住宅門

員 数 1 棟
構 造 木造、瓦葺、間口 3.2m
所 在 地 名張市新町 136
年 代 明治前期 / 平成 20 年改修
登 録 基 準 (二) 造形の規範となっているもの
登 録 日 平成 21 年 1 月 8 日
(平成 21 年 1 月 22 日付文部科学省告示第 4 号)

登 録 番 号 24 - 0077

特徴・評価 宇陀の薬商細川家の二代目当主の次男が分家として建てたものである。分家初代は明治期に伊賀の経済人として活躍し、3 代目は名張郵便局長となり、同建物を郵便局舎として使ったこともある。平成 20 年に改修され、現在は地域交流施設として活用されている。

主屋の東側に接して建つ。間口 3.2m の塀の中央に門口 1.3m の門を開き、格子戸をたてる。塀は切妻造棧瓦葺で、門口には板葺の小庇を付け、屋根を二段に重ねる。小庇の桁を絵様付の持送りで受ける上質なつくりで、旧家の格式を伝える門構えを見せる。



3 三重県文化財保護審議会

三重県文化財保護審議会委員

氏名	担当分野	所属
鈴木 嘉吉	建造物	元奈良国立文化財研究所長
菅原 洋一	建造物	三重大学教授
狩野 博幸	絵画・工芸	同志社大学教授
河田 貞	絵画・工芸	元佐川美術館常務理事館長代行
日高 薫	絵画・工芸	国立歴史民俗博物館准教授
水野 敬三郎	彫刻	東京芸術大学名誉教授
熊田 由美子	彫刻	愛知県立公立大学法人芸術大学教授
赤川 一博	彫刻	財団法人四日市市文化振興財団主幹（学芸員）
稲本 紀昭	文書	元京都女子大学教授
高倉 一紀	文書	皇學館大学教授
櫻井 治男	民俗	皇學館大学教授
植木 行宣	民俗	元京都学園大学教授
八賀 晋	史跡・考古	三重大学名誉教授
千田 嘉博	史跡・考古	奈良大学准教授
本田 裕	地質鉱物	三重大学教授
伊藤 進一郎	植物	三重大学教授
藤井 伸二	植物	人間環境大学准教授
名越 誠	動物	奈良女子大学名誉教授

第1回審議会

期 日	平成 20 年 10 月 3 日
場 所	三重県勤労者福祉会館 6 階 研修室（津市栄町 1 丁目 891 番地）
内 容	諮問 三重県指定文化財の指定等に関する諮問 審議 平成 20 年度 三重県指定候補文化財の選考及び調査について 報告 平成 20 年度文化財保護事業について 国指定等文化財の指定等について 国・県指定文化財の現状変更等について

第2回審議会

期 日	平成 21 年 2 月 16 日
場 所	三重県地方自治労働文化センター 2 階 研修室（津市栄町 2 丁目 361 番地）
内 容	審議 平成 20 年度三重県指定候補文化財の調査報告について 平成 20 年度三重県指定文化財の指定等について 答申 三重県指定文化財の指定等に関する答申 報告 国指定等文化財の指定等について 国・県指定文化財の現状変更等について 文化財保護事業について

4 三重県指定文化財の指定等

近長谷寺本堂

種別	有形文化財（建造物）
員数	1棟
構造・規模	木造、桁行6間、梁間5間、一重、入母屋造、妻入、向拝1間、本瓦葺
時代	江戸時代中期〔元禄7（1694）年の棟札〕
所在地	多気郡多気町長谷字城山202番地
所有者	宗教法人 近長谷寺
告示	教育公報号外三重県教育委員会告示第15号
指定日	平成21年3月11日
指定番号	建46
概要	近長谷寺は真言宗山階派に属する寺院であり、十一面観音を本尊とするため、大和の長谷寺に擬して、「近」の字を加えて「近長谷寺」を寺号とするに至ったという。

現在の境内地は元禄5（1692）年に尾根上に新たに開かれたものであり、これ以前には尾根の下の谷筋にあった。旧境内地では、寛文元（1661）年に参拝した前紀州藩主徳川頼宣の命によって本堂再興がなり、同10（1670）年に本尊の錫杖や須弥壇・天井・扉が寄進された。元禄3（1690）年の洪水・山崩により仏閣等が残らず損失したため、元禄5年に現在地に移り、同6（1693）年に現在の本堂を建立した。本堂の建立時期は、棟札の示す元禄7年と考えられるが、その際に寛文建立の前身堂の主要部材を可能な限り再利用し、ほぼ類似する規模・形式で再建したものである。

現存する本堂は南面し、桁行6間・梁間5間・入母屋造・妻入・本瓦葺で正面に向拝（階段に張り出した屋根）1間を設ける。巨大な十一面観音立像を安置する背の高い室内をつくるため、周囲の柱に直接組物を置き、中央は梁と束によって無柱の内部空間を実現するなど、近世的な構造技術を駆使した建築である。

建築年代も明確で、建築に関わった森万右衛門は、他にも専修寺御影堂厨子、善光寺本堂などの重要な作例を残しており、その技術的意匠的傾向を把握する上でも重要である。



蓮如・如光上人連坐像

種別	有形文化財（絵画）
員数	1幅
時代	室町時代：応仁2年（1468年）
所在地	多気郡明和町竹川503番地
所有者	宗教法人 本宗寺
告示	教育公報号外三重県教育委員会告示第15号
指定日	平成21年3月11日
指定番号	絵37
概要	この画像は絹に描かれたもので、縦87.3cm、横38.5cmである。蓮如を左後方部に、如光をその斜め前に配している。

蓮如は浄土真宗本願寺第八代で、室町時代に山科(京都府)・石山(大阪府)を拠点に、一向宗(浄土真宗)の教線拡大を推進した人物として知られている。如光は蓮如の門弟で、三河(愛知県)一向宗団の指導的地位にあった人物である。裏貼の墨書にある応仁2(1468)年11月1日は、如光の命日である。なお、裏貼墨書の1行〔釋蓮如(花押)〕は蓮如の直筆と考えられる。

松阪市の本宗寺は、三河一向一揆の中心であった本宗寺(岡崎市)が移転してきたものである。現在、蓮如・如光の連坐像は、この2つの寺にのみ残っている。

当画像は、室町時代中期の宗教肖像画の貴重な作例である。



無外逸方（北畠政勝）寿像

種別	有形文化財（絵画）
員数	1幅
時代	室町時代 15世紀
所在地	松阪市大阿坂町 1180番地
所有者	宗教法人 浄眼寺
告示	教育公報号外三重県教育委員会告示第15号
指定日	平成21年3月11日
指定番号	絵38
概要	この画像は、絹に描かれたもので、縦106.8cm、横37.2cmである。

本図を所蔵する浄眼寺は、伊勢国司北畠政勝が大空玄虎を招いて開いた曹洞宗の寺院である。寺伝によれば、開基は文明10(1478)年とされ、浄眼寺文書によれば、その落慶は文明18年である。

この画像は法体(僧の様相)で、中世人物画の典型を示す、鋭い人物描写が発揮されている。現状では、明応3(1494)年の玄虎の賛(絵を讃える賛辞文)があるが、赤外線撮影によって、その背後に文明10年の賛記のあることが確かめられている。

本図の主は北畠政勝で、文明10年の賛から、彼の存命中に描かれたもの(寿像)であることが判明している。中世武将像の貴重な作例である。



木造十一面観音菩薩立像 像高 178.7cm

種別	有形文化財（彫刻）
員数	1 軀
時代	平安時代後期 11 世紀
所在地	多気郡多気町三疋田 100 番地
所有者	三疋田区
告示	教育公報号外三重県教育委員会告示第 15 号
指定日	平成 21 年 3 月 11 日
指定番号	彫 120
概要	本像は、靈山寺観音堂の本尊と伝えられ、内陣に安置される十一面観音立像 2 体のうち、向かって左側に安置される像である。

靈山寺観音堂の東隣の空積寺に所蔵される江戸時代の書物「三疋田村靈山寺観音略縁起」には、靈山寺は三疋田村の南の山上に開かれ、そこにこの像を安置したが、参詣に不便なため現在地に移したことが記されている。移された時期は不明であるが、江戸時代中頃には移されていたようである。像高は 178.7cm、材質は桧。

材を縦に割り、内側を削り貫いた後、再び合わせて仕上げる「割矧造」呼ばれる技法で作られている。この技法は、一木造と寄木造の中間的な技法で、11 世紀前半以降に広まる技法である。面長の顔立ちや少し突き出した上唇、角を立てた衣文の彫りに、11 世紀半ば近くに完成した定朝様式よりも古い要素を残しているが、やさしい目鼻立ちや比較的簡素な衣文構成、穏やかな丸みを強調した造形には定朝様式に通ずる要素がみられる。

頭上の化仏（頭上などに配置される小さな仏）や両足先・左手指先・右手首先等は後の補修であるが、基本的な部分は当初のすぐれた彫技をよく伝えている。

平安時代後期の造型感覚をよくうかがわせる作品として貴重である。



木造十一面観音菩薩立像 像高 167.5cm

種別	有形文化財（彫刻）
員数	1 躯
時代	平安時代後期 10 世紀
所在地	多気郡多気町三疋田 100 番地
所有者	三疋田区
告示	教育公報号外三重県教育委員会告示第 15 号
指定日	平成 21 年 3 月 11 日
指定番号	彫 121
概要	霊山寺観音堂の内陣に安置される十一面観音立像 2 体のうち、向かって右側に安置される像である。

霊山寺観音堂の東隣の空積寺に所蔵される江戸時代の書物「三疋田村霊山寺観音略縁起」には、霊山寺は三疋田村の南の山上に開かれ、そこにこの像を安置したが、参詣に不便なため現在地に移したことが記されている。移された時期は不明であるが、江戸時代中頃には移されていたようである。像高は 167.5cm、材質は桧。

「一木造」と呼ばれる技法で作られているが、頭上の化仏（頭上などに配置される小さな仏）の一部や両足先・両手首先・左右の天衣垂下部等は後の補修である。

霊山寺観音堂に安置されるもう 1 体の十一面観音像とほぼ同じ像容であるが、他の 1 体が割矧造であるのに対して、一木造りという古様な造りである。衣の彫り方や重心が低く量感に富んだ体形に、平安前期の名残りを留める。しかしその面相や体形には、既に力強さよりはやさしさの表現がめだち、特に穏やかな笑みをたたえた面相の表現は卓抜で、和様化の一段階を示す優作として注目される。



木造聖観音菩薩立像

種別	有形文化財（彫刻）
員数	1 軀
時代	鎌倉時代 13 世紀初頭
所在地	伊勢市中之町 101
所有者	宗教法人 寂照寺
告示	教育公報号外三重県教育委員会告示第 15 号
指定日	平成 21 年 3 月 11 日
指定番号	彫 122
概要	寂照寺の観音堂に秘仏として伝わる聖観音立像である。

寂照寺は延宝 5 (1677) 年に徳川家康の孫で豊臣秀頼の正室であった千姫の菩提を弔うために創建されたと伝えられる。創建時の寂照寺の敷地が伊勢市の要地にあり、広大であったことから、当地にはすでに何らかの前身寺院が存在した可能性もある。千姫の死 (寛文 6 年・1666 年) 後、多くの遺品が下賜されたが、この聖観音菩薩立像が千姫の遺品だったものか、寂照寺が開かれる以前から当地に伝えられたものかは、火災によって記録が失われて不明である。

像高は 123.2cm、材質は桧。材を縦に割り、内側を削り貫いた後に再び合わせて仕上げる「割矧造」と呼ばれる技法で作られているが、左手指の一部や両足先、左右の天衣垂下部等は、後の補修である。体を左に捻った姿勢は単独像としては左右のバランスを欠き、元来は本尊の右脇侍 (仏像で本尊の左右両側に立つ菩薩など) 像であった可能性が強い。

小像ながらゆったりとし、威風と大きさを感じさせる聖観音菩薩立像で、口元を強く結んで、やや沈鬱な厳しい表情をつくる。腰を左に捻って右足を踏み出す動きのある姿勢を的確にあらわし、太づくりの上腕や大腿部の肉体表現は重厚ながら弾力感があってみずみずしい。その現実感に富む体勢表現は秀逸で、鎌倉時代初期の熟練した技術を持つ作者によると考えられる。晩年期の運慶の作風に通じるが、衣文の彫りが浅めで動きを抑えた単調な表現である点に、平安時代の感覚を残している。運慶風の晩年の作風を学びつつも、自ら円熟に達した作者による 13 世紀初頭の作例とみるべきであろう。

鎌倉時代初期、慶派の作風の影響と多様な作者の存在を物語る興味深い作例であり、優品である。



木造薬師如来坐像

種別	有形文化財（彫刻）
員数	1 軀
時代	平安時代後期 10 世紀
所在地	伊勢市楠部町 2012-1
所有者	宗教法人 心證寺
告示	教育公報号外三重県教育委員会告示第 15 号
指定日	平成 21 年 3 月 11 日
指定番号	彫 123
概要	

心證寺と同じ楠部町内にあった坊山薬師堂から移されたと伝えられる薬師如来坐像である。「一木造」と呼ばれる技法で作られているが、左右の腕の大半は後の補修である。像高は 87.1 cm、材質は桧。

本像は、小ぶりで丸みの強い童顔の面相に平安時代藤原和様の特徴をみせながらも、耳や足裏をひときわ大きくあらわし、肩をはった体形と奥行きのある腹部、平行線状に深く刻まれた衣文などに、平安前期彫刻の特徴を色濃く残す。しかし、衣の表現等が退化・形式化していることや、頭部が奥行きに欠ける点からみて、10 世紀半ば前後の制作と考えられる。

側面から見ると頭や体のバランスを欠き、洗練を欠いた作風で、表面の朽損や修復痕も多い。しかし、当初の根幹材自体はよく残されており、破格の野太い造形と清々しい童顔からなるその個性的像容は十分うかがうことができる。

県内では比較的少ない 10 世紀半ば前後に溯る平安彫刻の好例として、貴重である。



木製黒漆塗観音浄土彩繪厨子 附 陶製観音菩薩坐像

種 別 有形文化財（工芸品）
員 数 1基
時 代 鎌倉末～南北朝期
所 在 地 伊賀市三田1897番地
所 有 者 宗教法人 三田寺
告 示 教育公報号外三重県教育委員会告示第15号
指 定 日 平成21年3月11日
指 定 番 号 工69

由 来 厨子裏の刻銘と陶製本尊の中に納められた文書に、天保8(1837)年に石嶋勝士(いしじま しょうじ：読みに関しては現在確認できず)が追善供養のため、古陶観音菩薩を安置したこの厨子を購入し、京都の覚寿院(かくじゅいん：現存せず)へ寄付したものを、昭和20(1945)年に三田寺住職が譲り受けたもの、と記載されている。

概 要 厨子は、総高が28.2cm、屋根が25.0cm×22.3cmの大きさである。観音菩薩坐像は、像高が14.0cm、台坐を含めた全体高が21.0cmを測る。厨子は、小型の木製黒漆塗で、正面は観音開き扉、側面は奥半分を板壁とした片開き扉である。装着の金具は、すべて金銅製である。また、基台の底部四隅に残るほぞ穴の痕跡から、もとは削り形の四脚を設けていたと想定される。

厨子は、内部に彩繪が施されており、2枚の正面扉と左右の一枚扉には7体ずつ二十八部衆を、奥壁と左右側壁には海中に浮かぶ補陀落山を、床面にはこれに連続する海波を描く。左右壁面の上方には風神・雷神を、屋根裏には八葉の蓮華文を配した天蓋を描くなど、入念に浄土空間が表現されている。そして、内部には現在、江戸時代の作と思われる陶製観音菩薩坐像が安置されている。

このような南北朝期の作風を示す小型の観音厨子は、全国的にも類例が少ないばかりでなく、内面の絵も洗練されて格調高く、本格的な絵仏師の手になることを示唆しており、小型厨子の優れた例と考えられる。



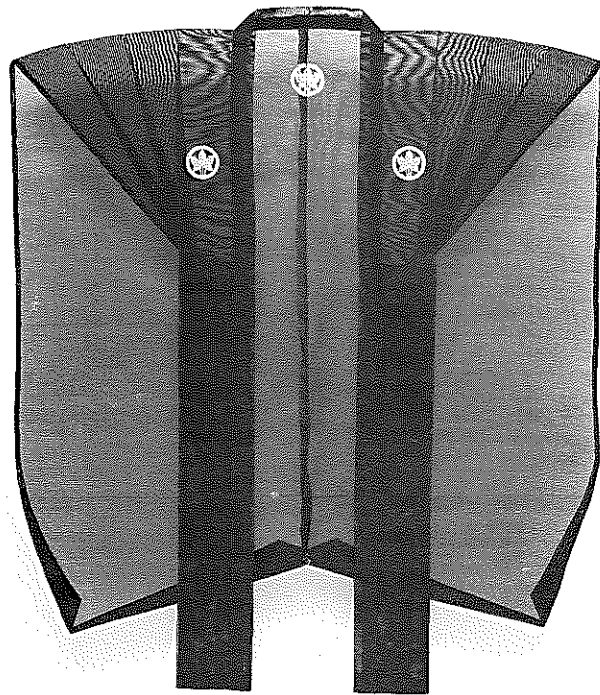
津紵子肩衣

種別	有形文化財（工芸品）
員数	1領
時代	江戸時代後期
所在地	津市広明町147-2
所有者	三重県
告示	教育公報号外三重県教育委員会告示第15号
指定日	平成21年3月11日
指定番号	工70
由来	津紵子は、江戸時代から明治時代にかけて、津藩領であった美濃屋川沿いの清水村などの村々（現 津市安濃町）において生産された紵子織物のことをいう。通気性に優れているところから夏物衣料に適しており、武士の公服である肩衣や帷子・袴・素襖の外・法衣・蚊帳などに用いられた。江戸時代には、上級品が津藩の名産として、幕府への献上品や諸大名への進物品とされていた。

概要 この津紵子は、総丈（前）86cm、肩幅75cmを測る肩衣である。制作年代は江戸時代で、旧奄芸郡高野尾村（現 津市高野尾町）に在住する津藩の無足人家※であった赤塚家の伝世品である。現在、本資料以外に津市安濃町郷土資料館と四日市市楠町郷土資料館所蔵の2例が確認されている。しかし、この2例は織り目が荒く、糸の振り方も不揃いで、改変あるいは劣化がみられる。

本資料の技法は他の津紵子や紵子織物の例に比べ格段に優れており、江戸時代に中勢地域の地方村落で営まれていた染織の卓抜した工芸技術を伝える資料として貴重な例である。

※津藩（藤堂藩）では、郷土を無足人として制度化していた。



浄眼寺文書 附 村上源氏北畠系図、神明三物記 各 1 卷

種別	有形文化財（古文書）
員数	3 卷 21 点
時代	室町時代（一部江戸・明治時代を含む）
所在地	松阪市大阿坂町 1180 番地
所有者	宗教法人 浄眼寺
告示	教育公報号外三重県教育委員会告示第 15 号
指定日	平成 21 年 3 月 11 日
指定番号	文 58
概要	浄眼寺は、伊勢国司北畠政勝（政郷、入道して無外逸方）を開基とし、大空玄虎を開山とする曹洞宗の寺院である。

当寺が所蔵する文書は、昭和 30 年に 3 卷（甲～乙号）にまとめられた。このうち、「北畠氏証状集」（甲号・乙号）の 2 卷には、計 11 通（写し 1 通を含む）の北畠氏関係文書が収められている。これらの文書は、3・4 号文書以外のすべてが北畠氏から直接出された書状（直状）であり、とくに 2 号文書は逸方の直筆である。これらは、数少ない北畠氏関係の文書群として、三重県内では射和寺文書（松阪市）・佐藤文書（津市）に並ぶ重要なものである。また、「当山二世三世和尚証状」には、6 通の中世曹洞宗関係文書を含む。県内では唯一のまとまった中世曹洞宗関係文書である。

「村上源氏北畠系図」は、いくつかの誤りを含むものの、北畠政勝の父親（教具）以前の記載には独自のものがある。

「神明三物記」は、永正 2 年初秋、二世物先令応の著と考えられる。本書の内容は、境内の「神明水」の由来を述べたもので、開山玄虎が皇祖神に仏法を説き、その礼として皇祖神から泉のありかを教えられたとするものである。



廳事類編（藤堂采女家旧蔵本）

種別	有形文化財（典籍）
員数	1種 18冊
時代	江戸時代後期
所在地	伊賀市上野丸之内 40 の 5
所有者	伊賀市
告示	教育公報号外三重県教育委員会告示第 15 号
指定日	平成 21 年 3 月 11 日
指定番号	典 59
概要	

『廳事類編』は、藤堂藩の伊賀城代家老の政務日記をもとに、宝永 6 (1709) 年から慶応 4 (1868) 年に至るおよそ 160 年間の伊賀を中心とした記録を編集したものがある。その記述内容は、藩主及びその周辺の事跡から藩士人事・藩財政・世相・災害・天変地異に至るまで、多岐にわたる。主たる編集時期は、江戸時代後期の文化・文政期 (1804～1830 年) と推定される。現存するものは 18 冊で、第 1・第 13・第 15 の 3 冊を欠くものの、原本であり、他に写本等も知られていない。

藤堂藩の藩政史料は、既に『宗国史』が平成 19 年 3 月、『永保記事略』が平成 20 年 3 月に県指定文化財となっている。しかし、本書の記述内容は両書との重複が少なく、その欠を補って余りある。また、享保年間 (1716～1736 年) 以降の藩政史研究における、本書の重要性は既によく知られているところでもある。

このように、資料の希少性と内容の高い価値により、『廳事類編』を三重県指定有形文化財 (典籍) としてふさわしいものと評価する。



木造赤坂遺跡出土陶質土器

種別	有形文化財（考古資料）
員数	1点
時代	古墳時代中期
所在地	多気郡明和町竹川 503
所有者	三重県
告示	教育公報号外三重県教育委員会告示第 15 号
指定日	平成 21 年 3 月 11 日
指定番号	考 29

概要 本品は、三重県埋蔵文化財センターによって発掘調査された津市木造町所在の木造赤坂遺跡から平成 18 年度に出土した陶質土器（日本の古墳時代頃に朝鮮半島で作られた硬質の土器）で、極めて残りがよく、ほぼ完存である。

4 世紀後半から 5 世紀前半の間に作られたと思われ、コップのような形をしている。高さは 17.2cm で、下部が膨らむ。また、口のところに貼り付けられた細い紐状の盛り上がりがあり、それを覆うように横方向の小孔を穿った両耳が付く。

このような両耳付のコップ形土器は韓国でも伽耶地域（朝鮮半島の中南部、洛東江流域を中心とした地域）の非常に限られた地域（慶尚南道陝川郡双冊面城山里玉田）でしか確認されておらず、日本国内では他に類例がない。確実な出土品による、朝鮮半島との具体的な交流を示す資料として、県指定文化財としてふさわしい資料といえる。

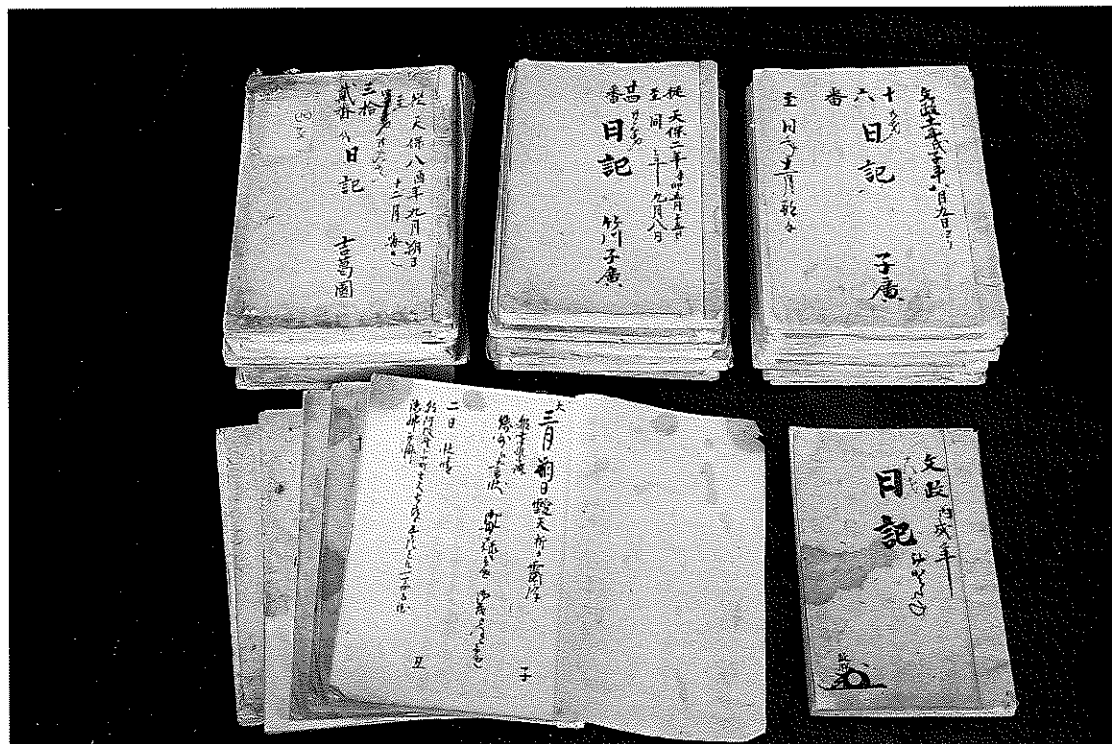


射和文庫並びに竹川竹斎関係資料

種別	有形文化財（歴史資料）
員数	1,355種 2,968点
時代	江戸時代後期から明治時代初期
所在地	松阪市射和町 284 番地
所有者	個人
告示	教育公報号外三重県教育委員会告示第 15 号
指定日	平成 21 年 3 月 11 日
指定番号	歴 4
概要	

射和文庫は、富商竹川竹斎(1809～1882年)によって嘉永年間(1848～1854年)、鳥羽藩領の伊勢国飯野郡射和村に開設された、私設の文庫である。蔵書の多くは、竹斎自らの収集にかかる1万巻と、西村広美・竹口信義・国分信親等親族による納本3,000巻を合わせたもので、個人蔵書を地域社会に開放した幕末の公開文庫として知られる。元来、近世の文庫はいわゆる個人文庫が一般的で、書籍を秘蔵するための施設であった。しかし、当該文庫では明らかに公開を前提にしており、地域住民の利用に供する書籍が集積されていた。こうした、当時としては極めて特異な文庫活動を支えたものが、「民学」の興隆” “民間「文事」の振興” という射和文庫創設の理念である。

現蔵本には、本居宣長・荒木田久老・同久守等の自筆稿本や手沢本、或いは勝海舟・佐藤信淵等の書簡、ヘボン(James Curtis Hepburn)の納本等が含まれる。明確に旧射和文庫の蔵書と確認できる現蔵本は、竹斎納本分 302 部、西村広美納本分 27 部、竹口信義納本分 7 部で、合わせて 336 部(種)である。今回の調査によって確認できた現竹川家の土蔵収蔵資料は 1,355 種 2,968 点で、竹斎の日記や同家伝来の文書・記録及び私的な蔵書等も含まれ、竹川竹斎の関係資料としては極めて重要な資料である。また、射和文庫の存在は、近世の文化史ないし社会史における注目すべきものであり、当資料は、三重県指定有形文化財(歴史資料)としてふさわしいものである。



陽夫多神社祇園祭の願之山行事

種 別 無形民俗文化財
所 在 地 伊賀市馬場 951 番地
保 持 団 体 陽夫多神社氏子社中
告 示 教育公報号外三重県教育委員会告示第 16 号
指 定 日 平成 21 年 3 月 11 日
指 定 番 号 無民 40

概 要 願之山行事は、毎年 8 月 1 日に伊賀市馬場の陽夫多神社祇園祭に行われる行事で、小踊りと大踊りの 2 種類の踊りが踊られる。願之山は大太鼓 3 丁を載せた 4 輪の台車に 6 本のハタを立てた曳山で、30 人ほどで境内を曳きまわされる。小踊りは持ち手と打ち手に分かれた 6 組 12 人の幼児が親の介添えで小太鼓を打ちつつ横に行っては戻りだけの単純な踊りである。大踊りは願之山を囃す踊りで、6 人の青年が主宰者の音頭とともに曳山に載せた大太鼓を打ち進む。

願之山の曳行は 3 度に分けて行われ、1 度めの曳行を「互礼」(ごれい)と呼び、2 度めの曳行後、再び小踊りとなる。3 度めの曳行後は、願之山が拝殿前に曳き据えられて「七遍返し」が行われる。七遍返しは大太鼓を打ち囃す大踊りの周りを小踊りの一団が左まわりに 7 回まわるというもので、これをもって願之山行事のすべてが終了する。

行事は主宰者のリードで進行し、「さんよーりさんよーり げにもさーに」の囃し詞が付く特異なもので、中世後期に流布した拍子物(はやしもの)の特色を良く残す。拍子物とは踊りそのものが囃しの機能を帯びる集団の踊りであり、疫神を囃して鎮め送るのがその本質である。また、願之山行事に先立って行われる花揚げは、氏子 8 地区から奉獻される花傘の造花や団扇を参拝者が奪い合うもので、花傘に疫神をよらせて鎮め送り、災厄を免れようとする行事である。願之山行事は、「願(がん)ほどきの踊り」とされ、掛けられた願の数だけ繰り返し踊るものであり、疫神を祀る京都祇園祭の山鉾行事の本質を如実に物語る学術的価値の高い貴重な行事である。



水車谷鉦山跡

種 別 史跡

時 代 江戸時代

所 在 地 熊野市紀和町楊枝川字入会山 229 うち実測 37,439.49 m²

所 有 者 浦島観光ホテル株式会社

告 示 教育公報号外三重県教育委員会告示第 17 号

指 定 日 平成 21 年 3 月 11 日

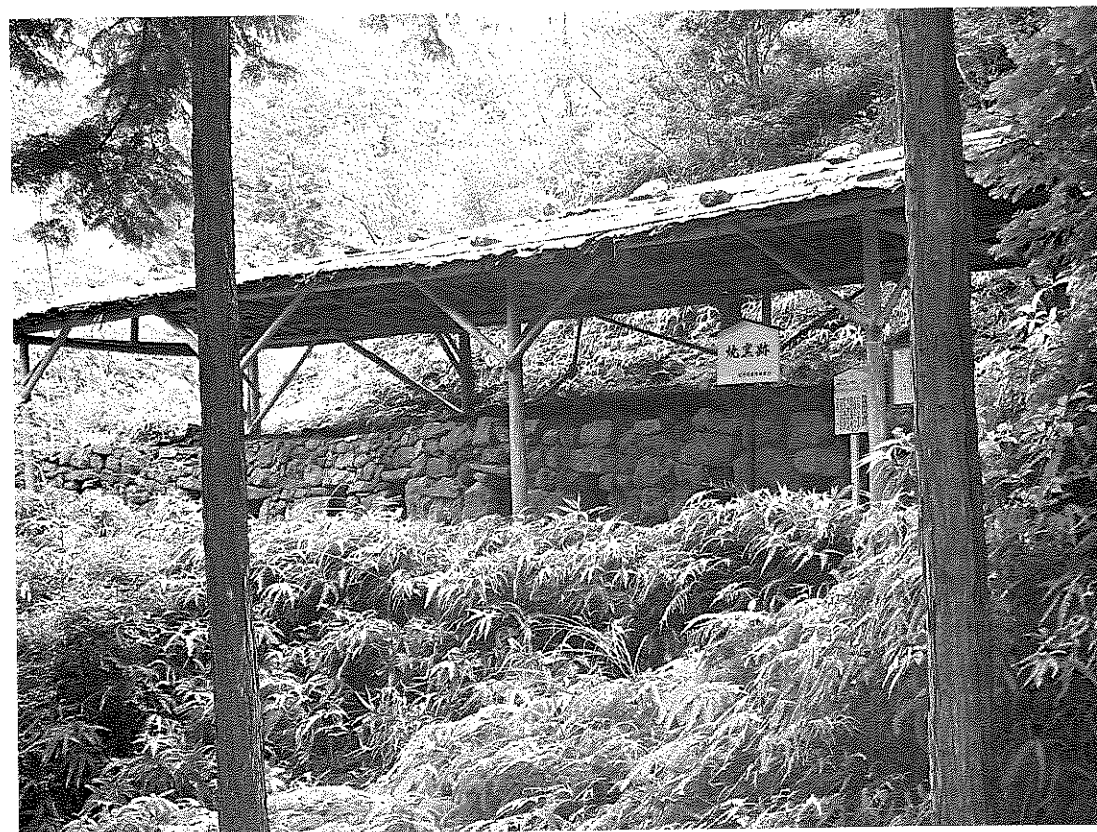
指 定 番 号 史 85

概 要 江戸時代には、金・銀・銅の需要が大いに増加したことで採掘・精錬技術の進歩によって全国的に鉦山開発が盛んとなった。これを背景とした紀州鉦山は、元和年間(1615～1624年)頃から和歌山藩直営で銅の採鉦を始め、明治時代初めに廃絶した。

紀州鉦山のひとつである水車谷鉦山跡は、楊枝川右岸に位置する入会山の谷川沿いに所在し、江戸時代中期から後期にかけて栄えた鉦山跡である。

鉦山跡を示すものとしては、鉦石を焼いて溶鉦するために石と粘土で固めた竈跡 3 基、採掘の坑口跡や多量に廃棄された銅滓跡、役所跡や番所跡と伝承される石垣で区画された跡などが所在する。墓地には三界萬霊塔や墓石などの石造物が 110 基余あるが、文化・文政・天保(1804～1843年)年間のものが圧倒的に多く、鉦山の最盛期がこの頃と考えられる。また、墓碑銘には生野銀山・多田銀山のほか伊予・安芸・伊豆・陸奥・紀伊などからの出向者の存在や、男性以外に幼児や女性などの名前から、家族を含めた従事者の存在もうかがわれる。

保存状態が良好な銅精錬用竈跡や、鉦山での生活を伝える屋敷跡地や石造物などが数多く残された産業遺跡として高く評価される。なお、「水車谷」の名称は、銅山で働いた人々が米をつくためや鉦石を砕くための水車があったとされる伝承に由来する。



松浦武四郎関係資料

種別 有形文化財（歴史資料）
 員数 223 点
 時代 江戸時代末期～明治時代
 所在地 松阪市小野江町 383 番地
 所有者 松阪市
 告示 教育公報号外三重県教育委員会告示第 18 号
 指定日 平成 4 年 2 月 21 日、平成 18 年 3 月 17 日（追加指定 539 点）、平成 20 年 7 月 10 日（重要文化財指定による解除 702 点）

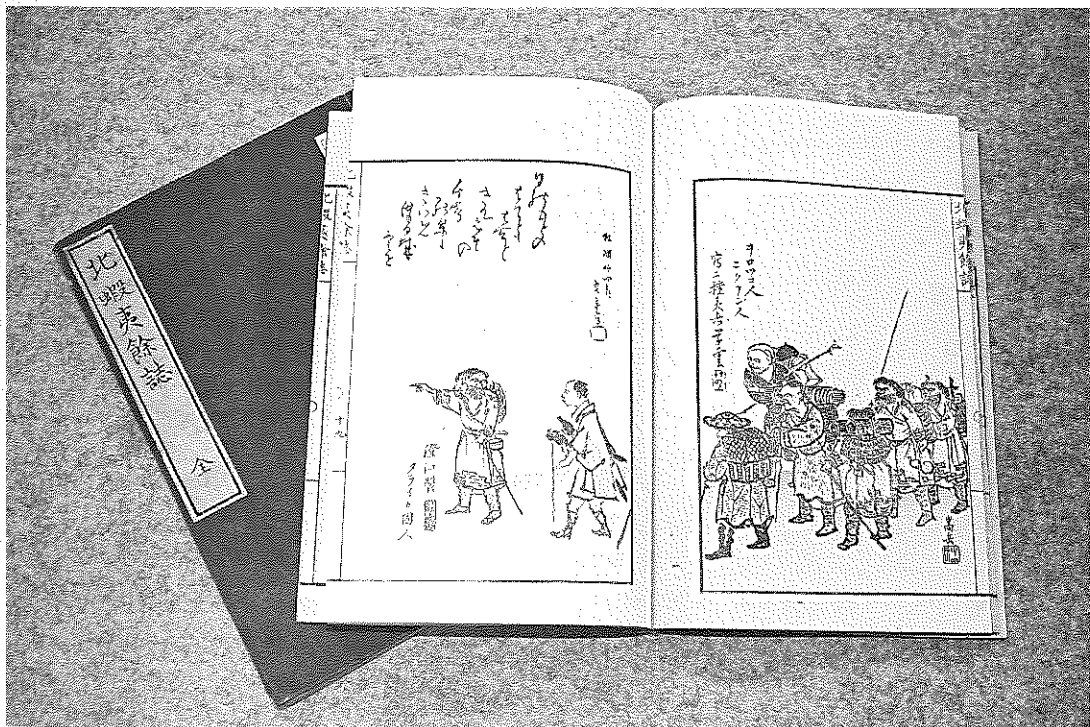
指定番号 歴 2

概要 松浦武四郎関係資料は、平成 4 年 2 月 21 日に 305 点が県指定有形文化財（歴史資料）となり、平成 18 年 3 月 17 日には 539 点が追加指定されて計 844 点となった。また、平成 20 年 7 月 10 日には、資料の一部が重要文化財（歴史資料）の指定を受け、重要文化財指定に伴う県指定の一部が解除された。これにより県指定有形文化財「松浦武四郎関係資料」の点数は 142 点（当初指定 41 点、追加指定 101 点）となり、「購入資料」「没後資料」「関連未詳」「封紙・包紙単体」資料が中心となった。

しかし、重要文化財指定にあたって、資料の内容や形態別に分類したうえで、資料一点ごとに分割して指定しており、資料の分類や点数の計上について、国と県との整合を図る必要が生じた。そこで、県指定有形文化財についても重要文化財指定に準じた資料の分類や点数の計上を行い、員数の変更を行った。また、あわせて資料名称の見直しを行い、資料の一部については名称の変更を行った。

この結果、員数は 223 点となり、内訳は次のとおりとなった。

A 「著述稿本類」	2 点	B 「地図・絵画類」	15 点
C 「書籍類」	83 点	D 「文書・記録類」	47 点
E 「書画・器物類」	48 点	F 「その他類」	28 点



5 市町指定文化財の指定

市町名	種別	名称	員数	所在地	所有者・管理者・ 技術保持者	指定日
四日市市	無形民俗	浜田大山車の 舞獅子		四日市市中浜町・ 南浜町	四日市祭浜田大山車 の舞獅子保存連合会	H20. 7. 24
朝日町	有形 (彫刻)	木造初代森有 節 自刻像	1 軀	三重郡朝日町大字 柿 2278 朝日町歴史博物館	(個人)	H19. 6. 28
	有形 (絵画)	絹本著色 初代 森有節肖像	1 幅			
	有形 (工芸品)	腥臑脂有釉食籠 初代森有節作	1 合			
津市	無形民俗	やぶねり神事		津市白塚町内及び 白塚神社	山舗青年団 中区青年団 北出青年団	H20. 12. 5
	無形民俗	雲出島貫 かんこ踊り		津市雲出島貫町 円福寺及び チビッコ広場	島貫カンコ踊り保存 会	
	有形民俗	熊野観心十界 曼荼羅		津市一志町日置 397 番地 平楽寺	日置区	
	有形民俗	熊野観心十界 曼荼羅		津市一身田上津部 田 767 番地 勝久寺	宗教法人 勝久寺	
松阪市	有形 (絵画)	両界曼荼羅図	2 幅	松阪市中町 1952 番 地 岡寺山継松寺	岡寺山継松寺	H20. 5. 28
	有形 (絵画)	蓮如・如光連座 像	1 幅	松阪市射和町 266 番地 土呂山本宗寺	土呂山本宗寺	
	有形 (古文書)	佐藤氏系図	1 巻	松阪市肥留町 696 番地 10	(個人)	
	記念物 (史跡)	射和万古窯跡		松阪市射和町字会 下前 1052 番地	(個人)	
伊賀市	有形 (建造物)	石造宝塔	1 基	伊賀市下柘植 3471-1 霊山寺奥之院	霊山寺	H20. 12. 25
名張市	天然 記念物	八幡夏秋地区の ギフチョウ		名張市八幡地区な らびに隣接する夏 秋地区名張川以東 地域		H21. 2. 4

II 県実施の調査・保護事業

1 特別天然記念物カモシカ（S30.2.15指定）調査〔国庫2/3補助・県 4,077千円（三重県分）〕

(1) 紀伊山地カモシカ保護地域第4回特別調査（平成20・21年度継続事業）

① 調査目的

特別天然記念物カモシカの保護施策として、昭和58年9月に鈴鹿山地の保護地域が設定され、平成元年7月に紀伊山地の保護地域も設定された。これらの保護地域周辺において、8年毎に、カモシカの生息状況や生息環境を把握し、過去の特別調査結果と比較するとともに、保護対策を検討する。

② 調査体制

調査主体

三重県教育委員会（幹事県）・和歌山県教育委員会・奈良県教育委員会

紀伊山地カモシカ保護地域第4回特別調査は、業務の効率化等を図るため、関係3県の中から幹事県を決め、幹事県が調査委託に関する事務及び指導委員会議の運営に関する事務を一括して実施することとし、幹事県は三重県となった。

調査指導

紀伊山地カモシカ保護地域第4回特別調査指導委員会議（三重県分）

富田 靖男（元三重県立博物館長・指導委員会議会長）

武田 明正（元三重大学生物資源学部教授）

植村 清（元森林組合おわせ理事長）

調査委託先 株式会社 総合環境計画

③ 紀伊山地カモシカ保護地域第4回特別調査指導委員会議

第1回会議

開催日 平成20年7月14日（月）

場所 奈良県橿原考古学研究所

出席者 紀伊山地カモシカ保護地域第4回特別調査指導委員

三重県委員2名（武田委員欠席）・和歌山県委員4名・奈良県委員3名

文化庁調査官

三重県教育委員会・奈良県教育委員会・和歌山県教育委員会

株式会社 総合環境計画（当時の社名は、システム環境計画コンサルタント株式会社）

第2回会議

開催日 平成21年2月3日（火）

場所 和歌山県庁南館別館 教育委員会室

出席者 紀伊山地カモシカ保護地域第4回特別調査指導委員

三重県委員3名・和歌山県委員4名・奈良県委員4名

文化庁調査官

三重県教育委員会・奈良県教育委員会・和歌山県教育委員会

株式会社 総合環境計画

(2) 鈴鹿山地カモシカ保護地域通常調査

① 調査目的

おおむね5年に一度実施されるカモシカ特別調査を補完のため、特別調査の実施されない年度に、カモシカの生息状況や生息環境の年次変化を把握するための調査である。平成20年度は特別調査の行われぬ、鈴鹿山地保護地域及びその周辺地域で実施した。

② 調査体制

調査主体

三重県教育委員会

調査指導 富田 靖男 (元三重県立博物館長・指導委員会議会議長)
 武田 明正 (元三重大学生物資源学部教授)

現地調査 三重県文化財保護指導委員 (カモシカ調査員)
 坂倉 義行・近藤 恒三 (いなべ市藤原町)
 小森 良一・出口 幸雄 (いなべ市北勢町)
 岩花 正己・山下 久雄 (いなべ市大安町)
 満田 学・内山 潔 (菰野町)
 大野 洋也・門脇 秀源 (四日市市)
 前田 有・前田 伸士 (鈴鹿市)

③ 三重県カモシカ保護連絡会議

開催日 平成 20 年 8 月 28 日 (木)
 場 所 菰野町役場 4F 会議室
 出席者 富田 靖男、武田 明正
 三重県文化財保護指導委員 (カモシカ調査員)
 関係市町教育委員会・県教育委員会

(3) 特別天然記念物カモシカ保護指導委員並びに保護行政担当者会議

目 的 特別天然記念物カモシカの保護地域内およびその周辺における生息状況・個体群の動態、食害状況等について情報収集を行うとともに、今後の施策、食害対策等について協議する。

主 催 文化庁・山形県教育委員会

期 日 平成 20 年 10 月 9 日 (木) ~ 10 日 (金)

会 場 かみのやま温泉月岡ホテル (南奥羽山系カモシカ保護地域)

出席者 富田 靖男・武田 明正 (三重県指導委員) 中野 環 (県教育委員会事務局)

2 ふるさと文化再興事業

(1) 目 的

文化庁からの委嘱を受けて、ふるさと文化再興事業伝統文化総合支援研究委員会の指導により策定した松阪伊勢地域伝統文化伝承事業マスタープランのもと、拠点内地域と分野別地域において、地域における伝統文化の保存・活用のため、伝承用映像記録作成や祭礼用具等修理などの総合的な支援・推進方策の研究を実施する。

ふるさと文化再興事業伝統文化総合支援研究委員

植木 行宣 (三重県文化財保護審議会委員・元京都学園大学教授)
 岡田 照子 (三重県文化財保護審議会委員・岐阜女子大学名誉教授)
 東條 寛 (関西大学大学院講師・四日市市立図書館副館長)
 鬼頭 秀明 (愛知県文化財保護審議会委員)
 櫻井 治男 (三重県文化財保護審議会委員・皇學館大學教授)
 野村 史隆 (鳥羽市教育委員会文化財専門員・元海の博物館学芸員)
 藤原 寛 (元三重県立博物館長)

(2) 事業内容

- ① 拠点内地域 (委嘱先: 松阪伊勢地域伝統文化伝承事業実行委員会)
- ・有爾中天王踊り 映像記録の作成
 - 委嘱金額 4,691 千円
 - 制作会社 株式会社 CNインターボイス

編集委員 植木 行宣（三重県文化財保護審議会委員・元京都学園大学教授）
 鬼頭 秀明（愛知県文化財保護審議会委員）
 櫻井 治男（三重県文化財保護審議会委員・皇學館大學教授）

② 分野別（委嘱先：三重県ふるさと文化再興事業連絡協議会）

・植木神社祇園祭 用具整備

委嘱金額 336 千円
 請 負 岩崎芳春堂表具店

・願之山踊り 映像記録の作成

委嘱金額 4,155 千円
 制作会社 有限会社 海プロダクション

編集委員 植木 行宣（三重県文化財保護審議会委員・元京都学園大学教授）
 青盛 透（滋賀県文化財保護審議会委員・京都学園大学准教授）

・比自岐祇園踊り 映像記録の作成

委嘱金額 4,114 千円
 制作会社 有限会社 海プロダクション

編集委員 植木 行宣（三重県文化財保護審議会委員・元京都学園大学教授）
 青盛 透（滋賀県文化財保護審議会委員・京都学園大学准教授）

3 埋蔵文化財緊急発掘調査等

(1) 齋宮跡発掘調査 [国 1/2 31,418 千円・県 31,417 千円]

国史跡齋宮跡解明のために4次、計2,895㎡の計画調査を実施した。第157～159次調査は史跡東部の中院推定地を解明するため、また、第160次調査は史跡東部の方格区画のうち、北東隅区画北側区画溝の状況を解明するための調査である。他に、これまでの調査成果を管理するため、齋宮跡調査管理システムを運用している。

次数	地区	面積㎡	現地調査期間	主要遺構・遺物
157	柳原地区	1,280	H20. 5.26～ H20.11.14	平安時代の掘立柱建物跡15棟・溝・土器溜り土坑など、土師器、須恵器、灰釉陶器、青磁、製塩土器など
158	御館地区	525	H20. 9.19～ H20.12.27	奈良時代の古道跡、平安時代の掘立柱建物跡13棟・土坑など、土師器、須恵器、陶器など
159	柳原地区	488	H20. 9.22～ H21. 3.31	奈良時代の古道跡、平安時代の掘立柱建物跡2棟・区画溝・土坑など、土師器、須恵器、灰釉陶器、緑釉陶器など
160	東加座北①地区	602	H20. 7.18～ H21. 2.27	平安時代の掘立柱建物跡1棟、方格地割区画溝3条など
	計	2,895		

(2) 県営ほ場整備事業地内遺跡発掘調査

[農水商工部執行委任調査・埋蔵文化財センター 総事業費535千円うち農家負担分267千円
 国 1/2 133千円・県 134千円]

農業基盤整備に伴う埋蔵文化財発掘調査費のうち、農家負担分補助事業。

(農業基盤整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査)

遺跡名	所在地	原因	期間	面積 (㎡)	主要遺構・遺物
岡田遺跡	鈴鹿市岡田町	経営体育成事業	H20.10.21～ H20.11.5	160	土坑、溝 柱穴
上箕田遺跡	鈴鹿市箕田	経営体育成事業	整理		
東沖遺跡・ 下茅原遺跡	松阪市茅原町 ・広瀬町	中山間地域総合 整備事業	整理		
師子焼遺跡	度会郡玉城町	中山間地域総合 整備事業	整理		
計				160	

(3) 埋蔵文化財出土遺物保存処理事業 [国 1/2 1,450 千円・県 1,450 千円]

伊勢市落合古墳及び伊賀市近代古墳、亀山市井田川茶臼山古墳出土の鉄製品の内、劣化が進みつつあるものについて保存科学的処理を施し、その恒久保存を図る。
平成 20 年度は、蕨手刀子、刀子、三角板鋸留短甲、面文帯神獸鏡等の保存処理を実施。(処理受託財団法人元興寺文化財研究所)

Ⅲ 文化財補助事業等

1 国庫補助事業

(1) 建造物保存修理事業

① 諸戸家住宅主屋ほか 5 棟 (財団法人 諸戸会・桑名市) [H14.12.26 指定]

事業概要 平成 20 年度から 21 年度で、主屋、表門、洋館、広間については調査工事を行う。玄関及び座敷については、調査工事、一部解体格納を行い、玉突場については、調査工事全部解体格納を行う。

事業費 総事業費 125,100 千円 (平成 20～21 年度)
平成 20 年度 40,000 千円 (国 80% 32,000 千円、県 10% 4,000 千円)

設計監理 財団法人文化財建造物保存技術協会
工事請負 株式会社竹中工務店三重営業所

② 旧松坂御城番長屋 (合資会社苗秀社・松阪市) [H16.12.10 指定]

事業概要 屋根替部分修理 平成 20 年度から 22 年度まで
平成 20～22 年度の 3 ヶ年で、西棟・東棟の屋根替部分修理を行う。平成 20 年度は、西棟を解体し、基礎工事を行った。また、西 4、5、6 住戸について、木工事、左官工事を行った。屋根工事については、旧瓦選別、清掃、一部屋根杉皮葺き、棧瓦葺きを行った。

事業費 総事業費 206,116 千円 (平成 20～22 年度)
平成 20 年度 61,834 千円 (国 50% 30,917 千円、県 10% 6,183 千円)

実施機関 財団法人文化財建造物保存技術協会

(2) 重要伝統的建造物群保存事業

亀山市関宿重要伝統的建造物群保存地区・保存修理 (亀山市) [S59.12.10 選定]

事業概要 亀山市関宿重要伝統的建造物群保存地区内における建造物等の保存のため修理工事修理 5 件 (半解体修理 1 件、部分修理 2 件、前面修景 1 件、外周修景 1 件)

事業費 21,202 千円 (国 50% 10,000 千円、県 10% 2,000 千円)
設計監理 亀山市教育委員会
工事請負 地元建築会社等

(3) 美術工芸品保存修理事業

① 旧永島家襖絵 (三重県) [H10.6.30 指定]

事業概要 紙本墨画淡彩「山水図」8 幅の修理を実施した。

事業費 9,208 千円 (国 50% 4,604 千円)

修復受託 株式会社 文化財保存

② 宝塚 1 号墳出土品 (松阪市) [H18.6.9 指定]

事業概要 重要文化財宝塚 1 号墳出土品について存処理を行う。平成 20 年度は家形埴輪 2 点の解体、クリーニング、強化処置、再接合、復元、補彩を実施した。

事業費 4,722 千円 (国 50% 2,361 千円、県 10% 472 千円)

修復受託 財団法人 元興寺文化財研究所

③ 木造諸尊仏龕保存修理 (寂照寺・伊勢市) [H20.7.10 指定]

事業概要 重要文化財木造諸尊仏龕の保存修理を行った。以前の修理箇所を一旦取り離し、目違いを修正して接着し、損傷拡大の恐れがある部分は樹脂及び木粉で補填した。蝶番及び金具は取り外し、仏龕は身と左右扉の三部に分け、保存箱に収納した。

事業費 2,257 千円 (国 60% 1,354 千円、県 10% 225 千円)

修復受託 財団法人 美術院

(4) 美術工芸品調査事業

長谷川家文書調査 史料調査 (松阪市)

事業概要 平成 20 ~ 22 年度の 3 ヶ年事業として実施。平成 20 年度においては、指導委員会の指導のもと、長谷川家において、月 2 回の割合で計 14 回の史料調査を実施した。

事業費 2,500 千円 (国 50% 1,250 千円、県 10% 250 千円)

調査主体 松阪市

〔指導委員〕

下村登良男 (松阪市文化財保護審議会委員) 門 暉代司 (本居宣長記念館館長)

高倉 一紀 (皇學館大学教授) 塚本 明 (三重大学教授)

茂木 陽一 (三重短期大学教授)

(5) 重要無形文化財保持団体補助事業

伊勢型紙 (伊勢型紙技術保存会・鈴鹿市) [S30.2.15・平成 5.4.15 認定]

事業概要 技術錬磨のため復刻作品の作成や伝承者の養成のための研修会、関連産地の視察の実施、原材料 (型地紙) や諸道具の確保を行い、技術の保存を図る。

普及啓発のため、文化庁主催展覧会「日本の技と美」などに作品を出品するとともに、三重県立美術館において「伊勢型紙と江戸小紋」展を実施した。

事業費 7,000 千円 (国定額 (77%) 5,400 千円、県 10% 700 千円)

(6) 民俗文化財伝承・活用事業

① 上野天神祭のダンジリ行事 (上野西町自治会・伊賀市) [H14.2.12 指定]

事業概要 西町楼車「花冠」前水引幕、二番前水引幕について、現在の技術を駆使して、素材と共に可能な限り現品に近い復元を行う。

事業費 6,500 千円 (国 50% 3,250 千円、県 10% 650 千円)

工事請負 株式会社 龍村美術織物

- ② 一色の翁舞 (伊勢市) [H7. 12. 7 選択]
 事業概要 「記選 一色の翁舞 民俗文化財調査 (祭り・行事を含む)」の調査成果を踏まえた映像記録を、平成 19・20 年度の 2 ヶ年事業として「一色の翁舞 映像記録作成委員会」の指導のもとに作成した。
 事業費 3,050 千円 (国 50% 1,525 千円、県 10% 305 千円)
 工事請負 株式会社 CNインターボイス関西支社
- ③ 鳥出神社の鯨船行事 (富田鯨船保存会連合会・四日市市) [H9. 12. 15 指定]
 事業概要 古川町権現丸船体横幕について、図柄及び素材・技術など現品に限りなく近い復元新調を行った。
 事業費 4,718 千円 (国 50% 2,359 千円、県 10% 471 千円)
 工事請負 百武打敷店
- ④ 安乗の人形芝居 (志摩市) [S55. 1. 28 指定]
 事業概要 安乗人形芝居施設修理委員会の指導のもと、老朽化した舞台上演施設太夫小屋の修理を行った。
 事業費 2,544 千円 (国 50% 1,272 千円、県 10% 254 千円)
 工事請負 地元建築会社等

(7) 史跡等保存整備事業

- ① 名 諸戸氏庭園 史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備 (財団法人諸戸会・桑名市)
 [H14. 12. 14 指定]
 事業概要 諸戸氏庭園は、江戸初期に造営され、明治初期に諸戸氏により増改築、大正年間に現在の形となった庭園であるが、庭園を構成する施設群の毀損や劣化があり、調査を行って修理内容の検討を行ったうえで修復、整備工事を進める。
 20年度事業 修理箇所や手法の検討を行ったうえで、老朽化に伴う庭園修復のための調査設計と整備計画に必要な実測図の作成、庭園の空間性を取り戻すための修復剪定を実施した。
 事業費 5,000 千円 (国 50% 2,500 千円、県 10% 500 千円)
 指導委員 尼崎 博正 (京都造形芸術大学教授)・大橋 則久 (桑名市教育委員会教育長)
 菅原 洋一 (三重大学教授)
 平澤 毅 (奈良文化財研究所文化遺産部遺跡整備研究室長)
 麓 和善 (名古屋工業大学大学院教授)
 指導委員会 平成 20 年 5 月 28 日、11 月 18 日、平成 21 年 2 月 23 日
- ② 史 伊勢国分寺跡 史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備 (鈴鹿市) [T11. 10. 12 指定]
 事業概要 史跡伊勢国分寺跡の講堂、伽藍地の四隅及び塔・経蔵・鐘楼推定地の発掘調査を行うとともに、基盤整備に係る造成・雨水排水・周回路の実設計、調査・整備のための測量基準点設置を実施した。
 事業費 11,800 千円 (国 50% 5,900 千円、県 10% 1,180 千円)
 各種調査 実設計：緑景 測量：加藤コンサルタント
- ③ 史 上野城跡 史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備 (伊賀市) [S42. 12. 27 指定]
 事業概要 「史跡上野城跡保存整備 (前期) 実施計画」にもとづき、城代家老屋敷跡を中心に発掘調査等により遺構の解明を図り、その成果を踏まえて保存整備を進めることにより文化財としての価値を顕在化し活用を図る。(平成 14 年度～)

20年度事業 前年度解体した石垣の積み直しと消失石垣の復元修理に着手するとともに、石垣復元工事の実施に伴って掘削される石垣の内部 120 m²の発掘調査と地質調査を実施した。

事業費 18,500 千円 (国 50% 9,250 千円、県 10% 1,850 千円)

各種調査 設計監理：空間文化開発機構 石垣修復：中村石材工業 測量：イビソク
 指導委員 八賀 晋 (三重大学名誉教授) 増渕 徹 (京都橘大学教授)
 高瀬 要一 (奈良文化財研究所 客員) 千田 嘉博 (奈良大学准教授)
 菅原 洋一 (三重大学教授) 藤田 達生 (三重大学教授)
 福井 健二 (伊賀市文化財保護審議会委員)

指導委員会 平成 20 年 9 月 29 日・平成 20 年 12 月 15 日

④ 史 旧崇廣堂 史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備 (伊賀市) [S5.11.19 指定]

事業概要 中土塀の漆喰壁は大きくひび割れ、躯体と土壁が大きく肌別れているので、原因を究明し、保存修理を 4 ヶ年で行う。(平成 18 年度～)

20年度事業 日干し壁土の積み上げの完成と荒壁つけ、および側溝工事を行った。

事業費 4,200 千円 (国 50% 2,100 千円、県 10% 420 千円)

設計監理 財団法人文化財建造物保存技術協会

指導委員 鈴木 嘉吉 (元奈良国立文化財研究所長) 菅原 洋一 (三重大学教授)

指導委員会 平成 20 年 9 月 22 日

(8) 史跡等買上げ事業

① 史 齋宮跡 史跡等買上げ (直接買上げ) (明和町) [S54.3.27 指定]

事業概要 史跡齋宮跡の公有化 (昭和 54 年度～継続事業)

20年度事業 1,139 m² (6 筆) の買上

事業費 33,030 千円 (国 80% 26,424 千円、県 15% 4,954 千円)

② 史 齋宮跡 史跡等買上げ (先行取得償還) (明和町) [S54.3.27 指定]

事業概要 平成 12～14 年度先行取得による公有化にかかる起債の償還

20年度事業 平成 12～14 年度の償還分

事業費 184,641 千円 (国 80% 145,529 千円、県 15% 27,694 千円)

(9) 天然記念物食害対策事業

① 特天 カモシカ 天然記念物食害対策事業 (大台町、紀北町、尾鷲市) [S30.2.15 指定 (地域を定めず)]

事業概要 カモシカ保護地域が設定されている市町での食害対策用保護柵の設置。

総事業費 18,053 千円 (国 2/3 12,035 千円、県 1/6 以下 2,624 千円)

市町村名	事業費 (千円)	箇所数	面積 (ha)	柵総延長 (m)	受託者
大台町	7,455	2	4.58	2,171.7	宮川森林組合
紀北町	5,100	2	3.52	1,900	森林組合おわせ
尾鷲市	5,498	3	8.34	2,736	森林組合おわせ
計	18,053	7	16.44	6,807.7	

(10) 天然記念物再生事業

- ① 天 ネコギギ 天然記念物緊急調査 (いなべ市) [S52.7.2 指定 (地域を定めず)]
事業概要 絶滅の危機に瀕している員弁川水系のネコギギ個体群の再生を図るため、同水系に残存しているネコギギの生息状況調査ならびに保護増殖を行う。
20年度事業 野外に残存しているネコギギの継続調査および周辺の生息環境調査、志摩マリノランドでの保護増殖、鳥羽水族館での危険分散目的の飼育
事業費 2,500 千円 (国 50% 1,250 千円、県 10% 250 千円)
指導委員 森 誠一 (岐阜経済大学教授)
渡辺 勝敏 (京都大学大学院理学研究科准教授)
田代 喬 (名古屋大学工学部助教)
指導委員会 平成 20 年 6 月 30 日・平成 20 年 12 月 17 日・平成 21 年 3 月 17 日
- ② 天 ネコギギ 天然記念物緊急調査 (亀山市) [S52.7.2 指定 (地域を定めず)]
事業概要 絶滅が危惧される鈴鹿川水系のネコギギ個体群の再生を目的とし、生息状況の把握を行い、保護増殖のための計画の立案し実施する。
20年度事業 鈴鹿川水系のネコギギの現状を把握するため、生息状況調査と生息環境調査を行う。
事業費 2,000 千円 (国 50% 1,000 千円、県 10% 200 千円)
指導委員 名越 誠 (三重県文化財保護審議会委員・奈良女子大学名誉教授)
原田 泰志 (三重大学生物資源学部教授)
渡辺 勝敏 (京都大学大学院理学研究科准教授)
川北要始補 (亀山市文化財保護審議会委員)
指導委員会 平成 20 年 8 月 13 日・平成 21 年 2 月 20 日
- ③ 天 金生水沼沢植物群落再生 (鈴鹿市) [S12.4.17 指定]
事業概要 乾燥化が進行し危機的な状況にある金生水沼沢植物群落の再生を目的とする。植生調査ならびに管理計画を策定し、計画に基づいた環境整備を進める。
20年度事業 植物群落の植生調査および保護管理計画策定
事業費 4,800 千円 (国 50% 1,200 千円、県 10% 480 千円)
指導委員 武田 明正 (三重大学 生物資源学部 名誉教授)
木本 凱夫 (元三重大学 生物資源学部 助教授)
近藤 雅秋 (三重大学 生物資源学部 助教)
鈴木 慎一 (鈴鹿市文化財調査委員)
加田 勝敏 (金生水沼沢植物調査会 代表)
市川 雄二 (金生水植物群落調査会 副代表)
大谷 充興 (地子町自治会 代表)
伊藤 仁 (西条自治会 代表)
推進委員会 平成 20 年 7 月 29 日・平成 20 年 12 月 17 日・平成 21 年 3 月 24 日

(11) 市町遺跡発掘調査等

- ① いなべ市 市内遺跡発掘調査等 [国 1/2 1,050 千円・県 1/6 350 千円]
平成 16 年度から平成 20 年度まで 5 ヶ年事業で市内遺跡の詳細分布調査を行った。各年度で順次、合併前の旧市町村の詳細分布を実施。平成 20 年度は報告書作成作業を実施。
- ② 桑名市 市内遺跡発掘調査等 [国 1/2 1,000 千円・県 1/6 333 千円]
平成 18 年度から平成 20 年度まで 3 ヶ年事業で市内遺跡の詳細分布調査を行った。平成 20 年度は旧長島町を中心とした分布調査を実施するとともに、遺跡詳細分布地図を刊行した。

③ 四日市市 市内遺跡発掘調査等〔国 1/2 3,250 千円・県 1/6 1,083 千円〕

平成 18 年度に国史跡に指定された久留信官衙遺跡について、主要建物の変遷や新旧関係を把握するための発掘調査を実施した。

④ 鈴鹿市 市内遺跡発掘調査等〔国 1/2 3,000 千円・県 1/6 1,000 千円〕

平成 14 年に伊勢国府として国史跡に指定された長者屋敷遺跡の計画調査の実施と、市内遺跡の試掘・本調査を実施した。

(伊勢国府)

遺跡名	所在地	原因	期間	面積 (㎡)	主要遺構・ 遺物
長者屋敷遺跡 (24次)	鈴鹿市広瀬町字仲土居	個人住宅	H20.6.16～ H20.7.17	835.0	溝、ピット・ 遺物あり
長者屋敷遺跡 (25次)	鈴鹿市広瀬町字西野	学術調査	H20.10.1～ H20.12.26	690.0	溝、ピット・ 遺物あり
長者屋敷遺跡 (26次)	鈴鹿市広瀬町字西野	学術調査	H20.12.1～ H20.12.26	55.0	溝、土坑・遺 物あり
計				1,280	

(市内重要遺跡 範囲確認調査)

遺跡名	所在地	原因	面積 (㎡)	遺構・遺物
岡太神社遺跡	鈴鹿市弓削二丁目	共同住宅	26	遺構・遺物あり
口山遺跡	鈴鹿市河田町	個人住宅兼店舗	14	遺構・遺物なし
岸岡山Ⅲ遺跡	鈴鹿市岸岡町字南山越	共同住宅	8.3	遺構・遺物なし
口山遺跡	鈴鹿市河田町	個人住宅	15.8	溝
国分西遺跡	鈴鹿市国分町	個人住宅	30.4	近代道路跡
南原永Ⅰ遺跡	鈴鹿市南若松町	共同住宅	12	遺構・遺物なし
白子代官所跡	鈴鹿市白子二丁目	共同住宅	2	遺構・遺物なし
萱町遺跡	鈴鹿市神戸八丁目	個人住宅	4	遺構・遺物なし
神戸中学校遺跡	鈴鹿市十宮四丁目	個人住宅	3	遺構・遺物なし
本多町遺跡	鈴鹿市神戸五丁目	個人住宅	3	遺構なし・遺物あり
貝戸部遺跡	鈴鹿市上野町	個人住宅	4	遺構・遺物なし
上箕田遺跡	鈴鹿市上箕田一丁目	個人住宅	3	遺構なし・遺物あり
富士遺跡	鈴鹿市国府町	共同住宅	6	遺構・遺物あり
砂山遺跡	鈴鹿市岸岡町	店舗	16	遺構なし・遺物あり
萱町遺跡	鈴鹿市神戸八丁目	個人住宅	5	遺構・遺物あり
船ヶ谷遺跡	鈴鹿市越知町	砂利採取	54	遺構・遺物なし
赤郷遺跡	鈴鹿市秋永町	個人住宅	13	遺構・遺物あり
岡田南遺跡	鈴鹿市岡田一丁目	個人住宅	13	遺構・遺物なし
須賀遺跡	鈴鹿市須賀一丁目	個人住宅	9	遺構・遺物あり
須賀遺跡	鈴鹿市須賀一丁目	個人住宅	3	遺構・遺物なし
神戸中学校遺跡	鈴鹿市十宮四丁目	個人住宅	3	遺構なし・遺物あり
境塚遺跡	鈴鹿市伊船町	その他建物	6	遺構・遺物なし

小塚遺跡	鈴鹿市西玉垣町	個人住宅	4	遺構・遺物なし
沢城跡	鈴鹿市飯野寺町	個人住宅	15	遺構・遺物あり
国分遺跡	鈴鹿市国分町	個人住宅	32	遺構・遺物なし
須賀遺跡	鈴鹿市矢橋三丁目	宅地造成	30	遺構・遺物あり
越知西浦遺跡	鈴鹿市越知町	個人住宅	2	遺構・遺物なし
計			336.5	

(市内重要遺跡 本調査実施分)

遺跡名	所在地	原因	面積 (㎡)	調査概要
門山遺跡	鈴鹿市平野町	個人住宅	49	古墳とされてきた高まりは、西側に隣接する平野城跡の土塁の延長と想定される。
国分遺跡 (国分寺34次)	鈴鹿市国分町	個人住宅	80	国分尼寺の北限を区画する溝等の確認が期待されたが、近代以降の溝しか見つからなかった。
石薬師東遺跡 (15次)	鈴鹿市石薬師町	個人住宅	15	掘立柱建物跡1棟を検出した。土器は出土しなかったが、周辺の調査事例から奈良時代頃のものとして推定される。
萱町遺跡 (3次)	鈴鹿市神戸八丁目	個人住宅	70	溝や土坑が確認された。特に溝SD0301からは、飛鳥時代頃の須恵器甕の破片が多量に出土している。
沢城跡 (3次)	鈴鹿市飯野寺家町	個人住宅	155	市の中心街に位置し、鈴鹿市の基礎を築いた神戸氏の居城と考えられている。15～16世紀頃の平城で、3面の遺構面が確認された。中位の遺構面では、礎石建物等も確認されている。
計			369	

指導委員 八賀 晋 (三重大学名誉教授)
川越 俊一 (前 奈良文化財研究所文化遺産部景観研究室長)
内田 和伸 (奈良文化財研究所文化遺産部景観研究室長)
伊藤 久嗣 (鈴鹿市文化財調査会委員)
金田 章裕 (大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 機構長)
渡辺 寛 (皇學館大学文学部教授)
和田 勝彦 (前 純心女子大学事務局長)

指導委員会議 平成 20 年 11 月 17 日

⑤ 亀山市 市内遺跡発掘調査等〔国 1/2 3,250 千円・県 1/6 1,083 千円〕

平成 17 年度から平成 19 年度の 3 ケ年事業で旧関町域を中心としたの詳細分調査をおこなった結果を報告書にまとめた。また他に、「鈴鹿関跡」などの重要遺跡の範囲や性格を明確にするための範囲確認調査を実施した。なお、事業地内が「鈴鹿関跡」や「鈴鹿駅家跡」等の重要遺跡や「伝統的建造物群保存地区」と重複するため、指導委員会を設置した。

指導委員 八賀 晋 (三重大学名誉教授)
 山中 章 (三重大学人文学部教授)
 佐々木宣明 (亀山市文化財保護審議会委員長)
 木崎 嘉秋 (亀山市文化財保護審議会委員)

調査指導 平成21年2月3日、平成21年2月9日、平成21年3月16日

(遺跡詳細分布調査) 平成20年度は、報告書の印刷を行った。

(鈴鹿関跡発掘調査) 鈴鹿関跡の西辺を探るための発掘調査を実施し、築地痕跡を確認した。

(峯城跡発掘調査) 将来的に史跡指定範囲を拡張することを目的に、縄張り図で遺構が確認されている外側で発掘調査を実施した。

(正法寺山荘跡現地地形測量) 近年の縄張り調査で史跡指定範囲外に遺構が存在することが確認されており、将来的に国史跡指定範囲を拡張することを目的に、4,300㎡の現地地形測量を実施した。

⑥ 津市 市内遺跡発掘調査等 [国 1/2 5,300千円・県 1/6 1,766千円]

(多気北畠氏遺跡発掘調査)

多気地内の北畠氏関連遺跡の学術調査を実施し、武家屋敷群が想定される遺構の状況を確認した。また、『多気北畠遺跡第30次発掘調査報告』を刊行した。

遺跡名	所在地	原因	面積(㎡)	主要遺構・遺物
多気北畠氏遺跡 第31次調査 (上多気六田地区 第4次)	津市美杉町上多気 字六田	実態解明の学術 調査	325.0	掘立柱建物、石列、土坑、 溝・柱列、石組遺構・鋳型 等造関連資料、土師器・陶 器、磁器ほか
計			325.0	

指導委員 稲本 紀昭 (元京都女子大学文学部教授)
 金田 章裕 (京都大学文学部教授)
 服部 英雄 (九州大学大学院比較社会文化研究院教授)
 藤澤 良祐 (愛知学院大学文学部教授)
 増渕 徹 (京都橘大学文学部教授)
 山中 章 (三重大学人文学部教授)
 渡辺 寛 (皇學館大学文学部教授)

指導委員会 平成20年8月28日、平成20年12月24日

(市内遺跡範囲確認調査)

遺跡名	所在地	原因	面積(㎡)	主要遺構・遺物
久居城跡	津市久居西鷹跡町	個人住宅	16.0	遺構・遺物なし
高砂遺跡	津市香良洲町	個人住宅	16.0	遺構・遺物なし
多気北畠氏遺跡 (町屋地区)	津市美杉町上多気	水田筆合わせ	29.0	遺構・遺物なし
計			61.0	

(詳細遺跡分布調査)

平成18年度から平成22年度まで5ヶ年事業で市内遺跡の詳細分布調査を実施する(20年度に1年延長を決定)。平成20年度は旧久居市を中心に踏査を実施。

(出土遺物保存処理)

薬師谷古墳群、中野山古墳群ほか出土の鉄製品の内、劣化が進みつつあるものについて保存科学的処理を施し、その恒久保存を図る。平成20年度は耳環、馬具など13点の保存処理を行なった。

- ⑦ 松阪市 市内遺跡発掘調査等〔国 1/2 1,650千円・県約 1/7 466千円〕
 市内の重要遺跡の発掘調査および範囲確認調査を実施し、埋蔵文化財保護の基礎データを得た。
 (範囲確認調査)

遺跡名	所在地	原因	面積 (㎡)	主要遺構・遺物
鴻ノ木遺跡	松阪市中万町字水引場	その他の建物	6.0	遺構・遺物なし。
中林・中道遺跡	松阪市曾原町字堀ノ内	その他の建物	12.0	遺構なし。土師器・土 錘・陶器出土。
前田町屋遺跡	松阪市星合町字山吹	その他の建物	11.0	遺構なし。土師器・土 錘・須恵器・陶器出 土。
松阪城下町遺跡	松阪市新町	その他の建物 (事務所)	8.0	土坑検出。近世土師器 ・瓦出土。
立野遺跡	松阪市立野町字下徳田	その他の建物 (店舗)	20.0	ピット9基検出。須恵 器・土師器・陶陶器片 出土。
南曾原遺跡	松阪市曾原町字松ノ下	その他の建物 (長屋住宅)	48.0	遺構なし。土師器・陶 器出土。
前田町屋遺跡	松阪市小野江町	その他の建物 (長屋住宅)	48.0	遺構なし。土師器・陶 器出土。
堀田遺跡	松阪市嬉野平生町字池田	その他の開発 (携帯電話中継 基地局建設)	10.0	遺構なし。中世土師器 ・陶器片微量出土。
御堂山遺跡	松阪市西野々町、佐久米 町	土砂採取	37.8	遺構なし。土師器・陶 器出土。
中林・中道遺跡	松阪市曾原町	宅地造成	12.0	遺構なし。土師器・陶 陶器出土。
星合里中遺跡	松阪市星合里中長字里中	個人住宅	3.0	土坑・溝検出。土師器 鍋・陶器・磁器出土。
浄眼寺境内遺跡	松阪市大阿坂町	個人住宅	42.5	整地層・土坑・溝・地 業等検出。無釉陶器・ 陶磁器・銅銭等出土
清生茶臼山遺跡	松阪市清生町茶臼山	個人住宅	13.5	土坑検出。弥生土器 ・土師器・瓦・陶器 ・磁器出土。
上ノ口遺跡	松阪市上川町字上ノ口	その他の建物	12.0	遺構なし。中世土師器 小片出土。
井出ノ里遺跡	松阪市井口中町字井出ノ 里	その他の建物	22.0	遺構なし。中世土師器 ・陶器出土。
中林・中道遺跡	松阪市曾原町	宅地造成	27.0	遺構なし。中世土師器 小片出土。
(仮) 脇田B遺跡	松阪市大宮田町字大蔵寺	土砂採取	36.0	遺構・遺物なし。

村竹コノ遺跡	松阪市上川町	工場	140.0	遺構なし。弥生土器・中世土師器・陶器細片出土。
村竹コノ遺跡	松阪市上川町	工場	60.0	A：環濠・柱穴検出。 B：遺構なし。弥生土器・古式土師器出土。
村竹コノ遺跡	松阪市上川町	工場	60.0	C・D：遺構なし。E：土坑・溝・柱穴。弥生土器・古式土師器出土。
本堂遺跡	松阪市深長町字本堂	その他の建物	18.0	遺構なし。古式土師器・土師器皿・土師器鍋・陶器・石鏃出土。
城ノ腰遺跡	松阪市松ヶ島町	個人住宅	2.5	遺構なし。陶器・磁器・瓦出土。
(仮) 姫乗・天神遺跡	松阪市東黒部町字天神	土砂採取	120.0	遺構なし。無釉陶器碗・土師器煮沸具など若干量出土。
市場庄遺跡	松阪市市場庄町字松山	その他の建物	12.0	遺構なし。中近世陶器・瓦片出土。
中林・中道遺跡	松阪市曾原町字山ノ越	その他の建物	18.0	遺構なし。土師器、陶器出土。
本願寺遺跡	松阪市嬉野中川町	個人住宅	18.0	溝検出。縄文土器出土。
権現角遺跡	松阪市市場庄町字北浜田	工場	32.0	遺構・遺物なし。
上出遺跡	松阪市駅部田町字花岡	その他の建物	2.0	遺構・遺物なし。
楯垣外遺跡	松阪市矢津町楯垣外	その他の建物	25.0	遺構・遺物なし。
田村古墳群	松阪市田村町	宅地造成	19.8	石室検出。土師器、陶器出土。
松阪城跡	松阪市殿町	その他の建物	8.0	堀検出。木製品、瓦、陶器出土。
上久米遺跡	松阪市久米町	宅地造成	36.0	遺構・遺物なし。
計			940.0	

- ⑧ 名張市 市内遺跡発掘調査等〔国 1/2 1,000 千円・県 1/6 333 千円〕
名張市土山遺跡・尻矢 2 号墳・夏見廃寺から出土した金属製品のうち、劣化が進みつつあるものについて保存科学処理を施し、その恒久保存を図った。(処理受託 財団法人元興寺文化財研究所)
- ⑨ 明和町 町内遺跡発掘調査等〔国 1/2 800 千円・県 1/6 266 千円〕
遺跡地内における個人住宅の申請に対応し、事前に地下遺構等の実態を把握することで、遺跡保護のデータを収集した。

遺跡名	所在地	原因	面積(m ²)	主要遺構・遺物
齋宮跡 第161-1次調査	明和町齋宮字楽殿	個人住宅	46.0	溝、ピット・山茶碗
齋宮跡 第161-3次調査	明和町竹川字東裏267	個人住宅	19.6	溝、ピット・土師器
齋宮跡 第161-4次調査	明和町齋宮	個人住宅	72.4	掘立柱建物、土坑・土師器、緑釉
齋宮跡 第161-5次調査	明和町齋宮字牛葉	浄化槽	5.8	遺構・遺物なし
齋宮跡 第161-6次調査	明和町齋宮字牛葉	その他建物	6.0	溝、土坑、ピット・土師器、緑釉
古堀遺跡	明和町上野字古堀	個人住宅	93.6	土師器焼成坑、土坑、ピット・土師器
計			243.4	

- ⑩ 度会町 町内遺跡発掘調査等〔国 1/2 1,050 千円・県 1/6 350 千円〕
三重県内有数の縄文遺跡である森添遺跡の発掘調査成果をまとめ、報告書として刊行することにより公開し、広く活用する。20年度は、図面・写真の整理とともに、出土遺物の実測作業などの資料化を実施した。

2 県費単独補助事業

(1) 建造物保存修理事業

- ① 白山比咩神社八幡社須賀社ほか保存修理（白山比咩神社・白山町）〔S32.3.29 指定〕
事業概要 八幡社須賀社、祖霊社2棟などの破損化が進行、解体修理を行った。資料が明らかなものは、できる限り旧形式に戻し、鉄板葺は撤去し、桧皮葺として復旧した。
(平成15年度～平成20年度)
20年度事業 塗装工事、屋根工事、石工事など。
事業費 20,448 千円〔県50% 10,222 千円〕
設計監理 財団法人文化財建造物保存技術協会
工事請負 株式会社中建築工務店
- ② 専修寺唐門、御廟拝堂及唐門保存修理（専修寺・津市）〔S35.5.17 指定〕
事業概要 専修寺唐門及び御廟唐門の檜皮屋根が経年により摩滅し、雨漏りが生じており、御廟拝堂についても経年により本瓦屋根の谷部から雨漏りが生じ、木部に腐朽が見られるため、3棟とも屋根全面葺替え並びに破損部分の修理を行う。
20年度事業 専修寺唐門 屋根工事
事業費 14,700 千円〔県 4,900 千円〕
工事監理 財団法人文化財建造物保存技術協会
工事請負 株式会社児島工務店
- ③ 経蔵部分修理（寂照寺・伊勢市）〔S27.3.13 指定〕
事業概要 全体計画 平成16年度から22年度まで経蔵の半解体修理を行う。
20年度事業 左官工事(内外壁、垂木、長押、鴨居、戸枠ほか)、木工事(戸前扉枠設置、東面板張り(一部)、東面板張の古色仕上・風喰加工)、棧唐戸の修理及び建込み、建具金物、敷石の敷設等を施工した。
事業費 8,742 千円〔県50% 4,371 千円〕

工事監理 株式会社林廣伸建築事務所

工事請負 株式会社廣垣工務店

④ 旧小田小学校本館修理（伊賀市）〔S50.3.27 指定〕

事業概要 損傷した漆喰壁の修理を行うとともに、シロアリ被害部や木材腐食部の交換と処置を行うとともに、雨漏り防止工事を実施した。

事業費 3,000 千円〔県 50% 1,500 千円〕

工事請負 高田工務店、株式会社総合住宅、岩崎芳春堂表具店

(2) 有形文化財保存修理事業

① 木造薬師如来立像（東明寺・津市）〔S31.12.5 指定〕

事業概要 平成 19 年 4 月 15 日に発生した三重県中部を震源とする地震により転倒し、面部額の陥没や両手、両足が外れるなどの被害を生じたため、解体修理を行い、組み直しを行った。

事業費 1,789 千円〔県 50% 894 千円〕

工事請負 愛知仏像修復工房

② 宝篋印塔保存修理（浄明院・津市）〔S33.12.15 指定〕

事業概要 経年変化による風蝕や劣化に加えて、台石の隙間が大きくなり、強い振動で倒壊する恐れが生じたため、現地で解体した後石面を洗浄し、石材強化剤の含浸、修復等を行い、組み直しを行った。

事業費 1,436 千円〔県 50% 717 千円〕

工事請負 株式会社アクト

(3) 有形民俗文化財保存修理事業

春日神社雨乞願解大絵馬（春日神社・伊賀市）〔H11.3.17 指定〕

事業概要 春日神社雨乞願解大絵馬のうち、春日神社境内図 1 点の保存修理

事業費 663 千円〔県 50% 330 千円〕

工事請負 株式会社京都科学

(4) 国登録文化財保存修理事業

伊良子清白旧邸移築（鳥羽市・鳥羽市）〔H20.3.19 登録〕

事業概要 大台町にある建物を解体し、部材調査を行ったうえで、鳥羽市内に移築した。

事業費 21,709 千円〔県 10% 2,170 千円〕

工事請負 株式会社マツダ建設

(5) 史跡等保存整備事業

① 大日堂境内の五百羅漢 保存修理（菰野町竹成区）〔S42.2.10 指定〕

事業概要 史跡内に設置された 469 体の石製羅漢像について、クリーニング・強化材の塗布・破損部分の修復を行う。（平成 14 年度～ 22 年度）

20 年度事業 60 体の修理作業を行った。

事業費 3,000 千円（県 50% 1,500 千円）

工事請負 株式会社 アクト

② 旧亀山城多聞櫓 保存修理（亀山市）〔S22.5.7 指定〕

事業概要 平成 19 年 4 月 15 日の三重県中部地震による被災箇所及びその周辺の保存修理として、（崩落石垣・充填土の撤去及びその周辺の保存修理のための三次元測量及び発掘調査などを実施した。

事業費 19,000千円 (県50% 9,500千円)
 指導委員 八賀 晋 (三重大学名誉教授)
 北垣總一郎 (元東大阪短期大学教授)
 三浦 正幸 (広島大学教授)
 花里 利一 (三重大学教授)
 千田 嘉博 (奈良大学准教授)
 佐々木宣明 (亀山市文化財保護審議会委員長)

指導委員会 平成20年9月15日・平成21年3月21日

- ③ 白鳥塚古墳 保存修理(鈴鹿市) [S12.11.10指定、平成18年3月17日追加指定]
 事業概要 史跡追加指定に伴い、永久的な境界標を設置するとともに、調査結果を反映した案内板に更新した。
 事業費 2,000千円 (県50% 1,000千円)
 受託者 交通構造コンサルタンツ

(6) 天然記念物再生事業

- ① 引作の大クス [S11.1.3指定]
 事業概要 破断部分の治癒等の修復保全
 事業費 2,032千円 (県 1,000千円)
 受託者 山瀬造園
- ② 篠立の風穴 [S52.3.28指定]
 事業概要 篠立の風穴前階段修理
 事業費 875千円 (県 437千円)
 受託者 兎玉鉄骨工業
- ③ 川俣神社のスタジイ [S44.4.17指定]
 事業概要 カミキリムシ駆除
 事業費 226.4千円 (県 113千円)
 受託者 木楽
- ④ 尾鷲神社の大樟 [S12.11.12指定]
 事業概要 枝の伐採、土壌改良
 事業費 1,651千円 (県 774千円)
 受託者 森林組合おわせ

3 活かそう地域文化提案事業

(1) 事業概要

活かそう地域文化提案事業は、地域からの様々な文化財を介した活動提案に対して、これを認証し、活用事業と文化財の修復(保存事業)とをあわせて支援するもので、県民が文化財をより身近に感じ、親しみをもって活かすことができるように取り組むことを主旨とした。

事業は、地域の精神的な拠り所となってきた文化財を見直し、再生や活用を図るため、事業者を中心として地域住民・NPOなどが行う自主的な活動を支援するとともに、文化財の修復にも補助を行うもので、実施方法は下記によった。

ア 文化財の活用に関する自主的で具体的な補助事業案を、所有者・地域住民・NPOなどが申請書にまとめる。また文化財の保存事業についても、所有者や管理団体が補助事業案として申請書にまとめる。市町の教育委員会は、2つの申請書を一对の事業としてまとめ、県教育委員会に対して事業提案する。

イ これらの中から、文化財の修復や活用などを契機として、伝統文化が復興する等、伝統的な地域のまとまりや郷土愛が強まるような提案を、活かそう地域文化提案事業認証委員会で審査し、「みんなの文化財」として認証する。

ウ 認証した事業には、活用などの活動を支援するとともに、損傷や老朽化が進んで公開や活用が困難となっている当該文化財の修復にも補助を行う。

事業費（活用事業・保存事業）

208,294千円（県費支出額 66,946千円：活用事業 2,605千円・保存事業 64,341千円）

期待される効果

ア 保存事業と活用事業を一对の事業と位置づけ、所有者や地域住民が文化財の保存修理だけではなく活用事業にも取組むことにより、地域における文化財に対する愛護意識が高まる。

イ 活用事業においては、文化財の理解を深めるための普及事業のほか、世代間交流や次世代育成などに効果的な事業の実施により、文化財への理解と愛着、地域の活性化、地域への愛着がもたらされ、地域づくりに発展する取組が盛んになる。

(2) 認証委員会

認証委員会は、市町より提案された保存と活用の各事業について、事業化の可否を審査するために設置した。提案された各事業内容が、「活かそう地域文化提案事業」の趣旨に合致するものであれば、文化財保護室長に対し、その評価・認証について建議するとともに、専門的見地から事業にかかる指導・助言も行った。

委員は、下記の a から f の項目を専門分野とする有識者の中から 5 名以内で選び、社会教育・文化財保護室長が委嘱した。

- a 有形文化財の保存と活用
- b 埋蔵文化財の保存と活用
- c 史跡・名勝・天然記念物の保存と活用
- d 文化財保存と活用にかかる教育活動
- e 町おこしなどの地域活性化や人材育成の推進を目的とした活動
- f 観光政策と広報活動 など

平成 20 年度活かそう地域文化提案事業 認証委員会委員

八 賀 晋	三重県文化財保護審議会会長
名 越 誠	三重県文化財保護審議委員
菅 原 洋 一	三重県文化財保護審議委員
平 井 俊 圭	社会福祉法人伊賀市社会福祉協議会事務局長
橋 爪 貴 子	NPO 法人五十鈴塾理事

(3) 指定文化財等活用・保存事業

ア 平成 20 年度事業実績

提案件数	認証件数	提案者数	活用 事業者数	保存 事業者数	活用・保存事業の差異は、複数の保存事業を一体化して活用事業を実施したことによる。
31	31	14 (12市2町)	27	31	

イ 平成 20 年度活用事業

整理 番号	補助事業者	補 助 事 業 名 (活用事業〔事業額・県費補助額〕)	事 業 内 容
1	財団法人 諸戸会	重文 諸戸家住宅主屋ほか5棟 建造物保存修理 活用事業 〔事業額139千円、県補助額69千円〕	修復予定の建造物内部の見学会を行った。82名の参加を得て、現状や今後の展望、文化財保護の重要性を説明した。
2	財団法人 諸戸会	名 諸戸氏庭園 史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備 活用事業 〔事業額71千円、県補助額34千円〕	講師の解説のもと、諸戸氏庭園を巡りながら、歴史的変遷や意義について、学習を深めた。
3	合資会社 苗秀社	重文 旧松坂御城番長屋 建造物保存修理 活用事業 〔事業額100千円、県補助額50千円〕	土蔵においてパネル展示を行うとともに、修理現場の見学会を実施した。
4	花岡自治連合会	重文 宝塚1号墳出土品 美術工芸品保存修理 活用事業 〔事業額63千円、県補助額29千円〕	宝塚古墳公園においてボランティアガイドを行うためのガイド養成講座を実施するとともに、講演会、勾玉づくり体験教室等を開催した。
5	児童の郷土愛育成のための文化財・観光施設開放事業実行委員会	史 上野城 史跡等・登録記念物保存修理 活用事業 〔事業額44千円、県補助額22千円〕	伊賀市の小学生に、ふるさと学習スタンプラリー入場券を配布し、上野城跡・旧崇廣堂・春日神社等を保護者とともに見学する機会を設け、のべ1530名が参加した。
6	児童の郷土愛育成のための文化財・観光施設開放事業実行委員会	史 旧崇廣堂 史跡等・登録記念物保存修理 活用事業 〔事業額44千円、県補助額22千円〕	伊賀市の小学生に、ふるさと学習スタンプラリー入場券を配布し、上野城跡・旧崇廣堂・春日神社等を保護者とともに見学する機会を設け、のべ1530名が参加した。
7	十社小学校親師会	天 ネコギギ 天然記念物緊急調査 活用事業 〔事業額100千円、県補助額50千円〕	十社小学校の児童とその保護者により、地元河川での観察会や勉強会を実施し、川に親しみ身近に生息する天然記念物ネコギギを中心に希少な生物や環境について学んだ。一部は、小学校の総合学習に併せて実施した。
8	野登清友会	天 ネコギギ 天然記念物緊急調査 活用事業 〔事業額30千円、県補助額15千円〕	地域のイベントに参加し、鈴鹿川水系に生息する水生生物を紹介し、地域の河川環境やそこに住む多様な生物の保護について普及啓発を行った。
9	財団法人 鈴鹿市文化振興事業団	天 金生水沼沢植物群落 天然記念物緊急調査 活用事業 〔事業額40千円、県補助額20千円〕	文化財探訪セミナーを親子向け、一般向けに2回実施し、文化財の普及啓発を行った。市民の関心も高く、延べ82名の参加者を得た。
10	関宿案内ボランティアの会	重伝建 亀山市関宿伝統的建造物群保存地区 重要伝統的建造物群保存地区・保存修理 活用事業 〔事業額40千円、県補助額20千円〕	案内ボランティアの会広報誌(年6回)で普及啓発を行うとともに、保存修理事業実施建造物を中心に案内を行う町並み見学会を開催して、重要伝統的建造物群保存地区・保存修理事業の普及啓発を行った。

11	上野文化美術保存会	重無民 上野天神祭のダンジリ行事 民俗文化財伝承・活用等事業 活用 事業 [事業額54千円、県補助額27千円]	伊賀市の小学生を対象に上野天神祭のダンジリ行事で披露されるお囃子の体験講座を開催し、地域の祭に対する普及・啓発を行った。また、一般を対象に楼車の構造と保存・活用についての講演会を開催した。
12	財団法人 国史跡 斎宮跡保存協会	史跡 斎宮跡 史跡等買上げ（直接 買上げ）活用事業 [事業額182千円、県補助額90千円]	平安時代の年中行事として大晦日の夜に行われていた「追儺のまつり」を一般参加者も交えて再現するとともに、講演会を実施した。
13	とばガイドボラン ティアの会	登録 伊良子清白旧邸 移築 活用 事業 [事業額700千円、県補助額350千円]	鳥羽まちなみめぐり吟行会並びに講演会「伊良子清白その漂泊と鳥羽」を実施するとともに、まちなみイラストマップを作成した。
14	宗教法人 寂照寺	重文 木造諸尊仏龕 美術工芸品保 存修理 活用事業 [事業額29千円、県補助額14千円]	月僊展にあわせて、木造諸尊仏龕のパネルを展示し、見学者や参拝者に普及啓発を行った。
15	倭地区伝統文化保 存会	白山比咩神社八幡社須賀社ほか保存 修理 活用事業 [事業額831千円、県補助額409千円]	雅楽や舞の練習を行い、地区内外で3回の公演を行った。かんこ踊りの復活にむけて練習を開始した。地域内外に広報するために広報紙を発行した。
16	宗教法人 専修寺	専修寺唐門、御廟拝堂及唐門 保存 修理 活用事業 [事業額142千円、県補助額71千円]	地区の小・中学校の生徒に地域の文化財を通じて地域文化の大切さを訴えるものとして、文化財ポスターの原面を募集し、作品は審査後表彰するとともに展示公開した。
17	宗教法人 寂照寺	経蔵部分修理 活用事業 [事業額72千円、県補助額33千円]	「月僊展」を開催し、寂照寺を再興した月僊上人の人となりを知っていただき、文化財への関心を啓発した。
18	児童の郷土愛育成 のための文化財・ 観光施設開放事業 実行委員会	旧小田小学校本館 修理 活用事業 [事業額45千円、県補助額22千円]	伊賀市の小学生に、ふるさと学習スタンプラリー入場券を配布し、上野城跡・旧崇廣堂・春日神社等を保護者とともに見学する機会を設け、のべ1530名が参加した。
19	ふるさと文化資産 保全活用研究会	旧亀山城 多聞櫓 保存修理 活用 事業 [事業額91千円、県補助額45千円]	旧亀山城多聞櫓周辺地域における歴史的建造物の調査、広報誌の発行を行うとともに、3回の成果報告会を開催した。
20	竹成区	大日堂境内の五百羅漢 活用事業 [事業額168千円、県補助額84千円]	地域の文化財を再認識する取組みとして、地元の小学生を対象とした写生大会を開催するとともに、そっくり写真コンテストを実施した。あわせて、区民による草刈等の清掃活動を行った。
21	「みささぎの郷」 里山づくりの会	白鳥塚古墳 保存修理 活用事業 [事業額404千円、県補助額88千円]	白鳥塚古墳周辺のバリアフリートレイルの整備、スケッチイベント、散策会を行った。

22	児童の郷土愛育成のための文化財・観光施設開放事業実行委員会	春日神社雨乞願解大絵馬 保存修理活用事業 [事業額45千円、県補助額22千円]	伊賀市の小学生に、ふるさと学習スタンプラリー入場券を配布し、上野城跡・旧崇廣堂・春日神社等を保護者とともに見学する機会を設け、のべ1530名が参加した。
23	川俣神社役員会	川俣神社のスダジイ 天然記念物再生 活用事業 [事業額20千円、県補助額10千円]	月2回の割合で、スダジイ周辺の清掃及び除草作業を実施した。また、樹木についての基礎的な知識や技術習得のため樹木医を講師に保護管理学習会を実施したところ、予想を大きく超える参加者を得た。
24	尾鷲神社氏子総代会	尾鷲神社の大クス 天然記念物再生 活用事業 [事業額374千円、県補助額186千円]	小学生による大クスの写生を行い、中央公民館ロビーに展示した。また、土壌改良を行うため、施肥を行った。
25	久留倍官衙遺跡を考える会	市内遺跡 発掘調査等 活用事業 [事業額500千円、県補助額250千円]	市民の久留倍官衙遺跡に対する関心の向上をめざして、「聖武天皇 東国行幸都市交流サミット」を開催し、約500名の参加があった。
26	「みささぎの郷」里山づくりの会	市内遺跡 発掘調査等 活用事業 [事業額一千元、県補助額88千円]	白鳥塚古墳周辺のバリアフリートレイルの整備、スケッチイベント、散策会を行った。
27	亀山市関新所地区コミュニティ	市内遺跡 発掘調査等 活用事業 [事業額60千円、県補助額20千円]	鈴鹿関跡等の周辺整備や環境維持活動を実施するとともに、2回の史跡散策会や広報誌の発行をとおして、歴史文化遺産の普及啓発につとめた。
28	美し郷霧山施設管理運営協議会	市内遺跡 発掘調査等 活用事業 [事業額204千円、県補助額90千円]	国史跡多気北畠氏城館跡や城下の発掘調査現場、近世以降の伊勢本街道の町並みを訪ねるウォークラリーを実施した。
29	NPO法人 みえ自然・文化財保護サークル	市内遺跡 発掘調査等 活用事業 [事業額55千円、県補助額25千円]	文化財巡りウォーキングマップを作成するとともに、文化財探訪会を開催した。
30	財団法人 国史跡 斎宮跡保存協会	市内遺跡 発掘調査等 活用事業 [事業額210千円、県補助額100千円]	斎宮跡歴史ロマン広場を中心に、花の種蒔きやノハナショウブの株分け移植等、昔の花を咲かせる活動を行った。
31	赤目まちづくり委員会	市内遺跡 発掘調査等 活用事業 [事業額516千円、県補助額250千円]	地域に残された文化財を内外に発信し、次世代の育成や世代間交流を促進するため、「古代の技術に挑む 小玉づくり、トンボ玉づくり」や「ふるさとウォークinあかめ」など、地域住民を対象としたイベント事業を実施した。

4 民間団体による助成

民間団体による文化財保護助成事業について、市町教育委員会の推薦を受けた文化財を推薦し、次の団体が助成を受けた。

- (1) 文化財維持・修復助成事業（財団法人 住友財団）
（財）鈴屋遺蹟保存会 助成額 1,020 千円
大淀三千風墨蹟修復
- (2) 文化財保護のための事業（財団法人 文化財保護・芸術研究助成財団）
東明寺（津市） 助成額 447 千円
仏像の修理
- (3) 伝統文化活動支援事業（財団法人 伝統文化活性化国民協会）
共敬社（伊勢市） 助成額 460 千円
用具新調（小俣羯鼓踊）
- (4) 地域文化活動事業助成（財団法人 沖永文化振興財団）
島貫カンコ踊り（津市） 助成額 200 千円
用具整備
- (5) 地域の伝統文化助成（財団法人 明治安田クオリティオブライフ）
 - ・生桑長松神社鏡餅奉納会（四日市市） 助成額 250 千円
用具整備
 - ・曾原獅子舞保存会（松阪市） 助成額 560 千円
装束・用具の新調

IV 世界遺産の保存管理

1 世界遺産熊野古道保存管理事業

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」（平成 16.7.7 登録）の良好な保全管理のため、文化庁、奈良・和歌山県、関係市町と連携した取組を行った。（総事業費 2,828 千円）

(1) 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」三県協議会（負担金；220 千円）

① 趣旨と構成

『世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」三県協議会』（以下、三県協議会という）は、三重・奈良・和歌山の三県が、登録資産の保存・管理・活用の推進を目的に、平成 17 年度に設置した。三県協議会は、会長・副会長・委員及び監事で組織されている。前年度に引き続き、会長に和歌山県知事、副会長に奈良県・三重県知事の就任が互選された。事務局は和歌山県（教育庁文化遺産課）に置かれた。三重県における委員及び監事の構成は以下とおり。

- ・副会長 野呂 昭彦（県知事）
- ・委員 向井 正治（三重県教育長）、河上敢二（熊野市長）、小倉肇（紀北町教育長）
- ・監事 杉野 周二（県教育委員会社会教育・スポーツ分野総括室長）

② 三県協議会の開催

- | | |
|------|--|
| 開催地 | 田辺市龍神行政局（和歌山県田辺市龍神村西 376） |
| 開催日時 | 平成 20 年 8 月 6 日（水） |
| 議事内容 | 平成 19 年度の事業報告・決算・監査報告、平成 20 年度事業計画・予算案 |
| 事業計画 | ・「保全状態の測定にかかる指標（モニタリング調査）」の継続実施
・専門委員会の運営 |

- ・三県連携による世界遺産の保全と活用の取組（熊野古道「祈りの聖地を歩く」キャンペーンの実施、PRリーフレット作成、熊野古道スタンプラリーの実施、首都圏でのフォーラム）

- ・登録5周年記念事業 平成21年7月7日に迎える登録5周年にあたり、三県連携でその気運醸成をする。また、それに際して次の事業を実施する。

5周年記念関連事業への積極的な後援

「登録5周年」を盛り込んだロゴマークの使用推進

公式パンフレットの5周年記念版作成・配布

世界遺産関係功労者（団体）の表彰

文化的景観の価値再認識のための情報発信や三県でウォーク

登録5周年を記念した記念誌を作成

講演 本中 眞氏（文化庁記念物課主任調査官）

演題 「最近の世界遺産をとりまく状況 — 『平泉』の状況と課題」

③ 平成20年度三県協議会決算

収入	支出	繰越金	収入のうち三重県負担額
1,077,517円	578,686円	498,831円	220,000円

④ 「紀伊山地の霊場と参詣道」シンボルマークの使用届出の受理

「紀伊山地の霊場と参詣道」シンボルマークは、三県協議会あて（各県教育委員会文化財主管課が事務）に使用届出書を提出することで、世界遺産関連行事や商品などに用いることができる。平成20年度に三重県が受理し届出受領書を発行したのは2件である。

(2) 県内の世界遺産保存管理（343千円）

① 三重県世界遺産保全推進協議会

三県協議会と連携して熊野参詣道（伊勢路）の保存と活用に取り組むため、三重県教育長及び大紀町・紀北町・尾鷲市・熊野市・御浜町・紀宝町の教育長を委員とする「三重県世界遺産保全推進協議会」が構成されている。また、史跡等の保護のため、本協議会の下に幹事会を設置し、文化財保護法に基づく史跡等の保護に万全を期する体制を布いている。今年度から、昨年度までの事務連絡会議を幹事会と統合し、第1回を4月30日（水）、第2回を10月9日（木）、第3回を21年3月18日（水）に開催し、当該6市町教育委員会との連絡・協議に万全を期した。

② 世界遺産「保全状態の測定にかかる指標」（モニタリング調査）の作成

ユネスコ世界遺産委員会は、世界遺産一覧表に登録された遺産の価値を維持するため、世界遺産条約締結国内における世界遺産の保全状態等について定期的な報告の実施を、第22回世界遺産委員会（平成10年）において採択している。これは、世界遺産条約第29条に基づき、世界遺産を保有する国が、世界遺産条約を適用するために採った立法措置、行政措置やその他の行動に関する定期報告である。「紀伊山地の霊場と参詣道」については、平成24年12月末となる可能性が高い。平成20年度は、文化庁より指示のあった報告様式「保全状態の測定にかかる指標」に基づき、各関係市町村教育委員会を支援し、平成20年1月～同年12月末までの集約を完了した。

なお、世界遺産委員会へ提出する報告書及び提出時期は下記のとおりである。

《報告書》

- ・セクションⅠ「締約国における世界遺産条約の適用」*セクションⅡをもとに国（文化庁）が作成。
- ・セクションⅡ「特定の世界遺産物件の保全状態」*管理する府県が、市町・団体等と協働で作成。

《対象期間》

登録推薦後（平成15年1月～平成24年12月末）

《提出期限》

- ・第1回提出／平成24年2月末日
「セクションⅡ」の報告書の原案（和文）、「保全状態の測定にかかる指標」等
- ・第2回提出／平成24年4月末日
「セクションⅡ」の報告書の原案（和文）、「保全状態の測定にかかる指標」等
- ・第3回提出／平成24年7月末日
「セクションⅡ」の提出文書（英文）、「保全状態の測定にかかる指標」（英訳不要）等

③ 平成20年度世界遺産関係道府県主管課長会議

世界遺産の保存・継承を主目的に、構成資産を擁する道府県の共催で開催されている（平成11年度から）。

開催地 栃木県日光市（世界遺産「日光の社寺」）

開催日 平成20年9月4・5日

協議内容 「世界遺産の保全のための特別な予算措置について」、「世界自然遺産地域及び周辺の自然環境保全の取り組みについて」など。

(3) 活用事業

① 熊野参詣道と石造物調査事業（2,027千円）

世界遺産の適切な保護とその活用を図るためには、世界遺産を育んだ地域の歴史的背景を知り、地域の豊かな歴史を詳細かつ正確に知る必要がある。石造物は、それが造立された時代の文化を知る歴史資料であるとともに、誰もが目にすることのできる身近な文化財である。

当事業は、世界遺産を擁する関係6市町を対象に、管内の石造物を悉皆調査を目的として実施した。当年度は国庫補助を受け、事業費のうち、2,000千円については国庫補助事業「三重県石造物調査 史料調査」（国費補助率1/2）として実施した。内容は、石造物調査推進会議・打合せ会議の開催、分布調査の補足、詳細調査の実施、および報告書『三重県石造物調査報告Ⅰ～東紀州地域～』の刊行である。

調査にあたっては、対象6市町に「石造物調査員」を任命して実施した。また、学術的な助言を得るため、学識経験者に助言を依頼した。

＜調査員＞

〔大紀町〕村田 明雄、西 稔、山口 敏彦、筒井 みわ、谷口 孝之、小倉 裕
阪口 明久、山崎 晃、大西 一弘、中桐 真紀、出馬 喜勝、井上 喜郎

〔紀北町〕東 惇朗、大西 正弘、北村 喜義、大久保芳彦、植村 明、家崎 彰
川端 徳夫

〔尾鷲市〕田崎 通雅 *尾鷲市は市事業としての取り組みと連動

〔熊野市〕花尻 薫、濱中 弘充、山口 幹夫、久保 理也、福角 晏次、中田 重頭
杉谷 俊明、福村 直人、更屋 好年、三石 学、和田 利信、岩崎 哲也
向井 弘晏、古部 均

〔御浜町〕芝崎 格尚、織田 信勝、清水 鎮一、渡邊 芳遠

〔紀宝町〕寺本 秀夫、山口 朝、福村 直人（兼熊野市）

＜助言者＞

塚本 明（三重大学人文学部教授）*歴史学

斉藤 純（天理大学文学部教授）*民俗学

狭川 真一（（財）元興寺文化財研究所研究部長）*考古学

駒田 利治（元三重県教育委員会世界遺産特命監）

② セミナー「熊野古道と文化的景観」(238千円)

世界遺産の保全と活用をより一層推進するため、今年度は建物やまちづくりに関するセミナーを開催した(参加自由)。また、三重県が進めていた近代和風建築調査の成果公表と、国登録有形文化財の活用とを絡め、まちづくりに関する話題提供も実施した。なお、セミナーの開催にあたっては、日本イコモス国内委員会・東紀州観光まちづくり公社に共催頂いた。

・第1回 平成20年10月25日

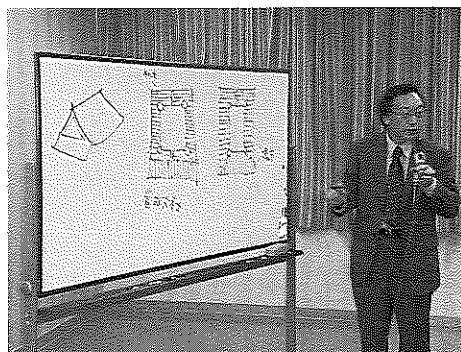
三重県熊野庁舎 参加者 26名

講師：菅原 洋一 (三重大学附属図書館研究開発室教授)
演題「歴史的建造物と町づくり」

・第2回 平成21年3月14日

紀北町立東長島公民館 参加者 36名

講師：浅野 聡 (三重大学大学院工学研究科准教授)
演題「歴史的景観を活かしたまちづくり」



2 他部局との連携事業ほか

(1) 学びのステージ創造推進事業 (教育委員会小中学校教育室主管)

○ 郷土三重の学習推進事業

小中学校教育室が主管する当該業務は、教材「三重の文化(仮称)」の制作を中心とした事業である。当章の検討にあたっては、「熊野古道分野」として制作会議を実施している。熊野古道分野では、当年度は1回の制作会議を実施した。

〔熊野古道分野制作者〕 伊藤裕偉(県社会教育・文化財保護室)、松島功城(県小中学校教育室) 森川貴司(津市立黒田小学校)、小西正弘(熊野市立遊木小学校)、中井克佳(県児童相談センター 紀州児童相談所)、和田利信(熊野市立井戸小学校)、宮原優・三石学(東紀州観光まちづくり公社)

(2) 三重県立熊野古道センター

三重県立熊野古道センターに関しては、当センターを所管する政策部東紀州対策室と連携した支援を随時実施している。

○ 研究収蔵棟特別展示室にかかる調整

当施設で指定文化財等の展示を実施するための協議を実施した。文化庁と協議により、当面は「文化財公開施設」を目指すこととした。ただし、東京文化財研究所保存修復科学研究センター長石崎武志氏に現地指導を頂いたところ、虫害に対する心配が複数認められるとの指摘を得ている。そのため、指定文化財の展示にあたっては、不足の無い充分な対応が必要である。

(3) 第33回全国高等学校総合文化祭 (教育委員会事務局高校教育室主管)

○ 熊野古道部会への参加

平成21年7月に開催される上記事業にあたり、木本高等学校(熊野市)を中心に、熊野古道部会(理科、地理歴史科対象)が設置されている。その実施にあたり、部会委員として参加した。高文祭における熊野古道の魅力を再発見するとともに、生徒が熊野古道への関心を持つことを意図したものである。

(4) 文化庁事業への協力

○ 日・伊文化財保護協力事業（文化庁主催）

文化庁が推進している国際的な保護協力事業の一環として、「参詣道の文化的景観」と題する日伊二国間フォーラムが県立熊野古道センターで開催された。当事業に対しては、政策部東紀州対策局および亀山市教育委員会と連携して対応を行った。なお、当フォーラムは熊野古道センター開館2周年記念事業としても位置づけられた。



- 主催 文化庁、イタリア文化財・文化活動省
共催 三重県、三重県教育委員会
開催日 平成21年2月7・8日（土・日）
会場 三重県立熊野古道センター（尾鷲市、7日）
関宿伝統的建造物群保存地区（亀山市関町、8日）
内容 7日「日伊二国間フォーラム 参詣道の文化的景観」
第一部「リレー講演」 第二部「パネルディスカッション」
8日 関宿に関する意見交換と現地視察

V 文化財の管理・普及

1 登録審査

(1) 銃砲刀剣類登録審査会

目的 銃砲刀剣類所持等取締法の定めるところにより、美術品もしくは骨董品として価値のある火縄式銃砲等の古式銃砲又は美術品として価値のある刀剣類を審査のうえ登録する。

開催期日 5月20日 県津庁舎会議室 8月19日 県鈴鹿庁舎会議室
10月21日 県尾鷲庁舎会議室 11月18日 県伊勢庁舎会議室
1月20日 県津庁舎会議室

新規登録	刀剣類	148件	銃砲類	15件	登録件数累計	51,666件
登録証再交付	刀剣類	17件	銃砲類	1件		
製作承認	刀剣類	0件（新規内数）				
所有者変更	刀剣類	516件	銃砲類	33件		

登録審査委員（五十音順） 東 敏平（日本美術刀剣保存協会 三重県支部）
菊本 和男（元三重県警警察官）
早川 繁一（日本美術刀剣保存協会 三重県支部長）
東世古晃弘（日本美術刀剣保存協会 三重県支部）
福井 款彦（日本美術刀剣保存協会 三重県副支部長）

(2) 三重県天然記念物紀州犬登録審査会

目的 天然記念物紀州犬の保存を図り、その繁殖を助長するため、審査会を経て、保存の必要を認めた紀州犬を優良紀州犬として、県教育委員会に備える紀州犬台帳に登録する。

日時 平成20年5月18日（日）

場所 結城神社駐車場（津市）

審査員 中谷 和生（社団法人日本犬保存会審査員 ・ 同三重支部長）
岸川 徳成（社団法人日本犬保存会副審査員 ・ 同三重支部顧問）
木村二三利（社団法人日本犬保存会審査員 ・ 同三重支部顧問）

登録日本犬

	登録日	登録番号	犬名	性	所有者住所
1	H20.5.30	757	根来乃開山	雄	津市久居
2	H20.5.30	758	雷神	雄	四日市市
3	H20.5.30	759	夏梨	雌	伊勢市二見町
4	H20.5.30	760	剣翔	雄	松阪市
5	H20.5.30	761	紅小蝶	雌	四日市市
6	H20.5.30	762	斎乃力王	雄	多気郡明和町
7	H20.5.30	763	斎乃伯峰	雄	多気郡明和町
8	H20.5.30	764	郷の夕	雌	四日市市
9	H20.5.30	765	紀乃姫	雌	松阪市
10	H20.5.30	766	ミヅキ	雌	津市芸濃町
11	H20.5.30	767	萩月	雌	伊勢市二見町
12	H20.5.30	768	あつみ姫	雌	津市
13	H20.5.30	769	熊野乃紫光	雄	鈴鹿市
14	H20.5.30	770	樹里	雌	鈴鹿市
15	H20.5.30	771	熊野大王	雄	津市久居
16	H20.5.30	772	熊野乃彩光	雄	鈴鹿市

(3) 三重県天然記念物日本鶏登録審査会

目的 天然記念物日本鶏の保存を図り、繁殖を助長するため、審査会の審査を経て、保存の必要を認めた日本鶏を優良日本鶏として、県教育委員会に備える日本鶏台帳に登録する。

日時 平成20年5月11日(日)

場所 斎宮歴史博物館サービスヤード(多気郡明和町竹川503番地)

審査員 萬野 利亮(全国日本鶏保存会会員・三重県日本鶏保存会審査員)

河村 逸彦(全国日本鶏保存会参与)

富田 靖男(元三重県立博物館長)

西川 祥一(日本家禽会三重県支部長・天然記念物三重県五鶏保存会会長)

佐々木健二(三重県農水商工部畜産研究所)

登録日本鶏

	登録日	登録番号	鶏種	内種	性	所有者住所
1	H20.5.30	963	河内奴鶏		番	度会郡玉城町
2	H20.5.30	964	烏骨鶏	黒色種	雄	度会郡玉城町
3	H20.5.30	965	小国鶏	白色種	雄	松阪市飯南町
4	H20.5.30	966	軍鶏	八木戸鶏	雄	松阪市飯南町
5	H20.5.30	967	河内奴鶏		番	度会郡玉城町

2 文化財の管理

(1) 文化財パトロール

事業概要 県内における指定文化財及び埋蔵文化財包蔵地の管理、保存状況を把握し、適切な処置を講じて文化財保護に万全を期するために、三重県文化財保護指導委員を任命して巡視活動等を行っている。巡視活動の報告は、毎月、社会教育・文化財保護室に報告される。社会教育・文化財保護室では写しを当該市町教育委員会に送付し、行政対応を行っている。

巡視報告 各委員による巡視活動の結果は次掲のA表のとおりである。その中で特に指摘のあったものをB表に示した。

A: パトロール実施状況一覧

地区	市 町	建造物	彫 刻	絵画文書	考 古	民 俗	史 跡	天然記念物	埋 蔵	計
北勢	桑名市							3	17	20
	木曾岬町									0
	東員町									0
	いなべ市							2	16	18
	四日市市		1					6		7
	菰野町							3		3
	朝日町									0
	川越町									0
	鈴鹿市	6	5			1	6	1	8	27
亀山市	4					6	11	7	28	
中勢 松阪	津市						1	12	684	697
	松阪市	15						11		26
	多気町	1						2	11	14
	明和町	1					1	1	4	7
	大台町	1						7	22	30
南勢 志摩	伊勢市	7						4	130	141
	玉城町								6	6
	南伊勢町							10	24	34
	大紀町	1						3	16	20
	度会町							2	14	16
	鳥羽市	5				1		3	26	35
	志摩市	5						2	6	13
伊賀	名張市							9		9
	伊賀市						1	3	101	110
尾鷲	尾鷲市						4	5	18	27
	紀北町						16	10	10	36
熊野	熊野市	3				1	11	8	12	35
	御浜町						2	8	4	14
	紀宝町							2	4	6
計		54	6	0	0	3	48	128	1,140	1,379

B: 巡視報告で指摘等のあったもの

市町名	問題文化財の名称	指摘事項	対応状況
津市	山ノ下古墳群（隣接地）	伐開・掘削が行われている。	市教委で対応済
	三多気の桜	最近急に状況が悪化しており、梢からの枯れやヤドリギの着生が見られる	市教委と再生のための方針を検討中
伊勢市	埋蔵文化財	周知の埋蔵文化財包蔵地内での無届開発行為が行われている可能性がある	確認のうえ、対応済

伊勢市	金剛證寺	犬走に亀裂が生じている	現地確認。前回の修理工事関係者と協議中
	寶日館	耐震診断の状況について	保存管理計画策定とあわせて、懸案として検討継続
	覆盆子洞・鷲嶺の水穴	覆盆子洞の説明板が破損	説明板は改変
	松下社の大クス	枯損および他種の流入がみられる	市教委、植物の専門家の立会いのもと、現地を確認実施。推移を観察中
桑名市	松平定綱及び一統の墓所	倒壊の危険性について	懸案として検討を継続
鈴鹿市	石大神	周辺一帯で石灰岩の採掘が行われている	市に連絡、推移を観察中
	木造釈迦如来坐像・木造大日如来坐像・木造大日如来坐像	傷みが激しく、保存環境も悪い	関係者による保存のための現地協議を実施し、方策を検討中
亀山市	鈴鹿峠の鏡岩	周囲の樹木伐採	市教委に連絡
鳥羽市	奈佐・船越浦遺跡	開発計画の確認	県道であることが判明、現在事業部局と協議中
	旧広野家住宅	外壁の腐朽および耐震診断の状況について	平成20年11月に耐震調査を実施、平成21年度に改修工事を計画
伊賀市	埋蔵文化財	・千戸字の青木城跡から続く西側丘陵で古墳(円墳)状隆起と中世寺院(?)関連かと見られる削平地が確認された ・西ノ沢字殿山の径11mの円墳とされる殿山塚古墳が全長27m程の前方後円墳の可能性が指摘されている	市教委が現地を確認したうえで、遺跡発見届など必要な措置を講ずる予定
	上野城跡	史跡内の工作物について	史跡整備計画のなかで対応を検討
	(仮称)山神・大谷新池古墳群	遺跡地図記載の確認	旧阿山町の遺跡地図に登録済
多気町	埋蔵文化財包蔵地の新発見	埋蔵文化財包蔵地の新発見	現地確認作業準備中
	坂倉遺跡	遺跡範囲内で住宅が建設中	確認のうえ、対応済
	新神馬場遺跡	倉庫建築の確認	確認のうえ、対応済
明和町	大道B遺跡	携帯電話の無線局が建設されていた	町文化財保護部局により保護措置済(工事立会)
大台町	旧船木橋	錆びが生じている	松阪建設事務所に連絡。建設事務所として予算要望中
	埋蔵文化財包蔵地の新発見	埋蔵文化財包蔵地の新発見	町教育委員会と調整準備中
	大淵寺のスダジイ	枝の枯死が進んでいる	町教育委員会が対応予定
南伊勢町	野見坂の地層褶曲	看板の設置が適切でない	対応済
	道方の浮島	コイの放流	懸案として検討を継続
	鬼ヶ城暖地性シダ群落・細谷暖地性シダ群落	保存状態が著しく悪化している	懸案として検討を継続
	獅子島の樹叢	枯損および他種の流入がみられる	21年度に現地確認を実施
紀北町	熊野参詣道(ツヅラト峠)	道のき損、安全面からも問題	安全対策を町が検討中
	フウラン群生地	滅失するおそれがある	県・町と所有者が対策について検討を開始

熊野市	熊野の鬼ヶ城附獅子巖	<ul style="list-style-type: none"> ・木製標識が文字が消えているなど、見苦しい、撤去すること ・鉄製標識が、錆びて見苦しい、撤去すること ・標識の残骸（支柱）が残ったまま見苦しい ・展望台土台が劣化 ・枯れ木が、遊歩道上部にあり危険、撤去すること ・獅子巖の注意標識が見苦しい ・獅子巖基部に砂利堆積 	関係部局へ連絡済み
	漣八丁	<ul style="list-style-type: none"> ・遊歩道に倒木 ・遊歩道に土砂 ・つり橋アンカーにクラック 	関係部局へ連絡済
	楯ヶ崎	<ul style="list-style-type: none"> ・遊歩道の手入れ不足、草が生い茂っている、落石が歩道の一部をふさいでいる 	関係部局へ連絡済
御浜町	神木のイヌマキ	<ul style="list-style-type: none"> ・枝先が枯れている 	現地視察済み、町は樹木医への相談、対策を検討中
	市木のイブキ	<ul style="list-style-type: none"> ・枝を支えている支柱が壊れている 	21年度秋頃に町及び県教育委員会で対策、地域へのはたらきかけ予定
紀宝町	神内神社樹叢	<ul style="list-style-type: none"> ・杉の先端枯死 ・カンラン植栽、盗掘、枯死 	町教委に連絡、経過を観察中

(三重県文化財保護指導委員)

埋蔵文化財	松本 覚	渡辺 尚登	三枝 義久	浅尾 悟	本堂 弘之
	浅生 悦生	新田 洋	榎本 義譲	奥野 実	増田 安生
	大西 素行	村上 喜雄	竹内 正弘	奥 義次	北畠 充生
	寺岡 光三	市田 進一	水口 昌也	東 成志	福村 直人
天然記念物	川添 護	桐生 定巳	鈴木 伸治	西川 浩之	三井 博之
	高松 隆吉	清水 善吉	中野 恵子	坂部 元宏	中村みつ子
	松月 茂明	山野 直也	杉澤 学	山本 和彦	林 伸行
建造物	嶋村 明彦	大城 哲也	松月 久和	滝井 利彰	田崎 通雅
彫刻	岩本 直樹	采翠 真澄	藤田 直信	瀧川 和也	
熊野参詣道	吉田 金好	花尻 薫			

(2) 文化財保護にかかる会議

① 三重県文化財保護連絡会議・三重県文化財保護指導委員会会議

県内における指定文化財及び埋蔵文化財などの保護行政を一層充実させるため、市町教育委員会文化財保護行政担当者、三重県文化財保護指導委員との打ち合わせ及び協議を実施した。

地 区	開 催 日 時	場 所
尾鷲・熊野	平成 20 年 5 月 27 日 (火) 13:30 ~ 16:30	県尾鷲庁舎
松阪・南勢志摩	平成 20 年 5 月 28 日 (水) 13:30 ~ 16:30	県伊勢庁舎
北勢・中勢・伊賀	平成 20 年 5 月 30 日 (金) 13:30 ~ 16:30	県鈴鹿庁舎

内 容 平成 20 年度文化財保護事業の概要
指定文化財に関する事務手続き等について
文化財パトロールの実施について

出 席 者 市町教育委員会文化財保護行政担当者・三重県文化財保護指導委員

② オオサンショウウオ保護連絡会議

- 目 的 オオサンショウウオの保護管理について、県関係部局および関係市町に周知するとともに、研究者からの助言を得て保護管理についての情報を共有する
- 日 時 平成 21 年 2 月 23 日 (月) 13:30 ~ 16:00
- 場 所 伊賀市青山ハーモニーフォレスト 学習棟
- 内 容
- 1 講 演 「市川のオオサンショウウオ保護対策」
兵庫県但馬県民局 県土整備部 八鹿土木事務所 朝来事業所
課長補佐 山本良太郎
 - 2 事例報告
 - ・オオサンショウウオ保全対策について
三重県伊賀建設事務所 伊藤 隆広
 - ・オオサンショウウオ道の設置と効果検証調査について
(独)水資源機構 川上ダム建設事務所 笠井 昭彦
 - ・既設人工巣穴の改良報告
国土交通省 近畿地方整備局木津川上流河川事務所
紅粉 祥一、松浦 俊介
 - ・オオサンショウウオ保護対策
伊賀市役所青山支所 産業建設課 赤尾 隆司
- 助 言 者 松井 正文 (京都大学大学院 人間・環境学研究科 教授)
富田 靖男 (元三重県立博物館長)
松月 茂明 (元日本サンショウウオセンター 所長)
清水 善吉 (三重県立養護学校玉城わかば学園 教諭)

③ ネコギギ保護連絡会議

- 目 的 ネコギギの保護管理について、県関係部局および関係市町に周知するとともに、研究者からの助言を得て保護管理についての情報を共有する
- 日 時 平成 21 年 2 月 18 日 (水) 13:30 ~ 16:00
- 場 所 亀山市歴史博物館 講義室
- 内 容
- 1 講 演 「ネコギギ生息場所の地形、水理特性とその評価手法について」
名古屋大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻 助教 田代 喬
 - 2 事例報告
 - ・ネコギギの野外実験とは
国土交通省設楽ダム工事事務所 加藤 敏文
 - ・宮川水系におけるネコギギ生息に配慮した工事事例
伊勢建設事務所流域課 北井 徹
 - ・鈴鹿川水系におけるネコギギ生息状況について
亀山市教育委員会 まちなみ文化財室 山際 文則
 - ・櫛田川調査報告
三重県教育委員会 社会教育・文化財保護室 中野 環
- 助 言 者 名越 誠 (三重県文化財保護審議会委員・奈良女子大学名誉教授)
森 誠一 (岐阜経済大学教授)
渡辺 勝敏 (京都大学大学院理学研究科助教授)

(3) 発掘調査届・通知等

文化財保護法の規定により、埋蔵文化財包蔵地の発掘（土木工事等）に対しては、通知・届出をおこなうことが義務づけられている。平成20年4月から平成21年3月までに処理を行った当該通知・届出の件数は以下のとおりである。

	93条													94条										99条	合計			
	住宅	個人住宅	工場	店舗	住宅兼工場・店舗	その他建物	宅地造成	公園造成	ガス・電気・水道等	土砂採取	学校	道路	その他開発	計	鉄道	道路	河川	港湾・ダム	学校	その他建物	公園造成	ガス・電気・水道等	農業関係			その他開発	保存目的	計
桑名市	7	21	1	1	2	6	7		1				1	46		1						3		4		8	13	67
木曾岬町														0												0		0
東員町														0												0		0
いなべ市	1	1	1				2		1					6		2				1						3	1	10
四日市市	18	30		3		4		15					2	72		4						11		1		16	4	92
菰野町														0												0		0
朝日町														0								1				1		1
川越町														0												0		0
鈴鹿市	16	105	1	9		6	5	31	1				3	177		7				2	1	9		1		20	14	211
亀山市	4	19	2		1	3	1	24					3	57											1	1	5	63
津市	10	6	1	1		7	1	24	1	1			6	58		13				1	1	12	3	1		31	3	92
松阪市	9	77	3	4	3	14	3	29	3				1	146						2		11				13	2	161
多気町													1	1												0		1
明和町		2												2					1							1	2	5
大台町														0												0		0
伊勢市		9		1		2	1	1	3					17												0	1	18
玉城町		1					1							2												0		2
度会町									3					3												0		3
大紀町								1						1												0		1
南伊勢町														0												0		0
鳥羽市														0												0		0
志摩市								4						4										1		1		5
伊賀市	5			1					1					7		4			1		1		1			7	4	18
名張市														0												0		0
尾鷲市														0												0		0
紀北町														0												0		0
熊野市														0												0		0
御浜町														0												0		0
紀宝町														0		1										1		1
三重県														0		10				5		1	4	4		24	15	39
国・旧公団														0		1										1		1
計	70	271	8	20	6	38	25	0	131	12	1	0	17	599	0	43	0	0	7	6	2	49	7	14	0	128	64	791

(4) 埋蔵文化財の発見（法第100条関係）

物件名	数	発見場所	遺跡の名称	発見者	発見した土地の所有者	保管場所	発見日	通知日
1 陶器、磁器等	1	松阪市本町ほか	松阪城下町遺跡	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	平成20年 5月13日	平成20年 5月13日
2 土師器・須恵器・陶器等	1	伊賀市阿保町地内	椋ヶ森遺跡	三重県	伊賀市	三重県埋蔵文化財センター	平成20年 5月27日	平成20年 5月27日
3 土師器等	1	伊賀市別府町地内	柳遺跡	三重県	伊賀市	三重県埋蔵文化財センター	平成20年 5月27日	平成20年 5月27日
4 須恵器・土師器	1	明和町池村	高塚3号墳	三重県	農林水産省	三重県埋蔵文化財センター	平成20年 6月30日	平成20年 7月 4日
5 土師器・埴輪	1	明和町池村	高塚2号墳	三重県	農林水産省	三重県埋蔵文化財センター	平成20年 6月30日	平成20年 7月 4日
6 土師器、製塩土器、ロクロ土師器、山茶碗、白磁、鉄滓等	5	松阪市阿波曾町	秋丸遺跡	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	平成20年 8月21日	平成20年 8月27日
7 土師器・埴輪・陶器等	4	松阪市佐久米町	大見遺跡	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	平成20年 8月21日	平成20年 8月27日
8 土師器、須恵器等	4	伊勢市二見町松下字外佐田	外佐田古墳	三重県	伊勢市長・個人	三重県埋蔵文化財センター	平成20年 8月21日	平成20年 8月27日
9 瓦、陶磁器等	1	紀北町海山区馬瀬	旅籠江戸屋跡 近世熊野街道跡	三重県	国土交通省	三重県埋蔵文化財センター	平成20年 9月 2日	平成20年 9月 2日
10 土師器、陶器等	3	志摩市浜島町南張	南張貝塚	三重県	志摩市長	三重県埋蔵文化財センター	平成20年 9月12日	平成20年 9月17日
11 弥生土器、須恵器等	10	松阪市嬉野天花寺町	小谷A遺跡	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	平成20年 9月12日	平成20年 9月17日
12 陶器等	1	伊勢市二見町荘地内	荘遺跡	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	平成20年 9月24日	平成20年 9月30日
13 土師器・陶器等	2	明和町斎宮字楽殿2891-4	史跡斎宮跡	三重県	個人	斎宮歴史博物館	平成20年10月14日	平成20年10月15日
14 陶器・磁器	1	度会郡大紀町大内山川口	川口垣内遺跡	三重県	中日本高速道路株式会社	三重県埋蔵文化財センター	平成20年10月23日	平成20年10月27日
15 土師器、陶器陶	10	松阪市飯高町宮本	谷野遺跡	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	平成20年11月19日	平成20年11月21日
16 土師器・古式土師器・陶器等	7	鈴鹿市竹野町	岡田遺跡	三重県	鈴鹿市長	三重県埋蔵文化財センター	平成20年11月21日	平成20年11月26日
17 土師器・陶器・磁器	1	亀山市関町鷺山字大冷ヶ	大冷ヶ遺跡	三重県	国土交通省	三重県埋蔵文化財センター	平成20年12月12日	平成20年12月17日
18 弥生土器・土師器・須恵器	1	名張市黒田	尻江A遺跡	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	平成21年 1月 5日	平成21年 1月 5日
19 土師器、須恵器等	2	明和町池村	小金3号墳	三重県	農林水産省	三重県埋蔵文化財センター	平成21年 1月 8日	平成21年 1月13日
20 土師器、須恵器等	3	明和町池村	高塚4号墳	三重県	農林水産省	三重県埋蔵文化財センター	平成21年 1月 8日	平成21年 1月13日
21 須恵器、埴輪等	1	明和町池村	高塚5号墳	三重県	農林水産省	三重県埋蔵文化財センター	平成21年 1月 8日	平成21年 1月13日
22 土師器、須恵器等	2	明和町池村	高塚6号墳	三重県	農林水産省	三重県埋蔵文化財センター	平成21年 1月 8日	平成21年 1月13日
23 土師器、須恵器等	2	多気町土羽	与五郎谷遺跡	三重県	農林水産省	三重県埋蔵文化財センター	平成21年 1月 8日	平成21年 1月13日
24 土師器・須恵器・陶器等	37	津市安濃町草生地内	石塚遺跡・高樋遺跡	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	平成21年 1月 6日	平成21年 1月13日
25 土師器・陶器等	107	明和町斎宮字柳原2808-1、2808-3、2806、2807番地	史跡斎宮跡	三重県	明和町・個人	斎宮歴史博物館	平成21年 1月 6日	平成21年 1月13日
26 土師器・陶器等	49	明和町斎宮字御館2951-1、2952-2、2952、2953-1番地	史跡斎宮跡	三重県	明和町・個人	斎宮歴史博物館	平成21年 1月16日	平成21年 1月23日
27 土師器・瓦	1	伊賀市坂之下地内	伊賀市坂之下地内	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	平成21年 1月29日	平成21年 2月 4日
28 土師器・陶器・鉄製品等	1	明和町斎宮字牛養2996	史跡斎宮跡	三重県	個人	斎宮歴史博物館	平成21年 2月 6日	平成21年 2月10日
29 土師器 等	3	鈴鹿市加佐登町	国立療養所遺跡	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	平成21年 2月12日	平成21年 2月16日
30 土師器・須恵器 等	16	伊賀市三田	浅子谷古墳群高尾北支群	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	平成21年 2月12日	平成21年 2月16日
31 土師器、陶器等	68	亀山市小野町字殿内ほか	小野城跡	三重県	国土交通省	三重県埋蔵文化財センター	平成21年 3月 5日	平成21年 3月10日
32 土師器、陶器等	3	亀山市小野町字殿内ほか	小野城跡	三重県	国土交通省	三重県埋蔵文化財センター	平成21年 3月 5日	平成21年 3月10日
33 瓦・須恵器・磁石等	36	四日市市伊坂町	伊坂遺跡	三重県	中日本高速道路株式会社	三重県埋蔵文化財センター	平成21年 3月23日	平成21年 3月25日
34 陶器等	1	名張市黒田	延木屋敷城跡	三重県	個人	三重県埋蔵文化財センター	平成21年 3月23日	平成21年 3月27日
35 近世陶器片、貝殻等	1	志摩市浜島町南張	南張貝塚	三重県	志摩市長	三重県埋蔵文化財センター	平成21年 3月25日	平成21年 3月27日

※数量欄の数字のみはコンテナ単位での箱数

(5) 埋蔵物の文化財認定 (法第102条関係)

物件名	数量	発見場所	遺跡の名称	発見者	土地所有者	保管場所	発見日	設定日	設定者	備考
1 瓦・山茶碗・近世陶器	200	亀山市能楽野町	長者屋敷遺跡	亀山市教育委員会	亀山市	亀山市教育委員会文化財保管所	平成20年 3月19日	平成20年 4月21日	三重県教育委員会	
2 土師器・陶器・磁器・瓦等	160	伊賀市上野丸之内106-2番地他	国史跡 上野城跡	伊賀市教育委員会	伊賀市	伊賀市教育委員会埋蔵文化財整理所	平成20年 3月12日	平成20年 4月21日	三重県教育委員会	
3 土師器 (杯・甕)	1	明和町大字上野字古堀82-19	古堀遺跡	明和町長	個人	明和町出土遺物格納庫	平成20年 3月13日	平成20年 4月21日	三重県教育委員会	
4 土師器 (ほか)	1	明和町大字上野字古堀82-11	古堀遺跡	明和町長	個人	明和町出土遺物格納庫	平成20年 3月13日	平成20年 4月21日	三重県教育委員会	
5 土師器 (杯・甕)	1	明和町大字上野字古堀82-24	古堀遺跡	明和町長	個人	明和町出土遺物格納庫	平成20年 3月13日	平成20年 4月21日	三重県教育委員会	
6 土師器 (杯・甕)	1	明和町大字上野字古堀82-7	古堀遺跡	明和町長	個人	明和町出土遺物格納庫	平成20年 3月13日	平成20年 4月21日	三重県教育委員会	
7 土師器 (杯・甕)	1	明和町大字上野字古堀82-5	古堀遺跡	明和町長	個人	明和町出土遺物格納庫	平成20年 3月13日	平成20年 4月21日	三重県教育委員会	
8 土師器 (杯・甕)	1	明和町大字上野字古堀82-6	古堀遺跡	明和町長	個人	明和町出土遺物格納庫	平成20年 3月13日	平成20年 4月21日	三重県教育委員会	
9 土師器 (杯・甕・筒・鉢・高杯)	12	明和町大字上野字古堀82-35	古堀遺跡	明和町長	個人	明和町出土遺物格納庫	平成20年 3月13日	平成20年 4月21日	三重県教育委員会	
土師器 (杯・甕)、須恵器、土馬	4	明和町大字明星字黒土1596 外5室	黒土遺跡	明和町長	個人	明和町出土遺物格納庫	平成20年 3月13日	平成20年 4月21日	三重県教育委員会	
11 土師器、須恵器、陶器 ほか	16	津市河芸町上野字石塔谷 石塔谷遺跡 外	石塔谷遺跡 ほか	津市教育委員会		津市埋蔵文化財センター	平成20年 3月19日	平成20年 4月21日	三重県教育委員会	
12 弥生土器・土師器・須恵器・原輪	1	鈴鹿市高岡町字塚原1839-40(ほか)	寺山遺跡	鈴鹿市長	鈴鹿市	鈴鹿市考古博物館	平成20年 3月27日	平成20年 6月 8日	三重県教育委員会	
13 弥生土器・須恵器・刀子・石器・玉珎石・土製品・軽石	64	鈴鹿市岸岡町字雲雀山2890-1 外5室	岸岡山田遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	平成20年 4月 7日	平成20年 6月 8日	三重県教育委員会	
14 須恵器	1	鈴鹿市南長太町285	大木ノ輪遺跡	鈴鹿市長	宗教法人 須伎神社	鈴鹿市考古博物館	平成20年 4月 7日	平成20年 6月 8日	三重県教育委員会	
15 陶器、瓦	1	津市外居東園跡町87番地2	久居城址	津市教育委員会	個人	津市埋蔵文化財センター	平成20年 4月 1日	平成20年 5月 8日	三重県教育委員会	
16 土師器、陶器、硯	1	津市川方町388	川方城跡	津市教育委員会	個人	津市埋蔵文化財センター	平成20年 3月18日	平成20年 5月 8日	三重県教育委員会	
17 土師器、須恵器、陶器	1	津市一志町片野字蔵ノ下366-1	片野遺跡	津市教育委員会	個人	津市埋蔵文化財センター	平成20年 4月 3日	平成20年 5月 8日	三重県教育委員会	
18 土師器、須恵器、陶器、瓦器	1	津市稲葉町字牧野	牧野遺跡	津市教育委員会		津市埋蔵文化財センター	平成20年 3月19日	平成20年 5月 8日	三重県教育委員会	
19 陶器、瓦	1	津市安東町407番地1	中勝部遺跡 隣接地	津市教育委員会	個人	津市埋蔵文化財センター	平成20年 4月 4日	平成20年 5月 8日	三重県教育委員会	
20 土師器・陶器・漆器・木製品	1	鈴鹿市西條町字東澤430-1 外20室	沢遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	平成20年 4月16日	平成20年 5月 8日	三重県教育委員会	
21 須恵器、土師器、菅玉、碧玉、山茶碗、瀬戸美濃大甕製品、常滑窯製品、輸入磁器	21	桑名市大字矢田字城山245-4他、大字東方字徳成字1598-2 他	桑名山城跡	桑名市教育委員会	民間	桑名市教育委員会文化財保管所	平成20年 3月31日	平成20年 5月12日	三重県教育委員会	
22 陶器、瀬戸美濃磁器、瓦	1	桑名市南寺町33	桑名城下町遺跡	桑名市教育委員会	個人	桑名市教育委員会文化財保管所	平成20年 3月31日	平成20年 5月12日	三重県教育委員会	
23 瀬戸美濃陶器、肥前磁器	1	桑名市内堀163	桑名城下町遺跡	桑名市教育委員会	個人	桑名市教育委員会文化財保管所	平成20年 3月31日	平成20年 5月12日	三重県教育委員会	
24 瀬戸美濃陶器、磁器	1	桑名市外堀176	桑名城下町遺跡	桑名市教育委員会	民間	桑名市教育委員会文化財保管所	平成20年 3月31日	平成20年 5月12日	三重県教育委員会	
25 土師器、山茶碗、瀬戸美濃陶器	1	桑名市大字志知字十王塚1812-1	志知南浦遺跡	桑名市教育委員会	個人	桑名市教育委員会文化財保管所	平成20年 3月31日	平成20年 5月12日	三重県教育委員会	
26 肥前磁器	1	桑名市吉津屋町63	桑名城下町遺跡	桑名市教育委員会	個人	桑名市教育委員会文化財保管所	平成20年 3月31日	平成20年 5月12日	三重県教育委員会	
27 瀬戸美濃陶器、肥前磁器、瓦	1	桑名市仏馬町63-1、64、65	桑名城下町遺跡	桑名市教育委員会	個人	桑名市教育委員会文化財保管所	平成20年 3月31日	平成20年 5月12日	三重県教育委員会	
28 瀬戸美濃陶器、瀬戸美濃磁器	1	桑名市三崎通8、9-2	桑名城下町遺跡	桑名市教育委員会	個人	桑名市教育委員会文化財保管所	平成20年 3月31日	平成20年 5月12日	三重県教育委員会	
29 灰軸陶器	1	桑名市大字和泉井ノ割320-1	和泉遺物 散布地	桑名市教育委員会	個人	桑名市教育委員会文化財保管所	平成20年 3月31日	平成20年 5月12日	三重県教育委員会	
30 瀬戸美濃陶器、肥前磁器、硯、瓦	2	桑名市職人町13	桑名城下町遺跡	桑名市教育委員会	個人	桑名市教育委員会文化財保管所	平成20年 3月31日	平成20年 5月12日	三重県教育委員会	
31 瓦、土師器、山茶碗、瀬戸美濃陶器	1	桑名市東方1350	照源寺山門	桑名市教育委員会	民間	桑名市教育委員会文化財保管所	平成20年 3月31日	平成20年 5月12日	三重県教育委員会	
32 土師器、須恵器、灰軸陶器、瀬戸美濃陶器、肥前磁器	1	桑名市大字芳ヶ崎字檜敷田708 他7室	五反田貝戸遺跡隣接地	桑名市教育委員会	個人	桑名市教育委員会文化財保管所	平成20年 3月31日	平成20年 5月12日	三重県教育委員会	
33 土師器、山茶碗、瀬戸美濃陶器、肥前磁器	1	桑名市大字西方字笹谷805外	高塚山下遺跡	桑名市教育委員会	個人	桑名市教育委員会文化財保管所	平成20年 3月31日	平成20年 5月12日	三重県教育委員会	
34 土師器、瀬戸美濃陶器	1	桑名市大字芳ヶ崎字屋敷田680他	五反田貝戸遺跡	桑名市教育委員会	個人	桑名市教育委員会文化財保管所	平成20年 3月31日	平成20年 5月12日	三重県教育委員会	
35 土師器、瀬戸美濃陶器、肥前陶器	1	桑名市柳原98	桑名城下町遺跡	桑名市教育委員会	個人	桑名市教育委員会文化財保管所	平成20年 3月31日	平成20年 5月12日	三重県教育委員会	
36 土師器、灰軸陶器、山茶碗、瀬戸美濃陶器	1	桑名市大字能部字花貝戸494他	能部南貝戸遺跡	桑名市教育委員会	個人	桑名市教育委員会文化財保管所	平成20年 3月31日	平成20年 5月12日	三重県教育委員会	
37 土師器、山茶碗、瀬戸美濃陶器	1	桑名市大字江場字長折463番1	江場貝戸遺跡	桑名市教育委員会	個人	桑名市教育委員会文化財保管所	平成20年 3月31日	平成20年 5月12日	三重県教育委員会	
38 土師器、瀬戸美濃陶器、肥前陶器瓦	1	桑名市住吉町地内		桑名市教育委員会		桑名市教育委員会文化財保管所	平成20年 3月31日	平成20年 5月12日	三重県教育委員会	詳細分布調査

※数量欄の数字のみはコンテナパットでの箱数

	物件名	数量	発見場所	遺跡の名称	発見者	土地所有者	保管場所	発見日	設定日	設定者	備考
39	瀬戸美濃陶器、磁器、瓦	201	桑名市長島町殿名		桑名市教育委員会		桑名市教育委員会文化財保管所	平成20年 3月31日	平成20年 5月12日	三重県教育委員会	詳細分布調査
40	土師器、山茶碗	1	桑名市長島町東殿名		桑名市教育委員会		桑名市教育委員会文化財保管所	平成20年 3月31日	平成20年 5月12日	三重県教育委員会	詳細分布調査
41	須恵器・土師器・近世陶器等	1	四日市市大矢知町字久留宿・字久内谷	久留宿遺跡	四日市市教育委員会	国土交通省	四日市市教育委員会文化財整理作業所	平成20年 4月24日	平成20年 5月13日	三重県教育委員会	
42	弥生土器、土師器、須恵器、緑釉陶器、灰釉陶器、釘、土馬、ミニチュア土器、丹雫埴輪、土埴ほか	126	明和町大字金剛坂字辰ノ口1101番地外18筆	金剛坂遺跡	明和町長	個人	明和町出土遺物格納庫	平成20年 3月21日	平成20年 5月13日	三重県教育委員会	
43	家形埴輪、甲冑埴輪、円筒埴輪、須恵器(杯、皿、壺、壺、はそう)、土師器(杯、高杯、蒸、皿)	66	明和町大字金剛坂890-1	金剛坂遺跡	明和町長	個人	明和町出土遺物格納庫	平成20年 3月21日	平成20年 5月13日	三重県教育委員会	
44	須恵器、土師器、陶器・磁器等	36	松阪市鎌田町	天神遺跡	松阪市教育委員会	個人	松阪市文化財センター	平成20年 4月10日	平成20年 5月13日	三重県教育委員会	
45	須恵器・土師器・陶器等	35	松阪市嬉野中川町	西野田遺跡	松阪市教育委員会	民間・松阪市	松阪市文化財センター	平成20年 4月10日	平成20年 5月13日	三重県教育委員会	
46	土師器・陶器・磁器等	18	松阪市下村町	上村遺跡	松阪市教育委員会	個人	松阪市文化財センター	平成20年 4月10日	平成20年 6月13日	三重県教育委員会	
47	山茶碗 陶器等	1	いなべ市藤原町下相場		いなべ市教育委員会		いなべ市教育委員会	平成20年 4月		三重県教育委員会	詳細分布調査
48	山茶碗等	1	いなべ市北勢町川原		いなべ市教育委員会		いなべ市教育委員会	平成20年 4月		三重県教育委員会	詳細分布調査
49	陶器等	1	いなべ市北勢町田辺		いなべ市教育委員会		いなべ市教育委員会	平成20年 4月		三重県教育委員会	詳細分布調査
50	縄文土器 石器等	1	いなべ市北勢町塩崎		いなべ市教育委員会		いなべ市教育委員会	平成20年 4月		三重県教育委員会	詳細分布調査
51	山茶碗等	1	いなべ市北勢町向平		いなべ市教育委員会		いなべ市教育委員会	平成20年 4月		三重県教育委員会	詳細分布調査
52	石器・山茶碗等	1	いなべ市北勢町下平		いなべ市教育委員会		いなべ市教育委員会	平成20年 4月		三重県教育委員会	詳細分布調査
53	山茶碗	1	いなべ市北勢町飯倉		いなべ市教育委員会		いなべ市教育委員会	平成20年 4月		三重県教育委員会	詳細分布調査
54	土師器 須恵器等	1	いなべ市北勢町阿下喜		いなべ市教育委員会		いなべ市教育委員会	平成20年 4月		三重県教育委員会	詳細分布調査
55	土師器 山茶碗等	1	いなべ市北勢町兼		いなべ市教育委員会		いなべ市教育委員会	平成20年 4月		三重県教育委員会	詳細分布調査
56	山茶碗 陶器等	1	いなべ市北勢町平野新田		いなべ市教育委員会		いなべ市教育委員会	平成20年 4月		三重県教育委員会	詳細分布調査
57	北中津原 出土遺物	1	いなべ市北勢町北中津原		いなべ市教育委員会		いなべ市教育委員会	平成20年 4月		三重県教育委員会	詳細分布調査
58	土師器 山茶碗等	1	いなべ市北勢町東貝野		いなべ市教育委員会		いなべ市教育委員会	平成20年 4月		三重県教育委員会	詳細分布調査
59	陶器	1	いなべ市北勢町西貝野		いなべ市教育委員会		いなべ市教育委員会	平成20年 4月		三重県教育委員会	詳細分布調査
60	須恵器 山茶碗等	1	いなべ市北勢町垣内		いなべ市教育委員会		いなべ市教育委員会	平成20年 4月		三重県教育委員会	詳細分布調査
61	土師器 須恵器等	1	いなべ市北勢町東村		いなべ市教育委員会		いなべ市教育委員会	平成20年 4月		三重県教育委員会	詳細分布調査
62	山茶碗等	1	いなべ市北勢町別名		いなべ市教育委員会		いなべ市教育委員会	平成20年 4月		三重県教育委員会	詳細分布調査
63	土師器 須恵器 山茶碗	1	いなべ市北勢町治田外面		いなべ市教育委員会		いなべ市教育委員会	平成20年 4月		三重県教育委員会	詳細分布調査
64	須恵器 山茶碗等	1	いなべ市大安町梅戸		いなべ市教育委員会		いなべ市教育委員会	平成20年 4月		三重県教育委員会	詳細分布調査
65	石器	1	いなべ市大安町石博		いなべ市教育委員会		いなべ市教育委員会	平成20年 4月		三重県教育委員会	詳細分布調査
66	弥生土器・土師器・山茶碗	1	鈴鹿市平野町字門山899-1, 890-1	門山遺跡 他4	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	平成20年 5月16日	平成20年 5月23日	三重県教育委員会	
67	土師器、陶器	1	津市安濃町栗加284	寺社遺跡(H20-1次)	津市教育委員会	個人	津市埋蔵文化財センター	平成20年 5月 7日	平成20年 5月23日	三重県教育委員会	
68	土師器、陶磁器、瓦等	2	鈴鹿市園分町字北條1285番1, 1285番2	園分遺跡(園分寺跡第34次)	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	平成20年 6月 4日	平成20年 6月27日	三重県教育委員会	
69	土師器、山茶碗、陶器、瓦	1	津市丸之内410-1ほか18筆	津城跡(H20-1次)	津市教育委員会	民間	津市埋蔵文化財センター	平成20年 6月11日	平成20年 7月 4日	三重県教育委員会	
70	弥生土器、土師器	1	津市河芸町中別保半丸垣内2番1 外253筆	中須遺跡(H20-1次)	津市教育委員会	個人	津市埋蔵文化財センター	平成20年 7月10日	平成20年 7月29日	三重県教育委員会	
71	瓦等	18	鈴鹿市神戸1丁目18番18号	長者屋敷遺跡(第24次)	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	平成20年 7月16日	平成20年 7月29日	三重県教育委員会	
72	弥生土器、土師器、須恵器、瓦器、陶器	1	津市庄田町字上出569, 570, 571外6筆の一部	上出遺跡	津市教育委員会	個人	津市埋蔵文化財センター	平成20年 7月 2日	平成20年 7月29日	三重県教育委員会	
73	弥生土器・土師器等	95	鈴鹿市十官町1358番地外20筆	八重垣神社遺跡	鈴鹿市長	鈴鹿市	鈴鹿市考古博物館	平成20年 7月 3日	平成20年 8月 4日	三重県教育委員会	
74	鏡・珠・鉄器類	5	志摩市阿児町志島512-1	おじよか古墳	志摩市教育委員会教育長	志摩市	阿児ライブラリー	平成20年 7月25日	平成20年 8月 8日	三重県教育委員会	
75	砥石	1	伊賀市川上宇上川原938-4番地	川上南墓跡	伊賀市教育委員会教育長	伊賀市	伊賀市教育委員会専用収蔵施設	平成20年 7月22日	平成20年 8月15日	三重県教育委員会	
76	弥生土器、土師器、須恵器、山茶碗、陶器、瓦質土器、磁器、土埴、砥石、サスカイト判片	1	津市一志町片野字敷ノ下366番1の一部	片野遺跡	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	平成20年 5月 7日	平成20年 8月15日	三重県教育委員会	

※数量欄の数字のみはコンテナパットでの箱数

物件名	数量	発見場所	遺跡の名称	発見者	土地所有者	保管場所	発見日	設定日	設定者	備考
土師器、須恵器、山茶碗	1	津市安濃町今徳字986	遺跡	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	平成20年 7月23日	平成20年 8月15日	三重県教育委員会	
陶器、磁器・瓦等	3	伊賀市上野西大手町3689番1	上野城下町遺跡	伊賀市教育委員会教育長	個人	伊賀市教育委員会専用収蔵施設	平成20年 8月 8日	平成20年 9月17日	三重県教育委員会	
弥生土器、土師器	1	津市安濃町今徳字986	遺跡	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	平成20年 8月25日	平成20年 9月17日	三重県教育委員会	
土師器・山茶碗・磁器	1	鈴鹿市岡田一丁目123、124番地先	岡田南遺跡	鈴鹿市長	鈴鹿市	鈴鹿市考古博物館	平成20年 9月16日	平成20年10月 3日	三重県教育委員会	
須恵器・山茶碗	1	鈴鹿市上箕田一丁目2627	上箕田遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	平成20年 9月16日	平成20年10月 3日	三重県教育委員会	
弥生土器・土師器・山茶碗・陶磁器・石器等	1	鈴鹿市平田本町一丁目地内	平田遺跡	鈴鹿市長	鈴鹿市	鈴鹿市考古博物館	平成20年 9月16日	平成20年10月 3日	三重県教育委員会	
土師器・瓦	1	鈴鹿市神戸五丁目848、849、851、851-1	本多町遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	平成20年 9月16日	平成20年10月 3日	三重県教育委員会	
山茶碗	1	鈴鹿市国分町1752-9、1752-10	中尾山遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	平成20年 9月16日	平成20年10月 3日	三重県教育委員会	
埴輪・土師器等	1	鈴鹿市津岡町字砂山3087-1、3087-12	砂山遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	平成20年 9月26日	平成20年10月17日	三重県教育委員会	
弥生土器・土師器・灰釉陶器・中世陶器等	6	四日市市潮いかるが町4450	井詰遺跡	四日市市教育委員会教育長	個人	四日市市教育委員会文化財整理作業所	平成20年 9月26日	平成20年10月17日	三重県教育委員会	
陶器・磁器・瓦等	34	伊賀市上野丸之内1番46	上野城跡	伊賀市教育委員会教育長	個人	伊賀市教育委員会専用収蔵施設	平成20年 9月17日	平成20年10月22日	三重県教育委員会	
土師器、須恵器、灰釉陶器ほか	6	明和町大字上野字古堀82-32	古堀遺跡	明和町長	個人	明和町専用収蔵庫	平成20年10月 6日	平成20年11月11日	三重県教育委員会	
弥生土器、土師器、須恵器、山茶碗、鉄刀、鉄剣ほか	82	明和町大字金剛坂字辰ノ口1101番地外81室	金剛坂遺跡	明和町長	個人	明和町専用収蔵庫	平成20年10月 6日	平成20年11月11日	三重県教育委員会	
土師器・山茶碗・銅鏡等	7	いなべ市大安町丹生川中2109番地1、2110番地1、2111番地1	中貝戸遺跡	いなべ市教育委員会教育長	いなべ市	いなべ市教育委員会	平成20年10月28日	平成20年11月11日	三重県教育委員会	
土師器・常滑焼等	1	鈴鹿市十宮四丁目1179-2	神戸中学校遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	平成20年12月18日	平成21年 1月16日	三重県教育委員会	
須恵器・土師器・製塩土器・灰釉陶器・緑釉陶器・黒色土器等	8	鈴鹿市国府町富士2187番1	富士遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	平成20年12月24日	平成21年 1月16日	三重県教育委員会	
土師器・瓦・山茶碗等	1	鈴鹿市須賀一丁目1709	須賀遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	平成20年12月24日	平成21年 1月16日	三重県教育委員会	
土師器・常滑焼等	1	鈴鹿市飯野寺家町321番1地先	沢遺跡(第2次)	鈴鹿市長	鈴鹿市	鈴鹿市考古博物館	平成20年12月24日	平成21年 1月16日	三重県教育委員会	
瓦・黒色土器・山茶碗等	5	鈴鹿市法瀬町字西野3243番、3248番	長者屋敷遺跡(伊勢国府跡)	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	平成20年12月24日	平成21年 1月16日	三重県教育委員会	
土師器類、陶器類、器・鉢、瓦質土器、磁器類・皿、鉄製品	1	津市栗真中山町字南垣内393	栗真中山城跡	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	平成20年12月18日	平成21年 1月16日	三重県教育委員会	
瓦・須恵器・鉄製品等	1	鈴鹿市広瀬町字西野3313番の一部	長者屋敷遺跡(伊勢国府跡)	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	平成21年 1月15日	平成21年 2月 4日	三重県教育委員会	
須恵器	1	津市安濃町田端上野818番地	蛇谷遺跡	津市教育委員会教育長	津市	津市埋蔵文化財センター	平成21年 1月13日	平成21年 2月 4日	三重県教育委員会	
瓦・土師器・須恵器・山茶碗等	1	鈴鹿市国分町1317-1	国分遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	平成21年 2月 9日	平成21年 2月19日	三重県教育委員会	
弥生土器	1	津市高茶屋小森町四ツ野1464	四ツ野B遺跡	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	平成21年 1月26日	平成21年 2月19日	三重県教育委員会	
土師器・陶磁器・金属製品等	21	津市美杉町上多気1184-1	多気北島氏遺跡第31次(上多気六田地区第5次)	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	平成21年 1月30日	平成21年 2月19日	三重県教育委員会	
土師器	1	津市垂水地内	垂水A遺跡	津市教育委員会教育長	津市	津市埋蔵文化財センター	平成21年 1月30日	平成21年 2月19日	三重県教育委員会	
土師器、須恵器、山茶碗、陶器、磁器、瓦、石製品、木製品、鉄製品	56	津市丸之内416~419、421~1、422番地	津城跡	津市教育委員会教育長	民間	津市埋蔵文化財センター	平成21年 1月27日	平成21年 2月19日	三重県教育委員会	
弥生土器等	1	四日市市尾平町4004-1	永井遺跡	四日市市教育委員会教育長	四日市市	四日市市教育委員会文化財整理作業所	平成21年 1月16日	平成21年 2月19日	三重県教育委員会	
弥生土器・木製品・石器・中世陶器等	300	四日市市大矢知町字久留倍・字矢内谷	久留倍遺跡	四日市市教育委員会教育長	国土交通省	四日市市教育委員会文化財整理作業所	平成21年 2月 3日	平成21年 3月 6日	三重県教育委員会	
弥生土器・須恵器・中世陶器等	6	四日市市大矢知町字久留倍・字矢内谷	久留倍遺跡	四日市市教育委員会教育長	国土交通省	四日市市教育委員会文化財整理作業所	平成21年 2月 2日	平成21年 3月 6日	三重県教育委員会	
須恵器、土師器、鉄製品、耳環、玉類、弥生土器、陶器	23	津市安濃町戸島字山ノ下601番地 外2室(599-2番地、600番地)	山ノ下古墳群	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	平成21年2月25日	平成21年 3月27日	三重県教育委員会	
瓦、陶器	1	津市崇徳1丁目892	四天王寺廃寺	津市教育委員会教育長	民間	津市埋蔵文化財センター	平成21年3月10日	平成21年 3月27日	三重県教育委員会	
瓦、木材等	1	津市西丸之内50	津城跡	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	平成21年3月12日	平成21年 3月27日	三重県教育委員会	
土師器	1	津市長岡町字富之前2612-1	富ノ前遺跡	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	平成21年3月12日	平成21年 3月27日	三重県教育委員会	
土師器、須恵器、灰釉陶器、瓦、埴輪、釘等	244	鈴鹿市国分町127-1、127-8、128-6、282-1、289、290、292、293-1、298、299、299-1、302、303、304、305、309、310	伊勢国分寺跡	鈴鹿市長	鈴鹿市	鈴鹿市考古博物館	平成20年3月17日	平成21年 3月27日	三重県教育委員会	

※数量欄の数字のみはコンテナバットでの箱数

(6) 出土文化財の譲与

申請日	申請者	譲与文化財の名称	数量	発見場所	遺跡名	発見の日付
平成20年 4月 8日	鈴鹿市長	土師器・須恵器・角錐状石器	6	鈴鹿市郡山町字若宮260-4, 262, 263	塚腰遺跡	平成19年 9月 4日
平成20年 4月 8日	鈴鹿市長	土師器・須恵器	1	鈴鹿市岸岡町字山田810番4, 810番5, 819番1	天王遺跡	平成19年 9月 5日
平成20年 4月15日	津市教育委員会教育長	弥生土器、石製品、土師器、陶磁器	260	津市河辺町字大垣内854-1	亀井遺跡	平成19年 8月27日
平成20年 4月15日	津市教育委員会教育長	弥生土器、須恵器、土師器、陶器、瓦	1	津市大里窪田町字池の下3758 ほか10筆	橋垣内遺跡	平成19年 9月 3日
平成20年 4月24日	いなべ市教育委員会教育長	土師器、山茶碗等	1	いなべ市北勢町阿下喜	上惣作遺跡	平成19年 5月23日
平成20年 5月 2日	鈴鹿市長	土師器・須恵器・弥生土器・陶器	1	鈴鹿市岸岡町字山田810番4, 810番5, 819番1	天王遺跡	平成19年 9月28日
平成20年 5月 2日	津市教育委員会教育長	土師器	1	津市河芸町影重字浜新田 2926-1、2928-1	浜新田遺跡隣接地	平成19年 9月 6日
平成20年 5月 2日	津市教育委員会教育長	上野遺跡出土遺物（陶器片）	1	津市戸木町6092-4	上野遺跡	平成19年 9月 6日
平成20年 5月 2日	津市教育委員会教育長	高砂遺跡出土遺物 （陶器、瓦、土錐）	1	津市香良洲町3687番地20	高砂遺跡	平成19年 9月 6日
平成20年 5月 7日	津市教育委員会教育長	土師器、陶器、瓦、鉄製品	3	津市久居東郷町129番地 ほか1筆	久居城址H19-4	平成19年 9月 6日
平成20年 5月 7日	津市教育委員会教育長	桜垣内遺跡隣接地出土遺物 土師器、陶器	2	津市安濃町安濃字杉本3065、 3066番地	桜垣内遺跡隣接地	平成19年 9月10日
平成20年 5月 7日	津市教育委員会教育長	土師器、須恵器、山茶碗、陶器、瓦	1	津市安濃町川西332番地ほか	世古遺跡（H19-1次）	平成19年 9月 6日
平成20年 5月 7日	津市教育委員会教育長	縄文土器、土師器、須恵器、陶器、石器	85	津市大里窪田町1821番地	中蔵遺跡第4次調査	平成19年10月 2日
平成20年 5月 7日	伊賀市教育委員会教育長	土師器・陶磁器・瓦	4	伊賀市上野丸之内78-1	旧崇徳堂	平成19年 9月26日
平成20年 5月 9日	伊賀市教育委員会教育長	土器・瓦	3	伊賀市三田字三田地1741-43	三田遺跡・三田廃寺跡	平成19年 9月18日・ 平成19年 9月26日
平成20年 5月 9日	伊賀市教育委員会教育長	土師器・陶器・瓦器	28	伊賀市川上字中繩手	川上中繩手遺跡	平成19年 9月28日
平成20年 5月30日	鈴鹿市長	土師器・須恵器、黒色土器・灰釉陶器・山茶碗・青磁・近世陶器・瓦・方筒状土製品・鉄斧・石製機道具・有茎尖頭器	8	鈴鹿市郡山町字野口800-1 外12筆	郡山野遺跡	平成19年10月26日
平成20年 5月30日	鈴鹿市長	土師器・須恵器	1	鈴鹿市郡山町字野口800-1 外12筆	郡山野田遺跡	平成19年10月26日
平成20年 5月30日	鈴鹿市長	土師器・須恵器・山茶碗・土馬・土鍾・紡錘車	10	鈴鹿市郡山町字野口800-1 外12筆	西川遺跡（第3次）	平成19年10月26日
平成20年 6月12日	津市教育委員会教育長	土師器・須恵器	1	津市河辺町字正ノ坪120-1、 121-2、121-3、122-4	桐山遺跡隣接地	平成19年10月25日
平成20年 6月17日	津市教育委員会教育長	土師器、須恵器、陶器、瓦	1	津市安濃町川西地内	世古遺跡（H19-2次）	平成19年 9月 6日
平成20年 6月26日	鈴鹿市長	土師器・須恵器、灰釉陶器・山茶碗・陶器・磁器・瓦	2	鈴鹿市国分町字西高木237番1	伊勢国分寺跡（第33次）	平成19年11月27日
平成20年 8月 5日	鈴鹿市長	弥生土器 土師器 須恵器 石鎌 石斧 石砲丁 砥石 石剣 ナイフ形石器 鉄製品 灰釉陶器 山茶碗	107	鈴鹿市国分町字境谷1854-10 外	境谷遺跡（第2次）	平成19年12月10日
平成20年 8月 5日	鈴鹿市長	山茶碗 土師器	1	鈴鹿市国分町字東谷1798外	包蔵地外	平成19年12月10日
平成20年 8月18日	津市教育委員会教育長	弥生土器、土師器、須恵器、灰釉陶器 山茶碗、陶器、瓦、木製品	2	津市安濃町川西332番地ほか	多倉田遺跡（H19-1次）	平成19年10月15日
平成20年 8月18日	津市教育委員会教育長	多倉田遺跡出土遺物（縄文土器、土師器、須恵器、刀子、陶器、瓦）	2	津市安濃町川西字廣見 349-3350-1	多倉田遺跡	平成19年10月 9日
平成20年 8月18日	津市教育委員会教育長	庄田1号墳出土遺物（須恵器、耳環、陶器等）	8	津市庄田町1396-41他	庄田1号墳	平成19年12月10日
平成20年 8月18日	津市教育委員会教育長	一色山古墳群出土遺物（鉄刀、鉄鎌、玉類、須恵器、円筒埴輪、形象埴輪他）	51	津市一色町上垣内114-8他	一色山古墳群	平成19年12月10日
平成20年 9月 3日	津市教育委員会教育長	庄田2号墳出土遺物（銅鏡、玉類、須恵器、円筒埴輪他）	9	津市庄田町貝下1317-2他	庄田2号墳	平成19年12月10日
平成20年 9月 3日	津市教育委員会教育長	平田古墳群隣接地出土遺物（円筒埴輪）	1	津市安濃町今徳字迎山81-2	平田古墳群隣接地	平成20年 1月22日
平成20年 9月 3日	津市教育委員会教育長	惣作遺跡出土遺物（土師器、陶器）	1	津市殿村字惣作1791	惣作遺跡	平成20年 1月22日
平成20年 9月 3日	津市教育委員会教育長	小堀・稲葉堂遺跡出土遺物（須恵器、土師器、陶器）	1	津市北河路	小堀・稲葉堂遺跡	平成20年 1月25日
平成20年 9月 3日	津市教育委員会教育長	中須遺跡出土遺物（弥生土器、土師器、須恵器、陶器、土錐）	1	津市河芸町中別保字丸垣内 2-1 ほか254筆	中須遺跡	平成20年 1月23日
平成20年 9月 3日	津市教育委員会教育長	ニッ池遺跡出土遺物（陶器）	1	津市河芸町中瀬字舟橋47-1	ニッ池遺跡	平成20年 1月28日
平成20年 9月 3日	津市教育委員会教育長	土師器	1	津市安濃町田端上野西親 737-7	田端上野お遺跡（H19-3次）	平成20年 1月30日

※数量欄の数字のみはコンテナパッドでの箱数

	申請日	申請者	譲与文化財の名称	数量	発見場所	遺跡名	発見の日付
36	平成20年 9月 3日	津市教育委員会教育長	土師器	1	津市安濃町川西306番地ほか	多倉田遺跡	平成20年 9月 3日
37	平成20年 9月16日	鈴鹿市長	縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・山茶碗・青磁・瓦質土器	14	鈴鹿市飯野寺家町字城掛321-1, 321-5	沢城跡	平成20年 2月 4日
38	平成20年 9月18日	鈴鹿市長	常滑焼(甕)	1	鈴鹿市西玉垣町1640	小塚遺跡	平成20年 2月 5日
39	平成20年 9月22日	津市教育委員会教育長	土師器・陶磁器・埴埴、取瓶、砥石、埴型など	25	津市美杉町上多気字六田1184番地	多気北島氏遺跡	平成20年 2月 7日
40	平成20年 9月22日	津市教育委員会教育長	弥生土器・陶器	1	津市一志町片野字北浦503-2外2筆	片野遺跡	平成20年 1月30日
41	平成20年 9月22日	津市教育委員会教育長	土師器	1	津市川方町388	川方城跡	平成20年 2月 6日
42	平成20年10月23日	伊賀市教育委員会教育長	土師器、陶器、磁器、瓦等	160	伊賀市上野丸之内106-2番地他	国史跡上野城跡	平成20年 4月21日
43	平成20年10月23日	津市教育委員会教育長	土師器皿	1	津市久居東鷹跡町580番地6ほか	久居城址H19-8次	平成20年 1月28日
44	平成20年11月 5日	鈴鹿市長	土師器・陶器	1	鈴鹿市十富四丁目1番1号	神戸中学校遺跡	平成20年 3月10日
45	平成20年11月26日	鈴鹿市長	弥生土器・須恵器・刀子・石器・玉砥石・土製品・靱石	64	鈴鹿市岸岡町字雲雀山2690-1外5筆	岸岡山田遺跡	平成20年 4月 7日
46	平成20年11月26日	鈴鹿市長	須恵器	1	鈴鹿市南長太町285	大木ノ輪遺跡	平成20年 4月 7日
47	平成20年11月25日	四日市市教育委員会教育長	弥生土器、土師器、須恵器、灰釉陶器、山茶碗、土製品、木製品、輸入陶磁器、陶器、植物遺体等	3	四日市市石塚町10番24号	北中寺遺跡	平成19年 9月25日
48	平成20年11月25日	四日市市教育委員会教育長	弥生土器、土師器、須恵器、灰釉陶器、山茶碗等	28	四日市市大矢知町字久留倍	久留倍遺跡	平成19年10月30日
49	平成20年11月25日	四日市市教育委員会教育長	弥生土器、土師器、須恵器、灰釉陶器等	15	四日市市松本町629-30	平戸山遺跡	平成19年10月31日
50	平成20年12月12日	鈴鹿市長	土師器・陶器・漆器・木製品	1	鈴鹿市西條町字東澤430-1外20筆	沢遺跡	平成20年 4月16日
51	平成21年 1月 8日	津市教育委員会教育長	土師器、須恵器、山茶碗	1	津市一志町井間字垣内田79-1先ほか	平岩遺跡H19-1次	平成20年 3月 6日
52	平成21年 1月15日	津市教育委員会教育長	土師器・陶器・硯	1	津市川方町388	川方城跡 (H19-3次)	平成20年 3月18日
53	平成21年 1月21日	鈴鹿市長	土師器・陶磁器・瓦等	2	鈴鹿市園分町字北條1285番1、1285番2	園分遺跡 (園分寺跡第34次)	平成20年 6月 4日
54	平成21年 1月20日	津市教育委員会教育長	陶器、瓦	1	津市安東町407番地1	中崎部遺跡隣接地 (H20-1次)	平成20年 4月 4日
55	平成21年 1月20日	津市教育委員会教育長	土師器、陶器	1	津市安濃町粟加字粟加下2255	寺社遺跡 (H20-1次)	平成20年 5月 7日
56	平成21年 1月20日	津市教育委員会教育長	土師器、山茶碗、陶器、磁器、瓦	1	津市丸之内410-1ほか18筆	津城跡 (H20-1次)	平成20年 6月11日
57	平成21年 1月20日	津市教育委員会教育長	土師器、須恵器、陶器	1	津市一志町片野字藪ノ下366-1	片野遺跡 (H20-1次)	平成20年 4月 3日
58	平成21年 2月 2日	明和町長	古堀遺跡第2-8次調査出土遺物 土師器(甕・杯・碗・鍋・高杯)、土馬ほか	12	明和町大字上野字古堀82-35	古堀遺跡第2-8次調査	平成20年 3月13日
59	平成21年 2月 2日	明和町長	黒土遺跡出土遺物 土師器(杯・甕)、須恵器、土馬	4	明和町大字明星字黒土1596外5筆	黒土遺跡	平成20年 3月13日
60	平成21年 2月 2日	明和町長	金剛坂遺跡第7次調査出土遺物 弥生土器、土師器、須恵器、緑釉陶器、灰釉陶器、釘、土馬、ミニチュア土器、円筒埴輪、土埴ほか	126	明和町大字金剛坂字辰ノ口1101外18筆	金剛坂遺跡第7次調査	平成20年 3月21日
61	平成21年 2月 2日	明和町長	金剛坂遺跡第8次調査出土遺物 冢形埴輪、甲冑埴輪、円筒埴輪、須恵器(杯、皿、甕、壺、はらう)、土師器(杯、高杯、壺、皿)	66	明和町大字金剛坂字辰ノ口754-1外筆	金剛坂遺跡第8次調査	平成20年 3月21日
62	平成21年 2月13日	鈴鹿市長	八重垣神社遺跡出土遺物 弥生土器・土師器等	95	鈴鹿市十富町1358番地外20筆	八重垣神社遺跡(第6次)	平成20年 7月 3日
63	平成21年 2月18日	鈴鹿市長	長者屋敷遺跡(第24次)出土遺物 瓦等	18	鈴鹿市広瀬町1282-2	長者屋敷遺跡第24次	平成20年 7月16日
64	平成21年 3月12日	津市教育委員会教育長	片野遺跡(H20-2次)出土遺物 弥生土器、土師器、須恵器、山茶碗、陶器、瓦質土器、磁器、土鏝、砥石、サヌカイト剥片	1	津市一志町藪ノ下366番1の一部	片野遺跡 (H20-2次)	平成20年 5月 7日
65	平成21年 3月12日	津市教育委員会教育長	弥生土器、土師器、須恵器、瓦器、陶器	1	津市庄田町字上出569、570、571番地外6筆	上出遺跡	平成20年 7月 2日
66	平成21年 3月12日	津市教育委員会教育長	弥生土器、土師器	1	津市河芸町中別保字丸垣内2番1外253筆	中須遺跡 (H20-1次)	平成20年 7月10日
67	平成21年 3月25日	鈴鹿市長	弥生土器・土師器・山茶碗	1	鈴鹿市平野町字門山889-1、890-1	門山遺跡 他 4	平成21年 3月25日

※数量欄の数字のみはコンテナバットでの箱数

3 国・県指定文化財の現状変更等 (平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

(1) 国指定文化財現状変更等

① 国指定史跡及び名勝等現状変更

(*印は県市の法定受託事務等による許可)

件名	所有者	申請(協議)日	許可(同意)日	完了日	申請者	変更理由
史跡 旧崇廣堂	伊賀市	H20. 4. 2	H20. 5. 1		伊賀市長	土堀修理に伴う 排水管の設置
史跡 伊勢国分寺跡	鈴鹿市	H20. 4. 10	H20. 5. 16	H21. 3. 31	鈴鹿市長	整備のための発掘 調査
		H20. 7. 29	H20. 9. 3	H21. 3. 31	鈴鹿市長	整備のための仮設 盛土
名勝 諸戸氏庭園	財団法人 諸戸会	H20. 5. 20	H20. 6. 20		財団法人 諸戸会 理事長	建物修理のための 仮設工作物設置
		H20. 6. 24	H20. 7. 18		財団法人 諸戸会 理事長	建物修理に伴う保 存修理
		H21. 3. 23	H21. 4. 30		財団法人 諸戸会 理事長	樹木伐採等
史跡 上野城跡	財務省 伊賀市	H20. 5. 29	H20. 7. 3	H21. 3. 31	伊賀市長	石垣修復のための 発掘調査
		H20. 10. 29	H20. 11. 13	H21. 3. 31	伊賀市長	発掘調査
		H20. 12. 24	H21. 1. 16	H21. 3. 31	伊賀市長	石垣修復
	伊賀市	H20. 7. 3	H20. 8. 20 *	H20. 10. 16	伊賀市長	配水管及び汚水桝 改修工事
		H21. 1. 22	H21. 1. 30 *	H21. 3. 23	伊賀市長	園路排水補修工事
		H21. 1. 22	H21. 1. 30 *	H21. 3. 23	伊賀市長	公園管理道路補修 工事
		H21. 2. 10	H21. 2. 18 *		伊賀市長	高石垣転落防止対 策
史跡 水池土器製作 遺跡	明和町	H20. 7. 25	H20. 8. 8	H21. 3. 13	明和町長	水害対策のための 盛土
史跡 久留倍官衙遺 跡	国土交通省	H20. 8. 11	H20. 9. 3	H21. 3. 31	四日市市 教育委員会 教育長	発掘調査
史跡 谷川土清旧宅	津市	H20. 12. 9	H20. 1. 16	H21. 7. 3	津市教育委 員会教育長	隣地建物解体に伴 う応急修理
史跡熊野参詣 道(伊勢路)	[熊野市]	H20. 12. 9	H20. 12. 15	H21. 3. 25	県知事	東屋撤去(大吹峠 道)*熊野市条件 付許可
	[御浜町]	H20. 12. 19	H21. 1. 8		県知事	地滑り対策(横垣 峠道)許可

史跡熊野参詣道(伊勢路)	[紀北町]	H21. 1. 22	H21. 1. 29	H21. 3. 31	西日本電信電話㈱三重支店長	電柱および支線の撤去(荷坂峠道) * 県条件付許可
名勝 二見浦	国土交通省 ・伊勢市ほか	H19. 10. 19	H19. 11. 16	H20. 8. 11	伊勢市長	擁壁補強・音無山・擁壁補強工事
		H20. 1. 31	H20. 3. 21	H21. 1. 7	三重県知事(伊勢建設事務所)	突堤基部工事
		H20. 6. 23	H20. 7. 18	H21. 1. 7	三重県知事(伊勢建設事務所)	突堤舗装および第一突堤転落防止柵設置
		H20. 7. 28	H20. 7. 28	H20. 7. 31	伊勢市長	海水浴場看板設置(伊勢市許可)
		H20. 12. 1	H20. 12. 1	H21. 2. 16	伊勢市長	防火水槽看板設置(伊勢市許可)
		H21. 2. 16	H21. 3. 19		三重県知事(伊勢建設事務所)	養浜、突堤整備

② 国指定史跡齋宮跡にかかる現状変更

申請内容	件数	備考
個人・民間企業などによる申請	29件	内、法定受託事務等による許可 14件
公共機関等による地域環境整備に伴う申請	5件	内、法定受託事務等による許可 1件
史跡環境整備及び維持管理等に伴う申請	3件	内、法定受託事務等による許可 0件
計画的発掘調査のための申請	4件	内、国庫補助金による計画発掘調査 4件
計	41件	

③ 国指定天然記念物現状変更

件名	所有者	申請(協議)日	許可(同意)日	完了日	申請者	変更理由
天然記念物 大島暖地性植物群落	紀北町	H20. 6. 27	H20. 7. 31	H21. 4. 10	第四管区海上保安部長	灯台施設整備(同意) 灯台周辺及び管理用歩道整備
天然記念物 大杉谷	国(国有林)	H20. 6. 27	H20. 7. 18		環境省近畿地方環境事務所長	環境影響調査(同意) 登山道整備にかかる調査
		H20. 9. 24	H20. 10. 17		三重県知事(自然環境室)	登山道復旧にかかる環境影響調査

天然記念物 斎宮のハナシ ョウブ群落	明和町	H20. 8. 20	H20. 9. 26		筑波大学教授	DNA調査用植物 試料採取
天然記念物 御池沼沢植物 群落	四日市市ほか	H18. 3. 22	H18. 4. 21	H20. 5. 30	森林総合研 究所関西支 所 研究員	試料採取等
		H19. 6. 1	H19. 6. 28	H20. 7. 1	四日市市教 育委員会教 育長	植生管理（高茎植 物、竹除去）
		H20. 7. 1	H20. 7. 18		四日市市教 育委員会教 育長	植生管理（高茎植 物除去）
天然記念物 月出の中央構 造線	松阪市	H20.11. 6	H20.12.19		京都大学防 災研究所研 究員	試料採取
天然記念物 九木神社樹叢	九木神社	H20. 5. 16	H20. 5. 16	H20. 6. 18	九木神社	危険防止のための 樹木伐採 （尾鷲市許可）
天然記念物 及び名勝 熊野の鬼ヶ城 附 獅子巖	国・県・熊 野市	H20. 3. 20	H20. 3. 26	H20. 6. 6	七里御浜鯉 のぼりの会	工作物設置 （熊野市許可）
		H20. 5. 20	H20. 5. 23	H20.11.18	熊野市	花火の打上 （熊野市許可）
		H21. 3. 25	H21. 3. 25		七里御浜鯉 のぼりの会	工作物設置 （熊野市許可）
天然記念物 ネコギギ		H18. 6. 23	H18. 7. 21	H21. 3. 23	三重県教育 委員会教育 長	生息状況調査等
		H18. 9. 15	H19.10.13	H20.12.10	三重県知事 （津農林商 工水産環 境事務所）	工事にとまなう一 時捕獲・移動
		H19.10.12	H19.11.29	H20. 5. 2	三重県知事 （桑名建設 事務所）	工事にとまなう捕 獲・飼育
		H20. 3. 17	H20. 4. 18		いなべ市教 育委員会教 育長	生息状況調査、試 料採取、個体採取、 飼育増殖、飼育展 示
		H20. 4. 1	H20. 4. 9	H20. 6. 6	鳥羽水族館 長	水族館相互間にお ける譲り受け （鳥羽市許可）

天然記念物 ネコギギ		H20. 7. 1	H20. 7. 31		三重県知事 (伊勢建設 事務所)	工事にもなう一 時捕獲・移動
		H20.10. 2	H20.10. 2	H20.11.20	三重県知事 (伊勢建設 事務所)	生息状況調査 (伊勢市許可)
		H20.10. 3	H20.10. 7		三重県知事 (伊勢建設 事務所)	生息状況調査
		H20.10.17	H20.11.21	H21. 4. 3	いなべ市長 (建設部)	工事にもなう一 時捕獲・移動
		H20.11.11	H20.12.12		三重県知事 (桑名建設 事務所)	災害復旧工事にと もなう一時捕獲・ 移動
		H20.11.13	H20.12.12		三重県知事 (松阪建設 事務所)	災害復旧工事にと もなう一時捕獲・ 移動
		H20.12. 2	H21. 1. 8		三重県知事 (伊勢建設 事務所)	災害復旧工事にと もなう一時捕獲・ 移動
		H20.12. 2	H21. 1. 8		三重県知事 (伊勢建設 事務所)	災害復旧工事にと もなう一時捕獲・ 移動
		H20.12. 2	H21. 1. 8		三重県知事 (伊勢建設 事務所)	災害復旧工事にと もなう一時捕獲・ 移動
		H20.12. 2	H21. 1. 8		三重県知事 (伊勢建設 事務所)	災害復旧工事にと もなう一時捕獲・ 移動
		H20.12.10	H21. 1. 8		三重県知事 (桑名建設 事務所)	災害復旧工事にと もなう一時捕獲・ 移動
		H21. 1.22	H21. 2.20		三重県知事 (鈴鹿建設 事務所)	災害復旧工事にと もなう一時捕獲・ 移動
		H21. 1.30	H21. 3.19	H21. 4. 9	いなべ市長 (農林商工 部)	災害復旧工事にと もなう一時捕獲・ 移動

天然記念物 ネコギギ		H21. 2. 18	H21. 3. 19	H21. 4. 19	志摩マリン ランド館長	移動・飼育展示
		H21. 3. 3	H21. 4. 10		三重県教育 委員会教育 長	生息状況調査およ び試料採取
天然記念物 オオサンショ ウウオ		H19. 3. 9	H19. 4. 20	H20. 4. 9	国土交通省 近畿地方整 備局木津川 上流河川事 務所長	生息状況調査 (同意)
		H19. 8. 16	H19. 8. 21	H20. 5. 22	伊賀市 (青山支所 産業建設 課)	生息状況調査 (伊賀市許可)
		H20. 4. 9	H20. 7. 18	H21. 3. 19	国土交通省 木津川上流 河川事務所 長	生息状況調査 (同意)
		H20. 5. 2	H20. 5. 8	H21. 4. 16	財団法人三 重県環境保 全事業団理 事長	生息状況調査 (伊賀市許可)
		H20. 6. 26	H20. 6. 27	H21. 5. 28	独立行政法 人水資源機 構川上ダム 建設所長	生息状況調査等 (伊賀市許可)
		H20. 7. 16	H20. 8. 8	H21. 4. 14	伊賀市長 (青山支所 産業建設 課)	工事にとまなう一 時捕獲・飼育
		H20. 7. 31	H20. 9. 3		三重県知事 (伊賀建設 事務所)	工事にとまなう一 時捕獲・移動
		H20. 7. 31	H20. 8. 5		三重県知事 (伊賀建設 事務所)	生息状況調査 (伊賀市許可)
		H20. 11. 27	H21. 1. 16		名張市長	移動・飼育展示

④ 国指定史跡・名勝き損届

件名	届出日	き損日	届出者	き損内容
名勝 旧諸戸氏庭園	H20. 8. 29	H20. 8. 22 ～ 23	桑名市	強風による倒木

⑤ 指定天然記念物滅失・き損届

件名	届出日	滅失日	届出者	滅失内容
天然記念物 カモシカ	H20. 4. 11	H20. 3. 30	津市教育委員会教育長	崖下で死亡している雌成獣个体発見 転落死と推定される
	H20. 5. 2	H20. 4. 28	津市教育委員会教育長	河川敷で死亡している雄成獣个体発見 転落死と推定される
	H20. 6. 17	H20. 5. 24	三重県教育委員会教育長	山中で白骨化个体を発見 肉と毛皮をとるために解体したことが疑われる
	H20. 8. 7	H20. 8. 1	津市教育委員会教育長	腹部に角で突かれた負傷个体を確認 数日後死亡を確認
	H20. 9. 24	H20. 9. 17	四日市市教育委員会教育長	市道で死亡している个体発見 交通事故死と推定される
	H20. 12. 11	H20. 12. 2	津市教育委員会教育長	山中で白骨化した个体を発見
	H20. 12. 19	H20. 12. 10	津市教育委員会教育長	河川で死亡した幼獣个体を発見 転落後、溺死と推定される

⑥ 重要文化財き損届

件名	届出者	届出日	き損日	き損内容
旧諸戸家住宅	桑名市	H20. 10. 22	H20. 10. 21	洋館2階居間の案内表示板転倒により、居間ドアを損傷

⑦ 重要文化財修理届

件名	所有者	届出日	修理期間	修理内容
神宮祭主職舎本館 (旧慶光院客殿)	神宮	H20. 4. 24	H20. 5. 26 ~ H20. 5. 30	車寄せ屋根の檜皮葺き修理
神宮祭主職舎本館 (旧慶光院客殿)	神宮	H20. 9. 2	H20. 10. 20 ~ H20. 10. 23	中門廊欄間のガラス及びビニールシート修理

⑧ 重要文化財無償貸付

件名	所有者	申請者	承認日	貸付期間	貸付目的
三重県縄生庵寺塔心礎納置品 一括	国	朝日町歴史博物館長	H20. 3. 26	H19. 4. 1 ~ H20. 3. 31	朝日町歴史博物館における常設展に出品展示するため
色絵牡丹獅子文銚子 一口	国	朝日町歴史博物館長	H20. 7. 1	H20. 7. 14 ~ H20. 9. 12	企画展「やきものを楽しむー古九谷の二作品」に出陳
上野塚廻り古墳群出土埴輪 (女子像・馬・人物残欠・馬残欠)	国	松阪市教育委員会教育長	H20. 6. 27	H20. 7. 3 ~ H20. 9. 12	特別展「人物埴輪の世紀ー常光坊谷4号墳とはにわたち」に出陳

⑨ 重要文化財(県内所在)公開許可申請(県内施設による)

(県の法定受託事務等による許可)

件名	所有者	申請者	申請日	許可日	公開期間	公開理由
地蔵院本堂 附 棟札下書・地蔵院 再興日記・地蔵菩薩本 堂再興之由縁・勘定帳 ・江戸開帳願之記 のうち附文書5点	地蔵院	亀山市歴 史博物館	H20. 9. 22	H20. 10. 8	H20. 10. 18 ～ H20. 12. 14	企画展 「関の地蔵院」 に出展

⑩ 重要文化財公開届出(公開公認施設)

件名	所有者	申請者	届出日	公開期間	公開理由
源氏物語玉の小琴(紫文 要領)	本居宣長 記念館	斎宮歴史 博物館長	H20. 6. 13	H20. 5. 10 ～ H20. 6. 8	企画展 「源氏物語と三重 (源氏物語千年紀協賛)」 に出展
版本源氏物語湖月抄 宣 長書入本					
源氏物語覚書及詠歌問答 栄貞不審					
源氏物語玉の小櫛					
源氏物語年だての図(玉 小櫛第3巻草稿)					
本居宣長書状類(八十四 通)					
奈良県島の山古墳出土品	文化庁	斎宮歴史 博物館長	H20. 11. 11	H20. 10. 4 ～ H20. 11. 9 H20. 10. 13 ～ H20. 10. 19	特別展 「神につかえ 仏にいの る」に出展
木造所尊仏龕	個人				
神宮古神宝類	神宮司廳				
大般若経	常明寺				
金銅獅子唐草文鉢	護国寺				
銅造誕生釈迦仏立像及び 銅造灌仏盤	東大寺				
大般若経	常楽寺				
紙本墨書神宮寺伽藍縁起 并資材帳	多度大社				
紙本墨書本朝世紀	国	斎宮歴史 博物館長	H21. 3. 27	H21. 3. 7 ～ H21. 3. 22	企画展 「栄華の時代」に出展
紙本墨書大斎院前御集	日本大学				

⑪ 重要文化財公開許可申請(県内施設、国許可による)

件名	所有者	申請者	申請日	許可日	公開期間	公開理由
上野塚廻り古墳群 出土埴輪 (女子像・馬・人 物残欠・馬残欠)	国	松阪市教 育委員会 教育長	H20. 6. 5	H20. 6. 26	H20. 7. 12 ～ H20. 8. 31	特別展 「人物埴輪の世紀 ～常光坊谷4号墳 とはにわたち」 に出展

色絵牡丹獅子文銚子 一口	国	朝日町 歴史博物館 館長	H20. 4. 17	H20. 6. 26	H20. 8. 1 ～ H20. 8. 24	企画展 「やきものを楽しむ —古九谷の二作品」 に出陳
絹本着色 藤堂高 虎像1幅 附 同夫人像1幅	四天王寺	三重県立 美術館長	H20. 7. 2	H20. 8. 1	H20. 8. 2 ～ H20. 8. 24	特別展覧会 「藤堂高虎～その生 涯と津の町の発展」

⑫ 登録有形文化財き損届

件名	届出者	届出日	き損日	き損内容
朝明川砂防堰堤 (T11-1)	三重県	H20. 9. 10	H20. 9. 4	豪雨によって発生した土石流により石積み が崩壊

⑬ 国登録有形文化財（建造物）所有者変更

件名	新所有者	申請者	届出日	変更日	申請内容
旧伊良子清白家 住宅主屋兼診療所	鳥羽市	鳥羽市長	H20. 6. 20	H20. 6. 9	旧所有者より寄付を受けたため

⑭ 管理団体指定申請

件名	所有者	申請者	申請日	許可日	申請内容
二見浦	国土交通省・ 伊勢市ほか	伊勢市長	H20. 3. 21	H21. 2. 19	伊勢市を管理団体に指定するもの

⑮ 所在場所変更届出

件名	申請者	届出日	変更日	届出内容
榮花物語（富岡本）	（個人）	H20. 5. 1	H20. 5. 22	四日市市立博物館への寄託

⑯ 所在場所変更届出（元の場所に復する場合）

件名	所有者	届出日	変更場所	変更期間	変更理由
更科紀行 芭蕉自筆稿本	伊賀市長	H20. 9. 16	芭蕉翁 記念館	H20. 10. 10～ H20. 10. 14	「芭蕉祭特別展 書と画—俳諧 美の世界」に出陳

(2) 県指定文化財現状変更等

① 県指定史跡及び名勝等現状変更

(*は市による許可)

件名	所有者 管理者	申請日	許可日	完了日	申請者	変更理由
史跡 鳥羽城跡	鳥羽市	H20. 7. 15	H20. 7. 18	H20. 8. 20	鳥羽市教育委員 会教育長	石垣修理のための 発掘調査
		H20. 8. 20	H20. 8. 27	H20. 10. 27		石垣修理
史跡 津城跡	津市	H20. 4. 7	H20. 4. 15*	H20. 4. 27	津市新能実行委 員会委員長	仮設舞台設置

史跡 津城跡	津市	H20. 4. 16	H20. 4. 22*	H20. 4. 27	藤堂高虎公入府 400年記念事業 実行委員会委員 長	テント設置
		H20. 7. 28	H20. 8. 7*	H20. 10. 5	藤堂高虎公入府 400年記念事業 実行委員会委員 長	テント設置
		H20. 9. 5	H20. 9. 12*	H20. 11. 2	藤堂高虎公入府 400年記念事業 実行委員会委員 長	テント設置
		H20. 10. 6	H20. 10. 7*	H20. 10. 11	津まつり実行委 員会会長	テント設置
名勝 宮川堤	伊勢市	H20. 4. 25	H20. 5. 15		国土交通省三重 河川国道工事事 務所長	築堤、樹木伐採等
史跡 旧亀山城 多門櫓	亀山市	H20. 11. 4	H20. 11. 21	H21. 2. 28	亀山市長	昭和47年敷設石材 及び土砂撤去工事 及び発掘調査
史跡 桑名城跡	桑名市	H20. 12. 15	H21. 1. 6	H21. 3. 31	桑名市長	工作物等の設置

② 県指定天然記念物現状変更

件名	所有者	申請(協議)日	許可(同意)日	完了日	申請者	変更理由
多度のイヌナシ 自生地	個人	H18. 4. 28	H18. 5. 17	H20. 6. 24	岐阜大学応用生 物科学部教授	試料採取等
多度のイヌナシ 自生地	個人	H19. 11. 8	H19. 11. 13	H20. 5. 20	桑名市教育委員 会教育長	環境整備
多度のイヌナシ 自生地	個人所	H20. 4. 7	H20. 5. 7		岐阜大学応用生 物科学部教授	交雑実験および 試料採取
多度のイヌナシ 自生地	個人	H20. 10. 22	H20. 10. 27	H21. 5. 20	桑名市教育委員 会教育長	環境整備
篠立の風穴	立田地区	H20. 10. 9	H20. 10. 16	H20. 11. 25	日本直翅類学会 会員	昆虫試料採取
川島町のシデコ ブシ群落	個人ほか	H20. 1. 31	H20. 2. 4	H20. 4. 3	四日市市教育委 員会教育長	環境整備
川俣神社のスタ ジイ	宗教法人 川俣神社	H20. 4. 28	H20. 5. 22	H20. 8. 26	川俣神社代表役 員	害虫駆除
西の城戸の終	個人	H20. 3. 11	H20. 3. 17	H20. 5. 14	所有者	剪定作業
和具大島暖地性 砂防植物群落	和具 八雲神社	H21. 1. 15	H21. 3. 10		中部地方環境事 務所	移入種除去
尾鷲神社の大樟	尾鷲神社	H20. 12. 1	H20. 12. 1	H21. 1. 19	宗教法人尾鷲神 社	樹勢回復

引作の大クス	引作区	H21. 2. 20	H21. 2. 25		御浜町教育委員会教育長	樹勢回復
オオダイガハラ サンショウウオ		H20. 5. 19	H20. 5. 21	H21. 3. 3	三重県教育委員会教育長	生息状況調査 (松阪市許可)
オオダイガハラ サンショウウオ		H20. 7. 1	H20. 7. 8		三重県知事 (熊野農林商工 環境事務所)	工事前調査 (熊野市許可)
オオダイガハラ サンショウウオ		H20. 8. 21	H20. 8. 28		熊野農林商工環 境事務所	工事に伴う保護 と移動
伊賀町のジンダ イドジョウ		H20. 3. 31	H20. 4. 19		近畿大学	個体採取

③ 県指定史跡・名勝天然記念物き損届

件名	届出者	届出口	き損日	き損内容
引作の大クス	引作区	H21. 2. 20	H19. 9. 29	自重に耐えられなくなったことによるもの

④ 県指定有形民俗文化財所在場所変更

件名	届出者	届出日	変更場所	変更期間	変更理由
江島若宮八幡神社 絵馬群 71面のうち1面	江島若宮八幡 神社	H21. 2. 4	大黒屋光太夫 記念館	H21. 2. 11 ～ H21. 5. 10	大黒屋光太夫記念 館特別展に出展

⑤ 県指定文有形化財修理届

件名	所有・ 管理者	申請者	申請日	許可日	完了日	変更理由
旧松坂御城番長屋	合資会社 苗秀社	合資会社 苗秀社	H20. 6. 9	H20. 6. 11	H20. 7. 22	仮設事務室・展示室 の設置及び電気工事
旧松坂御城番長屋	合資会社 苗秀社	松阪市	H20.12. 2	H20.12. 9	H21. 1. 6	文化財案内看板の設 置
旧松坂御城番長屋	合資会社 苗秀社	合資会社 苗秀社	H21. 1. 9	H21. 3. 30		西棟4・5・6住戸 の復原

⑥ 県指定文化財所在場所の変更

件名	届出者	届出日	変更場所	変更理由
紺紙金銀泥阿唯越致遮経	徳蓮寺	H20. 4. 7	桑名市博物館	寄託先変更のため
紙本淡彩 谷川士清像	津市	H20. 4. 9	津市歴史民俗資料収蔵庫	寄託の解除
鉄製宝篋印塔 附 納入品 一括	醫王寺	H20. 5. 2	松阪市文化財センター	防火・防犯・保存等適切 な処置をとるため

⑦ 県指定文化財所在場所の変更（元の所在場所に復する場合）

件名	所有管理者	変更場所	届出日	変更期間	変更理由
絹本着色阿弥陀 二十五菩薩来迎図	深正寺	岡崎美術 博物館	H20. 4. 11	H20. 4. 14～ 6月上旬	「三河念仏の源流」に 出陳
木造親鸞聖人坐像 絹本着色真慧上人像 笈	専修寺	岡崎美術 博物館	H20. 4. 11	H20. 4. 21～ 6月上旬	「三河念仏の源流」に 出陳
御墓山窯跡出土 宮殿形陶製品	伊賀市	奈良国立 博物館	H20. 4. 30	H20. 5. 21～ H20. 7. 31	「建築を表現するー弥 生時代から平安時代ま でー」に出陳
紙本着色北野天神縁起	杉谷神社	皇學館大学 佐川記念 神道博物館	H20. 5. 13	H20. 5. 23～ H20. 6. 27	神道史学会大会での 展示及びデジタルデー タ化のため
鉄製宝篋印塔 附 納入品一括	醫王寺	松阪市歴史 民俗資料館	H20. 5. 13	H20. 5. 27～ H20. 9. 20	「緑ふかき 飯南路」 に出陳
宇流富志禰神社 能・狂言面	宇流富志禰 神社	名張市青少年 センター	H20. 7. 11	H20. 8. 2	「観阿弥創座の地 なばり夏能」での使用
唐冠形兜	伊賀市	三重県立 美術館	H20. 7. 18	H20. 7. 22～ H20. 8. 29	「藤堂高虎 ～その生涯 と津の町の発展～」へ の出陳
土偶	三重県埋蔵文 化財センター	津南町 農と縄文の 体験実習館 なじよもん	H20. 8. 7	H20. 8. 20～ 11月下旬	「縄文文化の胎動」 展へ出陳
絹本着色松平定信像	鎮國守國神社	白河市歴史民 俗資料館	H20. 9. 19	H20. 9. 27～ H20. 11. 28	「生誕250年松平定信」 展に出陳
大湊古文書	大湊町振興会	品川区立品川 歴史館	H20. 9. 19	H20. 9. 30～ H20. 11. 29	「東京湾と品川ーよみ がえる中世の港町ー」 への出陳
三重県水産図解 巻1	三重県	熊野古道セン ター	H20. 11. 17	H21. 1. 24～ H21. 4. 5	「熊野灘のクジラ絵図」 に出陳
紙本金地着色 伊勢物語図六曲屏風	齋宮歴史 博物館	徳島市立徳島 城博物館	H21. 1. 22	H21. 1. 29～ H21. 3. 27	「源氏物語と宮廷文化 へのあこがれ」 への出陳
谷川士清関係資料 14件のうち 倭訓栞稿本 7冊 及び患露草 1冊	(財)石水会館	津リージョン プラザ	H21. 3. 1	H21. 3. 2～ H21. 3. 10	「谷川士清 ～その生涯 と学問～」への出陳
宗国史（崇廣堂本） のうち 「国約志第五」 1冊	伊賀市	芭蕉翁記念館	H21. 3. 6	H21. 4. 24～ H21. 5. 26	『「おくの細道」の旅』 に出陳

蓮如・如光上人連坐像	本宗寺	本宗寺	H21. 3. 12	H21. 3. 21～ H21. 3. 22	法要で使用するため (寄託先より一時変換)
銅造阿弥陀如来立像	龍光寺	信濃美術館	H21. 3. 16	H21. 3. 17～ H21. 6. 21	善光寺御開帳記念“いのり”のかたちー善光寺信仰展 に出陳

⑧ 県指定有形文化財公開届（県指定文化財公開承認施設による）

件名	所有管理者	公開場所	届出日	公開期間	公開内容
鳥居古墳 押出仏類・埴 仏 5点	三重県立 博物館	斎宮歴史 博物館	H20. 11. 11	H20. 10. 4 ～ H20. 11. 9	平成20年度特別展「神に つかえ 仏にいのる」に 出陳

⑨ 県指定文化財の撮影・掲載許可等

件名	所有者	申請者	申請日	許可日	使用目的
三重県水産図解 三重県水産図説	三重県	(株)アドバンスコープ	H20. 4. 18	H20. 4. 23	初瀬街道にまつわる歴史 番組作成
		伊勢市	H20. 7. 25	H20. 8. 1	「伊勢市史」民俗編に 掲載
		(株)日企	H20. 10. 9	H20. 10. 10	日本テレビ放送「ザ！鉄腕！ DUSH!!」での放送
		(株)ポプラ社	H20. 11. 7	H19. 6. 22	ポプラディア情報館 「日本の歴史」第3巻 への掲載
		(株)日本アート・センター	H20. 11. 25	H20. 12. 2	小学館ウィークリーブック 「日本の歳時記」に掲載
		(株)中京テレビ映像企画	H20. 12. 3	H20. 12. 8	「情報ライブ食材のミヤネ屋」中「食材の旅」 コーナーでの放送
		三重県立熊野古道センター	H20. 11. 17	H20. 12. 22	企画展「熊野灘のクジラ 絵図」の展示パネル等 掲載
		日本文教出版株式会社	H21. 2. 26	H21. 3. 2	「小学社会6年上」に掲載

⑩ 県登録文化財き損届

件名	届出日	き損日	届出者	き損内容
神戸城跡	H21. 1. 9	H20. 12. 19 から H21. 1. 8 に かけて	鈴鹿市長	天守台石垣への落書き
	H21. 2. 17	H21. 2. 13 から H21. 2. 16 に かけて	鈴鹿市長	天守台石垣への落書き

4 文化財の公開・普及

(1) 文化財関係の受賞

教育功労表彰

被表彰者 八 賀 晋 氏 (三重県文化財保護審議会会長)

(2) 三重県文化財講習会 (第 26 回)

目 的 文化財保護に携わっている三重県文化財保護指導委員、市町文化財保護関係委員、文化財所有者、管理者、文化財保護行政担当者等を対象として、文化財保護に関する知識と技能等の研修を行い、資質の向上を図るとともに、文化財の保存と活用の強化に資する。

テ ー マ 文化財保護の新潮流～「歴史文化基本構想」と「活かそう地域文化提案事業」

主 催 三重県教育委員会
三重県指定文化財等所有者連絡協議会

開 催 日 平成 20 年 12 月 10 日 (水)

場 所 くわなメディアライブ 多目的ホール

参 加 者 50 名

内 容 講演 「文化的景観」と「歴史文化基本構想」について
文化庁文化財部記念物課 技官 鈴木 地平 氏
報告 (1) 桑名城下町の文化的景観と関連文化財群
桑名市教育委員会文化課 斉藤 理 氏
報告 (2) 「活かそう地域文化提案事業」の成果と今後
三重県教育委員会社会教育・文化財保護室 主幹 福田 良彦

(3) 第 50 回近畿・東海・北陸ブロック民俗芸能大会

趣 旨 近畿・東海・北陸ブロック 12 府県内に伝承されている民俗芸能のうち、無形民俗文化財に指定されるなど、価値が高いものについて特別公開し、各保存団体の伝承活動の活性化をはかるとともに、伝統文化への関心を広く高めることを目的とする。

主 催 第 50 回近畿・東海・北陸ブロック民俗芸能大会実行委員会
富山県、富山県教育委員会

共 催 高岡市、高岡市教育委員会

後 援 文化庁、高岡開町 400 年記念イベント実行委員会

協 賛 財団法人地域創造・全国民俗芸能保存振興市町村連盟

開催日時 平成 20 年 10 月 26 日 (日) (正午～17:10)

会 場 富山県高岡文化ホール(富山県高岡市)

- ・大会テーマ いわい 一時をこえ、心をつなぐー
- ・出演演目 三河万歳(愛知県)
山辺神社の獅子舞(大阪府)
古高の鼓踊(滋賀県)
小川寺の獅子舞(富山県)
加賀鳶はしご登り(石川県)
鶏冠井題目踊(京都府)
氣多神社のにらみ獅子(富山県)

(4) 文化財保護強調週間行事（平成 20 年 11 月 1 日～7 日）

		県	市	町	合計
実施自治体件数		2	6	2	10
実施行事件数	文化財講座・シンポジウム等	0	1	0	1
	伝統芸能発表会等	0	2	1	3
	文化財めぐり	0	1	0	1
	文化財の現地公開	1	1	0	2
	博物館等での文化財の展示	2	10	1	13
	文化財保護功労者の顕彰等	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0

(5) 文化財防火デー関連防火運動実施状況

① 第 55 回文化財防火デー消防訓練

目 的 法隆寺金堂壁画が焼損した日(昭和 24 年)に当たる 1 月 26 日を「文化財防火デー」と定め、先人が伝えてきた歴史と伝統ある貴重な文化遺産を、火災などの災害から守る必要性を再認識すると共に、文化財周辺地域の住民、自衛消防隊、消防職団員の連携を図り消防体制の市民に対し文化財防火意識の啓発を図る。

日 時 平成 21 年 1 月 26 日 (月) 12:00 ～ 15:30

場 所 高田本山 専修寺

主 催 津市教育委員会・津市消防本部

参 加 者 高田本山専修寺自衛消防隊、一身田地区自主防災組織、一身田地区住民
一身田婦人防火推進委員、津市津消防団北部方面隊（5 隊）、津市教育委員会
津市消防本部（6 隊）

内 容 消防庁長官、文化庁長官を来賓に迎え、以下の訓練を行った。

- ・通報及び物品搬出訓練
- ・初期消火及び救出救護訓練
- ・火災防ぎょ及び救急搬送訓練

② 関連防火運動実施状況（平成 21 年 1 月 26 日）*防火デー以外の日に実施したものを含む

	実 施 件 数			
	防 災 訓 練	消 防 設 備 点 検	防 災 指 導	広 報 活 動 等
県	2	2	1	2
市	12	11	10	23
町	6	9	9	15
計	20	22	20	40

(6) 文化財保護の組織（平成 20 年度）

社会教育・文化財保護室 室長 山田 猛

有形文化財グループ

副室長 森川常厚 主幹 福田良彦 主幹 河みどり 主査 鈴木克彦 主査 山本由佳

記念物・民俗文化財グループ

副室長 野原宏司 主査 伊藤裕偉 主査 穂積裕昌 主査 西村和也 主事 中野 環

三重県内 国・県指定文化財等文化財数

平成21年3月31日現在

種 別		国	県	計
重要文化財 Ⅱ 有形文化財	建造物	21	43	64
	絵画	19	35	54
	彫刻	65	108	173
	工芸品	17	55	72
	書跡・典籍・古文書	41	51	92
	考古資料	9	28	37
	歴史資料	4	3	7
無文化形財	工芸技術	1	1	2
	芸能	0	1	1
民俗文化財	無形民俗文化財	8	34	42
	有形民俗文化財	1	24	25
記念物	特別史跡	1	—	1
	特別天然記念物	2	—	2
	特別名勝及び天然記念物	1	—	1
	史跡	34	71	105
	史跡及び名勝	0	2	2
	史跡及び天然記念物	0	0	0
	名勝	6	8	14
	名勝及び史跡	1	0	1
	名勝及び天然記念物	0	1	1
	天然記念物（地域を定めず）	13	4	17
	天然記念物	18	79	97
	天然記念物及び名勝	1	1	2
	小 計		263	549
伝統的建造物群保存地区（選定）		1	—	1
文化財の保存技術		0	0	0
記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財（選択）		14	8	22
重要文化的景観（選定）		0	0	0
登録文化財		73	—	73
合 計		351	557	908

（国の古文書には国宝3、考古資料には国宝1を含む）

三重県の文化財保護 — 平成20年度 —

・発行／2009.9 ・編集／三重県教育委員会 ・印刷／小林印刷